

四季折々 Mutsu 1999-2002

- 四季折々 Mutsu 関東・神戸便り 2002 (1999-2002)
- 関東・神戸で 思いつくまま 2002 (2001.3.・2003.2)

M. Nakanishi home page より
<http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>



2003. 1. 20.

By Mutsuo Nakanishi

四季折々 1999-2002

■ 四季折々 Mutsu 1999-2002

■ 四季折々 関東・神戸で 思いつくままに 2001.3-2003.2 3.2

■ 四季折々 Mutsu 関東・神戸便り 2002 (1999-2002) のpage

■ 関東・神戸で 思いつくまま 2002 (2001.3.・2003.2) の page^

四季折々 Mutsu 2002 季節の便り

四季折々 Mutsu 1999-2002

M. Nakanishi home page <http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

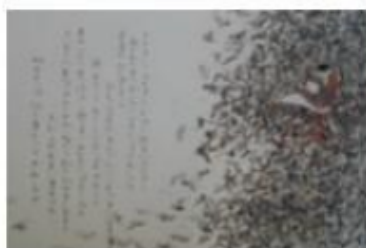
山口県美祿に単身赴任していた間に始めたインターネット ホームページ。
1999年1月 美祿で取り組んできたエレクトロニクスから鉄鋼の仕事に戻り
大阪に帰任。新たな仕事を大阪で始めたのを機会に色々助けてもらった多くの
仲間とのつながりを持ち続けたく、定期的にホームページの更新を始めました。
そのホームページ更新のトップページにその折々に触れ、自分の頭にあったこと
country walk で触れ合った事など” いろいろ思いつくままに書き綴ってきました。
インターネット ホームページの容量もほぼ 満杯となりましたので、4年間
書き綴ったものを一冊の本に整理しました。
「よくまあ おんなじことを次々と書いてるものまだ」と恥ずかしくなってしまう
ましたが、季節折々 自分の足跡が昨日のように目前に浮かんできます。

くだらない戯言ですが、材料エンジニアの足跡
今時代が大きく変わろうとしている時 参考になれば幸いです

2003.1.15. Mutsuo Nakanishi

できました できました かはい詩集ができました
我とわがみに訓ふれど 心おどらずさみしさよ
夏春れ 秋もはや更けぬ
針もつひまのわが手わざ ただにけなしき心地す
誰に見せうぞ 我さへも 心足らはず さみしさよ
ああ つひに 登り得ずして帰り来し 山のすがたは雲に消ゆ
とにかくに むなしきわざと知りながら 秋の灯の更くるまを
ただひたむきに書いて来し
明日よりは 何を書かうぞ さみしさよ

- 金子みすず -



大漁
朝焼小焼だ
大漁た
大羽鯛の
大漁た
濱は祭りの
やうたけど
海のなかでは
何萬の
鯛のとむらひ
するたらう



中島潔 画

山口県長門市仙崎の詩人
「金子みすず」の詩より

中島潔「金子みすず」-まなざし-
画圖集 より

1999年 四季折々 Mutsu

1. 1999年 5月 from M. Nakanishi 1995. 5. 8.



ご無沙汰していますが、元気に過ごしています。桜の花が咲いている間にホームページの改訂をしようと思ってる間に若葉の5月の連休になってしまいました。

大阪弥生文化博物館で「渡来人登場」展が開催され、訪れたのを機会に気になっていた「土井ヶ浜弥生人」のルーツの資料を少しまとめました。

また、民族博物館の江口先生に誘っていただき、『江口サロン「南太平洋の文化遺産」展を見る会』にも出かけました。

娘が米子へ嫁ぎ、「たたら」の郷 奥出雲が近くなりました。

この5月連休には家内と二人、奥美濃-五箇山-砺波平野を結び、水芭蕉・チューリップそして彫刻の街「井波」を10年ぶりに訪問しました。

そのうちにまとめてお話します。色々の話聞かせてください。

1999. 5. 8. 神戸にて Mutsu



1995. 5. 8. 京都 法然院にて

2. 6月 from M. Nakanishi 1999. 6. 7.

6月3日突然美祢の仲間が急死したとの訃報。毎年6月の初めミヤマキリシマで桃色に染まった久住山登山に誘ってくれた仲間である。今年も誘いの電話を待っている時の突然の訃報で、ただ呆然とするのみです。どうか美祢の仲間に残された人達を励まし助けてあげてほしい。

6月になり、梅雨に入りました。美祢では畦道や小川で蛍が飛びはじめている事でしょう。



九九州 久住山のミヤマキリシマ

5月にはペナンにも行ってきました。関西空港でシンガポールへ行く山岡氏と約10年振りに出会いました。

また、鳥取へいった宮本君にも神戸でバッタリ。

どちらも海外を元気に飛びまわっている様子に元気づけられました。海外で頑張っている仲間も今が正念場。前を向いて頑張ってもらいたい。

この5月連休に家内と二人、奥美濃-五箇山-砺波平野を結び、水芭蕉・チューリップそして彫刻の街「井波」を10年ぶりに訪問しました。やっと整理ができました。

また、5月末、美祢来福台を訪問し、お向かいの黒田さん宅のガーデニングにビックリ。

チビちゃん達にも出会い久しぶりの美祢弁に家内と二人感激しました。

4月に奥出雲金屋子神社を訪れ、また、花園大学の丸山先生から、『たたら』と日本昔話の関連など聞き、『おもしろそう』と思っていた矢先に、柴田弘武氏の本を読むとスサノウ伝説ばかりでなく、吉備の『桃太郎』も『花咲か爺さん』『足柄山の金太郎』も丹後の『羽衣伝説』もみんな『たたら』を日本に伝えた渡来人集団と大和との抗争と考えられると。

誠に面白くなってきたと感じています。

前々から気になっていた岡山吉備の鬼ヶ岳・鬼ヶ城に行ってきました。

眼下に吉備平野が広がり面白かったです。また、ちょっとずつまとめます。

先週 パリでアジア難民の救済活動をしておられる謝司祭を神戸にお招きして、お話をうかがいました。神戸の震災も風化しつつあり、また、世界では知らない色々な事が起こっています。

本当にうかうかしていると取り残されてしまいそう。

こちらの方も今年是非アクションを起こしたい。

私の教会の震災前後の写真等を送る約束したのでこれを第一歩としたい。

本当にめまぐるしく変化する時代 しっかりと前向いて歩かねば・・・

まあ、元気にやっています、また、メールください

1999. 6. 6. 夜 神戸自宅にて

Mutsu

3. 1999年 7月 from M. Nakanishi

1999. 7. 7.

梅雨の集中豪雨で各地で被害が出ていますが、いかがでしょうか・・・

梅雨の合間の夜 『サボテン』の美しい花が咲きました。

美祢でいつもAさんが歌っていた『サボテンの花』を思わず口ずさみました。

鉄鋼本社へ帰って6ヶ月の充電期間を貰っていましたが、7月から古巣の『溶接』に戻り、溶接材料の会社で新たな任務に付くことが出来ました。

久しぶりに工場ラインの現場へ出かけ、『技術屋は現場にいないとダメだなあ・・・』とつくづく感じました。



サボテンの花

厳しい産業環境の中で、技術開発のリーダーとしての重責を担うことになり、新しい仲間を得てまた一から出直しです。

『見たり 聞いたり 試したり』 みんなに教えてもらいながら、ガンバルつもりです。
7月の半ばには、仕事の関係で千葉県柏市に赴任し、久しぶりに関東で単身赴任の生活です。まずは新しい仲間と一緒に仕事を軌道にのせることが先決ですが、色々な人とまた会える事を楽しみにしています。今までと同様にご指導 ご教示のほどよろしくお願いします。

ちょっと ホームページに手を入れるのも遅れると思いますが、是非今まで同様メールください。

● 『鉄道員 ぼっぼや』の映画

今日 梅雨の合間に家内と二人で『鉄道員 ぼっぼや』の映画を見に行きました。

浅田次郎の短編小説を読んだ時から楽しみにしていた映画です。

良かったですよ。・・・・・・・・

雪の原野を雪を飛ばしながら走る列車と古い停車場 そして 静かに流れるテネシーワルツをバックに、定年まぎわのたった一人で駅を守る老駅長。

鉄道一筋の高倉健が心配して電話をかけてきた若い後継の鉄道マンに

『自分の生き方に悔いなし。

自分を乗り越えてしっかり今やるべき事をしろ』

と激励する場面はとても印象的でした。

高倉健さん自身の鎮魂歌とも言われていますが テネシーワルツと最後に流れるこの映画の主題歌も実にきれいでした。

『CDをまた、娘に手にいれてもらおう』と家内と話しています。

7月は 新たな第一歩 皆にまけないよう前向いて頑張ります。 今後ともよろしく

1999. 7. 3. 夜 神戸 自宅にて Mutsu

4. 1999年 10月 from M. Nakanishi 1999. 10. 1.



1999. 9. 上旬 メガフロートの上で

夏もあっという間に過ぎ、秋になってしまいましたが、元気にお過ごしのことと思います。

ホームズの改定が遅れ申し訳ありません。

まだまだ 蒸し暑い日が続いています。関東に来て約2ヶ月。

柏の生活も軌道に乗り、新しい生活を楽しんでいます。

9月初めには横須賀の造船所を訪ね、造船所と横須賀沖の『メガフロート』に乗せてもらいました。

『メガフロート』は溶接屋の夢。長さ1000m x 幅約100m 海に浮かぶ空港そのもの。

その大きさに圧倒されました。

私の会社の溶接材料も大量に使われました。十数年振りの造船所。随分変わりましたが、台車に載ったブロックが動き、クレーンがそして バチバチと音をたてる溶接の火花 久しぶりの活気と人の匂いに

うれしくなりました。

『我々も頑張らねば・・・』の気持ちになった一日でした。

成熟産業の中で、技術屋にとって 非常に厳しく
受難の時代。

新しい展開を目指し 皆を引っ張って行かねばならぬ責任強く感じています、今までと同様ただ
『ひたむきに - OPENNESS & FRANKNESS- 』に立ち向かって行こうと思います。

私には『それしかない。』

関東へ来て まず 利根川の源流 谷川岳に登りました。また、関東平野を一望できる筑波山にも。

9 月末には念願の青森三内丸山遺跡に出かけます。

7 月にお話した神戸震災を受けた月見山地区の人たちとの交流を目的とした民族博物館江口先生の

『西アフリカのむかしばなし』の会も多くの人に来ていただき非常に良い交流の場となりました。



谷川岳 と 上越線 清水トンネル内 土合駅

柏での単身赴任の生活が続きますが休日にはwalking を楽しんでいます。

時々神戸にも帰っていますが元気にやっています。

一度 柏・神戸いずれでもお訪ねください。

1999. 10. 1. 柏にて Mutsu

5. 1999年11月 from M. Nakanishi 1999.11.5.

あっという間に11月が来て、秋深く 冬の足音も聞こえています。
今年は暖かく夏姿ですごしていましたが、やっと紅葉も始まり、秋らしくなって来たところですが、不景気で本当にエンジニア・製造業受難の時代。
若い人が必死でガンバッテいます。
「早く思いきったことができる時代になれば・・・」と一緒にやっています。

1999.9.23-26. 「北のまほろば」津軽 walk より



津軽半島 十三湊・岩木山・木造亀ヶ岡縄文遺跡



三内丸山縄文遺跡 1999.9.24.

● 東海村 JCO で臨界事故に思う

東海村 JCO で臨界事故が起こり、直接作業をしていた人が被爆・死亡し、また 多くの人が避難する痛ましい事故となりました。

内容はあまりにも粗末ですが、生産に携わるエンジニアとして、立場を自分の生産現場に置きかえると原子力の厳しさを割り引く分 同じようなことを起こしかねないと思っています。

結果として 事故が起こったため、まわりから袋叩きにあっていますが、うまく行けば「結果オーライ」の価値観として日本では根強いものがあると思う。

技術屋として本当にボロカスに言われている当事者は本当に無茶苦茶をしたのでしょうか？

昨今の製造業・エンジニア受難の時代を絵に描いたような話です。

原子力を軽視し、生産プロセスの思想の無さが引き起こした事に弁明の余地はないが、なにも知らされず、忠実に合理追求をやった結果がこれ。

会社・エンジニアにアセスメントの考え方がきっちりなく、会社の中に【生産哲学・ステイタス】の無さが、歯止めがかからなかった原因でしょう。

日本の会社の経営陣にどれだけアセスメントをきっちり考えているか 常々疑問に思うことが多い昨今

です。

不景気の中 一番切り捨てられやすい 『物作りの思想と論理』。

今一番必要なことと感じています。つつい愚痴になりましたが・・・・・・・・

● 『北のまほろば』 津軽 country walk



【『縄文の道 津軽七里長浜』 十三湖から北海道遠望

津軽富士『岩木山』から】

民族博物館の江口先生から、青森三内丸山遺跡で「月見の宴」があるとのお誘いを受け、9月23日夜～26日念願の津軽 三内丸山遺跡・岩木山を訪ねました。

また 津軽半島の西側海岸沿いの「縄文の道 木造町-車力町-十三湊」を一人歩いて来ました。

30年振りの縄文の道でした。

津軽では太宰治の小説に象徴される津軽の暗さは吹っ飛び、新しい流れが根付いています。

「地方の時代」「新人類 ・若者の時代」と言われて久しく、閉塞した都会では感じられない胎動をもろに感じました。

「たたら」のルーツに端を発した walking が、山口土井が浜弥生遺跡で日本人のルーツにつながり、今青森訪問で縄文人にまで及び、フィールドがまた広がりました。

まあ、休日のお遊びかもしれませんが、「今 青森が面白い。」

先日三内丸山縄文発信の会の東京での集まりがあり、東京科学博物館の馬場先生の「縄文人と弥生人の顔」の話を聞きましたが、「縄文顔と弥生の顔」

このまま行くと将来は皆 「虫歯が多くあごの尖がった長面のショウユ顔」になってしまうのだそうです。

● 尾瀬の秋



1999. 10. 16. 尾瀬ヶ原

秋の尾瀬を見に10月16日思いきって出かけました。

尾瀬は多くの人で華やかになりましたが、一人歩くと昔とおなじ。

日帰りで行けるようになったのがうれしい。

しかし昨今の環境問題考えると複雑です。秘境の桧枝岐。昔は神秘的ですが、もう これもおしまい。新しい道ができ、多くの人を訪れ、明るい村に。確実に世の中 動いています。

桧枝岐を夜6時過ぎ出発しても 東京には10時過ぎ。本当に近くなりました。

1999. 11. 5. Mutsu

冬到来。寒くなってきましたがいかがお過ごしでしょうか。

美祢の仲間にとっては、本当に厳しい時、色々信じられない事が起こっていますが、どうか自分の行きざま、自分の判断大切にして 厳しい時代 この難局を乗り切ってください。



福島県原町市 砂鉄の浜 北泉海浜公園



千葉県柏市 若柴 千葉一野田を結ぶ国道16号線(柏社宅近傍)

【重戦車のような巨大トラックがひっきりなし 内陸部の重要幹線の凄さにビックリ】

- 11月24日 東京で日本溶接協会の50周年記念式典に参加しました。
溶接から離れて約10年。どんな人に会えるか 全く異邦人になるか・・・心配しながら出かけましたが、色々な人に会うことが出来ました。
本当に有りがたい事です、昔お世話になった諸先輩・一緒に仕事をした仲間などに声をかけていただき、この分野にやっと復帰できたという思いと時代の流れにいまさらながら、頑張らねば・・・と思っています。
- この記念式典の記念講演で慶応大学広中平蔵教授が「日本経済は復活できる」と題して講演されたのですが、日本経済復活のkeyのひとつとして、日本の「物作り技術」の重要性と自信を指摘され、かつ、このインターネット革命の時代の展開として「成功体験を捨て、新しい風に飛び込め」と指摘された。
技術屋 受難の時代にあって 久しぶりに快適な気分で帰りました。
- 私の会社でも 今月 ISO9002 の FOLLOW UP 審査があり、私も責任者の一人として面接を受けましたが、無事完了。
きっちりとした IDENTITY というか思想に基づいた考え方の重要性に今更ながら感じ入りました。

即物的な対応、その場その場の判断の個別判断に埋没しがちな中、考えさせられる課題です。

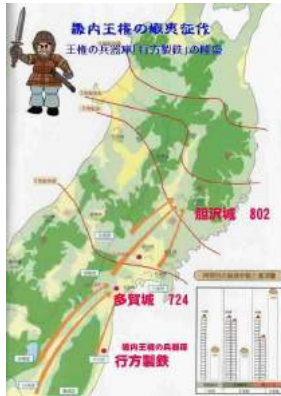
- 福島県原町市 あの「相馬馬追い祭り」の町ですが、8世紀 坂上田村麻呂の蝦夷征伐と関連した製鉄遺跡「原町市 真吹郷 金沢 行方製鉄遺跡」を訪ねました。

そこには東北電力の最新の石炭専焼の原町発電所が建っていましたが、海岸では砂鉄と白砂が色々な模様を描き、楽しい一日でした。

わたしにとっては 福島県での新しい「たたら」遺跡との出会いでした。

同時に縄文の流れと弥生の流れの遭遇

日本の誕生と統一 に重要な役割を果たした「IRON ROAD」がここにもありました。



私にとっては激動の一年。色々なことがありましたが、今は前向いて ACTION あるのみ。

先週日曜日 柏の聖アンデレ教会のバザーに参加。ここでも、やる事聞く事新しいことばかり。楽しい一日でした。

竹中平蔵教授の言う「成功体験を捨て 新しい風にとびこめ」なにか元気が出て来ます。

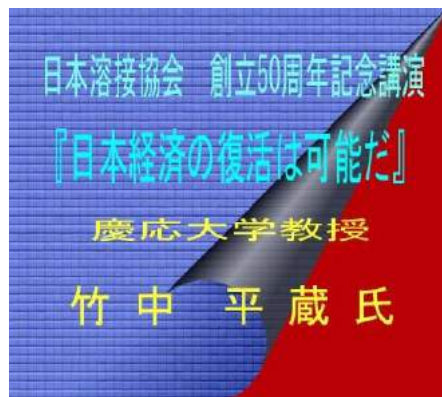
先を信じて 皆 頑張りましょう。 健康と家族は大切に

1999.12.1. 柏にて Mutsu



福島県原町 「行方製鉄遺跡」と海岸に集積した砂鉄の描く文様

慶応大教授 竹中平蔵氏 「日本経済の復活は可能だ」



日本溶接協会の設立 50 周年の記念講演として、現小渕政権のブレンであり、若手経済学者として活躍中の慶応大学教授 竹中平蔵氏の講演を聞いた。

今 「日本経済で何が起きているか?」を基調に「物作り技術」の有る限り、「日本経済の復活は可能だ」と実に弁舌さわやか、具体的事象ベースに講演された。若手経済学者の旗頭としてのアクティブさ。技術者 苦難の時代にあって、物作りをするものにとって久しぶりに痛快的講演であった。その要旨をまとめ、書き記す。

1. 日本の現状の総括

「釜の中のゆで蛙」 のたとえ

熱湯に入れられた蛙は熱くてビックリして飛び出すが、
水から徐々にゆでられた蛙は気づかず、そのまま真っ赤にゆであがる。

日本の GEP は 400 万円/年・人に達し、バブル絶頂期の 1990 年よりも 10%も高くその総額は 500 兆円にも達している。(20 兆円の公共投資、60 兆円の公的資金の銀行への投入などが功を奏して経済は上向き。) 同時にこの 10 年間で 1200 兆円がバブル崩壊で消えた。そしてその後 9 年間この付けを先送りしてきた。この事が閉塞感となり経済回復基調にのれない。

アジアではこの間 経済の実力伴わず、先送りできず、バブル崩壊で生活水準を切り下げた。(韓国では約 20%の切り下げ) 一方 日本では 10%も生活水準が上がり、かつ 9 年間も引き伸ばし出来た強い経済力のあること認識すべきである。また、この実力が日本の「物作り」によって支えられているのも事実であり、日本の終身雇用制が果たしてきた役割も大きい。

潜在的日本の成長率は約 2%にも達する事が多くの学者でいわれている。

問題は「この成長率に見合った成長をとげる経済状態に、何時 回復するか?…」である。

この 10 年間の日本の中産階層の変化にも着目しておかねばならぬ。日本は貧富の差がきわめて小さい「平等社会で中産階層が 90%を占める」と言われるが、この十年間で、情報革命の波に乗って富を得た人の増大により、貧富の差は増大し、アメリカ並となり、ドイツ・イギリスを抜いている。

貧富の差が増大したと言っても、この間、生活感から見ても、国民の生活水準は向上し、貧者が増えたわけでもない。成長によってもたらされた富が努力したのものにもたらされていると考えるのが妥当である。「アメリカンドリームを実現できる機会平等の競争社会」への変質のきざしが見える。

この競争によってのみ成長は得られる。この成長をアメリカの場合で見ると 1997 年 デジタルエコノミーと呼ばれるインターネット・情報革命にまつわるビジネス分野の成長は 35%に達し、今も成長を続けている。これに呼応して アメリカの株価は成長を続けながら、さらに新たな成長の局面を迎えている。このインターネット革命の凄さを物語る数字である。

今 日本においては このインターネット革命に乗ったビジネスの成長と長年にわたる付けの整理の両局面を推進せねばならぬ状況であり、この負のリストラと攻めのリストラの両方が動いている。

最近では この負のリストラ調整の見とおしがつき、今後のビジネス展開を見据えたプラスのリストラがめだって見えるようになってきた。

今まさに産業全体にアイデアで勝負する実力のビジネスチャンスを迎えている。

この調整局面は 2001 年に次の理由により、2001 年 4 月頃までに一気に終結し、その後、勝者による新しい成長の時代を迎えるであろう。

1. ペイオフの開始	実力主義の到来と弱小銀行の淘汰 (小型・信用不安銀行は生き残れない。)
2. 国際会計年度導入	真の実力のある産業・会社競争 弱小の淘汰 (連結決算・時価評価)

今まさに 攻めのリストラ(前向きの調整)が金融・産業界で起こっている。そして それらの調整が完了する 2001 年以降に必ず成長の波に乗る。

今が変革のチャンスであり、攻めのリストラを制した者が生き残れる。

ただし、そのためには クリアせねばならぬ幾つかの条件があり、特にインターネット革命と「物作り」の実力は重要である。

2. 今後の日本経済成長の KEY WORD

今後の日本経済成長の KEY

A. 平等社会の崩壊から機会平等へ 仕組みの変更

1. 努力したものの価値 税制改革
2. 競争のみが成長を生む 規制の緩和

B. インターネット革命の導入とビジネスチャンスの到来

1. 金融ビッグバン・経営ビックバン から 流通・工場ライン 産業社会活動すべての ビッグバンへ
2. 利益享受型から提案推進型へ

・対応は今… フィンランド ノキア 携帯端末の実践例

C. 技術・技術風土の革新と技術荒廃の認識

「成功体験を拭い去り、新しい風に飛び込む姿勢」

D. 大量生産・大量消費型から環境配慮リサイクル型へ

1999 年 11 月 24 日東京 プリンスホテルでの講演から聴取 採録

7. 2000年1月 from M. Nakanishi 2000. 1. 1.

To wish you A Great Year 2000

新世紀へ向かって only one への挑戦
自ら示す現場主義 今を生きる『匠』へのアプローチ

平成12年 元旦
本年もよろしくご指導お願い致します

神戸 Mutsu



鉄のふるさと 青森・津軽半島
【北のまほろば・津軽富士 & 竜飛崎】

『マーケットイン と 物作り現場からの創造・今思う事』

自ら示す現場主義 今を生きる『匠』へのアプローチ
2000年時代 いまだ経験していない新しい時代を迎えようとしています。
世界の中の日本。地球規模で考えねばならぬ時代の到来です。

グローバル スタンドが持てはやされ、情報とコンピュータ解析シュミレーションが持てはやされた昨年。私にとっても、本当に激動の一年。「リストラ」と「大企業のエゴ」を考え続けた一年でした。何か「物作り」よりも 模擬体験・解析出来る人 現場より管理が持てはやされ、効率と合理化推進の元凶が物作りの現場にあるような錯覚を覚える昨今。現場の荒廃が進んでいる。現場に技術がない。物作りに楽しさ・興味がない。本当にグローバル スタンドとは「現場を知らぬアメリカ MBA ビジネススクール流の情報解析と管理で社会が動く」のだろうか？ 判断は「人」コンピュータ革命による情報の一般化は判断の「手段」。現場に楽しさと興味を植え付けよう。変えよう 変えるのは「人」。actionから 未来を見よう。結果は後からついて来る。

技術屋受難・大変な不況の中、Global の荒波にもまれ、新たな競争の新時代。規模は関係なし。 only one 企業しか生き残れぬ時代を生きぬく新しい知。新たな現場主義が要求されている。画一的な大企業のグローバル主義は通用しない。ONLY ONE・個性への独自アプローチ 必ずしも無人・自動化・コンピュータ主義を意味しない。この中心に物作りの理解と技術・マーケットインを置きたい。グローバルな世界での競争 今技術の信頼性・柔軟性が問われている。未体験な想像できぬ事象の発生。“never say never” 機械・情報・コンピュータでは得られぬ人の力「判断」が only one を育てる。物作りの基本は次の二つ。

- グローバル スタンドの追い求める効率と安定性。
それを育てる システムと標準化
- 技術革新と質を感知する「人の心と判断」

on job training と呼ばれた技術 knowhow の継承と伝統・風土の醸成物との出会いを大事にしたい。

「物作り」現場と「マーケット イン」に基づく市場マッチングに基づく新しい現場主義の展開こそがグローバル スタート。新しい時代を切り開くエンジン。

今までの成功体験をかなぐり捨てて、新しい現場へ飛び込んでいこう。今しかない。新しい体験。次の時代を信じて引き継ぎたい。

仲間を そして 自分を信じて action を起そう。

そんな気持ちでこの新世紀を迎えたい。

2000年 1月 1日 神戸にて Mutsu

8. 2000年 2月 from M. Nakanishi 2000.2.1.

2000年 一番寒い時ですが、暖冬。

休日には、ぼやっと 芝生に寝転んで夕日を見る余裕も出てきました。

暖かい冬の日 手賀沼・印旛沼の岸でゆったりすごした時の写真添付します。

お互い マイペースで その日 その日を前向きにいきたいものです。

まあ なんやかやあった1月でした。



印旛沼の夕日 2000.1.13

「東京での仲間の勉強会」に出て来いと誘ってもらって、30 数年ぶり、学生時代 一緒に山に登った諸先輩や仲間にも会いました。

ずっと話に入って行ける仲間がいるのは心強い限りで、また一つ新しいスタートが出来ました。

一方 山陰米子にいる娘からは 大雪の e-mail 日本は広いです。

仕事の方も 今年一年こんな風かも知れません。

本年も色々なことがあるでしょうが 前向いてがんばろうと思っています。

Harmonized Grobal Standard をめざして

Never Say Never !! また メール下さい

2000年 2月 1日 柏にて Mutsu

● 神戸・淡路大震災から5年

1月17日 阪神・淡路大震災から5年。神戸でも色々な集まりがありました。

私が属している日本聖公会神戸でも5周年を迎える記念礼拝が聖ミカエル教会であり、この5年をどう総括し、今後どう行動すべきか多くの人から語られています。

多くのボランティアが活躍し、多くのイベントがありました。また、自然発生的な住民の連帯が生まれ、強い仲間意識が生まれました。

こんな中で、『今何が本物なのか?』を みんなが今 自問自答しています。

『真に必要とされている事はなにか

必要とされている人達への救援の手を差しのべる事とともに被災した人・そうでない人も

暮らすこの社会のコンセンサス・意識改革にも役割を 』

と聖ミカエル教会の中村司祭はその説教で問いかけられた。



【震災5周年記念礼拝 神戸聖ミカエル教会で 2000.1.17.】

神戸では、震災での必要からとはいえ それぞれが自然発生的に自分の役割を演じ、相互を理解し補う行動と社会が生きつき、新しい社会コンセンサスが生まれていた。

それが 5年を経て、風化し、元の社会に戻ろうとしている。

『何か 違う・・・』とそれぞれが感じています。

● 今年は完全結氷せず 袋田の滝



1月22日 完全凍結で有名な茨城県奥久慈袋田の滝へいってきましたが、ちょっと早かった事もある、氷結せず、部分的に水が流れていました。

滝から尾根筋へ登って 静かな森林浴。遠く那須の山々が望めました。久しぶりに袋田の温泉にも入りご機嫌。

茨城県奥久慈 袋田の滝にて 2000. 1. 22.

● 尼崎城

僕の故郷 尼崎で 小さい時に聞いた3櫓と連立して4層の天守閣を持つ美しい「尼崎城」の絵図を千葉県佐倉市の歴史民俗博物館で見つけました。

大阪の押さえとして 石高が小さいにもかかわらず勇壮美しい天守閣があったと聞きました。

実際に姿が描かれた絵図始めてみました



尼崎城の絵図

● 単身赴任暮らし - ゆでたまご器で ドカン !! -

朝 『ドカン』という大きな爆発音でビックリして寢床から飛び起きた「ゆでたまご器」にタマゴを入れて電子レンジのスイッチを入れ、また寢床に戻ったところでした。

電子レンジの中でもう タマゴがコッパみじん。 全く形がないコナゴナの大爆発でした。

電子レンジで生タマゴを「チン」すると、大爆発すること 電子レンジの常識。ねぼけてました。

娘が電子レンジで「ゆでたまご」が出来る便利な器具を単身生活の私に送ってくれ、朝本当に重宝していましたがこのザマです。

電子レンジでは タマゴの中から加熱するので 殻で覆われたタマゴは中心で急速に加熱膨張するとその力に殻が耐えきれず ドカンと爆発・・・絶対やったらあかん実験でした。

ゆでたまご器は玉子の形より少しおおきなカプセル空間にタマゴと少し水を入れ、しっかりセットする構造。 タマゴの中からの膨張に対して水が蒸発し、それが外から殻を押し、爆発を守ります。ほんの5分でゆでたまご・半熟たまごを作って便利・便利。

どうも 容器のふたを閉めた時 きっちり固定しなかった報いのようにです。

あかんと言う事 知っていても ついつい・・・ツボラに操作して 慣れは怖いものです。

便利なもの その代償としてきっちり操作しないとその報いは予想以上。

便利・効率と安全のコンセンサス 考えた事件でした。

ちなみに それから数日後、スーパーへ行くと派手な宣伝文句と共に、私の使っているのと同じゆでたまご器に並んで容器にタマゴと沸騰したお湯を入れて密閉し、約20分置いておくタイプのゆでたまご器が売られていました。

どっちを買うか・・・

「ヤッパリ ぼくは 電子レンジで「チン」のやつかうだろうなあ・・・」

2000. 1. 13. 朝 の 出来事でした

● 和鉄の道

「たたら」のページの手をいれようと思いながら ついサボっています。

資料も増え、たし、「日本誕生前夜の古代7王国とたたら」をまとめたいと思っています。

いつになるか判らないが・・・

9. 2000年3月 from M. Nakanishi

3月になりました。神戸の自宅に帰るとプーンと「いかなごの釘煮」の匂い。

この匂いを嗅ぐと春がきたと思う。

神戸須磨・明石では いかなごが解禁になる3月 待ち兼ねたようにどこの家でもこの佃煮を10kg, 20kg と作って方々に配る。

いかなごの出始めは体長2~3cmほどですが、1ヶ月もすると5cm以上にもなって、佃煮に向かなくなるので、ほんの一時期。

昼網の船が入るのを待ちかねて いかなごを買いもとめて、この釘煮をつくります。

町でも釘煮を売っているが、やっぱり家のが一番。

関西のどの家にもたこ焼き器があるように このあたりの家にはどこもいかなごを煮る道具一式と家々の味がある。 我家も神戸にきてからずっとこの時期家内が作っては方々へくばる。

「毎年 待っている人がいるから・・・」とかいって 家内のこの時期の楽しみのひとつになっている。

梅も満開だし、春 もうまじかです。

色々ありましたが、年度末。景気はまだ回復せず、鉄鋼にとっては厳しい状況が続いています。

考えることは多いのですが、中々突破口を見つけられない毎日です。

世は IT 革命の時代。乗り遅れずに走らないといけないのですが・・・・・・

2000. 3. 4. 柏にて Mutsu

● 「柏にて 独りたわごと -柏便り-

友達がこんな笑い話を送ってくれました。 「ビルゲイツ vs GM」

ビル・ゲイツいわく

「もしGMがコンピュータ業界のような絶え間ない技術開発競争にさらされていたら、車は1台25ドルになっていて、燃費は1ガロン1000マイルになっていたでしょう。」

GMも負けずに次のようなコメントを出したと。

「もし、GMにマイクロソフトのような技術があれば、我が社の自動車の性能は次のようになるだろう。」

1. ユーザーは、道路のラインが新しく引き直されるたびに、新しい車を買わなくてはならない。
2. 高速道路を走行中、ときどき動かなくなることもあるが、これは当然のことであり、淡々とこれをリスタート（再起動）し、運転を続けることになる。
3. Car95とかCarNTを買わない限り、車に乗れない。
ただその場合でも、座席は人数分だけ新たに買う必要がある。
4. マッキントッシュがサンマイクロシステムズと提携すれば、もっと信頼性がある、5倍速くて、2倍運転しやすい自動車になるのだろうが、全道路のたった10数%しか走れないのが問題である。
5. オイル、水温、発電機などの警告灯は「一般保護違反」という警告灯一つだけになる。
6. 座席は、体の大小、足の長短等によって調整できない。
7. エアバッグが動作するときは「本当に動作して良いですか？」という確認がある
8. 運転操作は、ニューモデルが出る毎に、はじめから覚え直す必要がある。
それ以前の車とは運転操作の共通性がないから。
9. エンジンを止めるときは「スタート」ボタンを押すことになる。

いかがですか・・・・・・

にやっと笑った後に「う・・・ん」 とうなってしまうました。

● 映画「雨あがる」

家内と二人で黒沢明監督の最後の映画(脚本)「雨あがる」を見ました。

黒沢明監督は何を描きたかったのか? 興味あって行きました。先のジョークとはかけ離れた純日本的感覚の世界です。



久しぶりに明るい気持ちになりました。中年にはお勧めです。

『雨あがる』 あらすじ

時は絢爛の元禄を経た質実の享保時代。

武芸の達人だが不器用で仕官がかなわない武士、三沢伊兵衛とその妻たよ夫は、貧しい生活が妻を不幸にしていると思っている。もっと出世してもっと楽な生活を送らせようと齷齪(あくせく)している。妻は、そんな夫を見ているのがつらくて、悲しいのに夫には妻の心がわからない。折からの豪雨が旅の途にある夫婦を宿場町に足止めさせる。

二人が泊まる安宿には雨が上がるのを鬱々と待つ人々が大勢いた。

そんな彼らの心を和ませようと伊兵衛は妻に禁じられている賭試合で金を都合し、酒や食べ物を振る舞う。人々に笑顔が戻った時、雨もようやく上がった。

やっと外に出られた伊兵衛は偶然若侍同士の果たし合いに遭遇してしまい、懸命に彼らを止めるのだった。その一部始終をこの宿場の藩の城主である永井和泉守重明が見ていた…。

城主の召し出しでやっと仕官の道が……。

仕官かなわず。使者の言葉を聞いた妻たよは、晴れ晴れした顔で言葉を返した。

「大事なものは結果ではない。なぜそのようにしたか……です。

私は今後も夫にずっとついて行きます。……」と。

黒澤明監督の覚え書きより

「これは、主人公とその妻のドラマである。まず、その二人の関係をじっくりと描かねばならない。

時-享保、戦国時代が終わり、次にその反動として奢侈逸楽(しゃしいつらく)を追う元禄時代になる。そして、それに飽きそれを遠ざけて、質実尚武を尊ぶ享保時代が来る。

これは、その時代の話である。」と。

— アスミック・エース 映画情報より —

好きな言葉が美しい映像と共に一杯ありました。

妻たよ 仕官の道をつけようとした城主にたくした黒沢監督のメッセージ
本当にうれしくなった映画です。 お勧めです。

● 休日の合間に

閉じこもらずにいろんなことやって見ようと休日には 外へ出かけています。

2月5日 長年行きたくて行けなかった笠間『日動美術館』に行った。

落ち着いた笠間の街と良く兆羽して 印象派の数々の絵や佐伯祐三の絵や明治以降日本の画壇を飾った数多くの人達の絵が本当に静かに見ることができました。



笠間 日動美術館

上野の多くの人の頭越しにみるのと較べると雲泥の差。美術館の中にある喫茶もその景色が見える 3 階ですっきり描かれた特製のカップで一人ゆったりと。まあ ひとり風来坊できるたのしいひとときでした。

ついでながら 笠間というと民芸運動の笠間焼に笠間稲荷。

東京に近いせいか 笠間焼はどこかモダンになって笠間のオリジナリティが無くなって来ているのではと感じた。

笠間稲荷の門前で食べた「稲荷そば」はうまかった。要は関西でいう「たぬき」であるが、お稲荷さんの前では「たぬき」とは言わない。「稲荷うどん」というのもあった。

2月13日 会社の若い人が結婚。「おめでとう」のパーティーに参加。最近ホテルの結婚式に人気なく若い人達が手作りでパーティと聞いていたがまさにそれ。

「親はほっとかれて・・・」とこの間もきいたが、若い人達の熱気があって、年寄の私も参加させてもらった口なんです、いいパーティでした。

もっとも何かお祝いのお話をしないと考えて行きましたが、それも吹っ飛びましたが・・・

● 民博ゼミナール 『夢と眠りについて』

2月19日 吹田 国立民族学博物館の林勲先生から案内をいただき、民博ゼミナール 『夢と眠りについて』を聴講した。

アボリジェニなど未開の人々には不眠はないと。不眠は現代社会の環境とストレスが作り出した産物と人類学者の人達は言う。また、『夢と現実とどちらが真実なのか？』と。

ほんの数百年前までは 夢や占いが真実として語られ 政治に使われた。

南海の未開の地では、今も何日も夜になると眠らずに色々歌に託して語り続け目覚めたとき夢と現実の差は無く 夢うつつで歌った事が真実と・・・・・・・・。

また、その夢を盾に社会のリーダを狙うことがあると・・・・・・・・。。。

合理性で裏付けられ、不眠の生じる現代社会はたかだか数百年。

『本当にそれが良いのか？ 夢と現実が入れ替わる社会も良いよ』と正面切っていわれると考え込んでしまう。

● 和鉄の道 「Iron road」

「日本誕生」にかかわった「鉄の道・Iron Road」と古代の鉄の王国。

休みを使って相変わらず 風来坊やっています。

日本各地に残る「鬼伝説」が「鉄の伝来」の道を今に伝えています。

「伯耆・出雲・丹後そして吉備そして日本統一を成し遂げた畿内大和」それぞれに鉄技術を持って栄えた古代の鉄の王国がありました。

私の好きな「津軽」 日本の北の端にも独自の「鉄の道・Iron Road」があったことを知りました。

ちょっとづつ まとめ紹介します。

今 「津軽」・父の故郷「丹後」・娘がいる「伯耆」をまとめています。

休みにやることですから、いつまでかかるやら・・・・・・・・まとめたらメールします。

10. 2000年 4月 from M. Nakanishi 2000. 4. 4.

恵奈ちゃん誕生 2000. 3. 18.

3月半ば 米子の娘夫婦に赤ちゃんが誕生。早く見に行つてこようと思つていますが、まだ実現できず。

最も、「おじいちゃん」などと呼ばれる気持ちさらさらなし。今週末行く予定。

「どない呼んでくれ」と言おうかと迷つています。

3月は花粉症に悩まされ続けましたが、もうまもなく桜も咲き出しますし、楽しみな4月です。

新年度が始りましたが、景気回復の良い年になればよいのですが・・・・

3月の半ば 5年ぶりに大学の友達と大阪で同窓会。顔だけみれば 誰か すぐわかりあえる世界。夜おそくまで楽しんできました。

「たたら」と「鬼伝説」色々メール送って資料送ってもらったり、教えてもらったり。

本当に有難うございました。少しずつまとめます。



2000. 4. 4. 柏にて Mutsu

11. 2000年 5月 from M. Nakanishi 2000. 5. 7.

『かぼちゃ 5月!!』

4月29日 『かぼちゃ 5月!!』『カボチャ』とは韓国語で「思いもかけず良い事が・・・」といった味。

吹田の民族博物館の朝倉さんが「朝鮮半島の文化」展示のポスターに大きな南瓜(かぼちゃ)を描き「カボチャ 民博!!」とおいでませ 民博へと呼びかけられたのを借用。

4月29日民博の友達の集まり「江口サロン」に行った時に聞いた言葉です。

今年も江口さんから誘ってもい、ほとんど未知の

人ばかりで、江口さんの人脈の広さに驚きつつ、どんな人に会えるか楽しみで毎年出かけています。

今年はサルプリの第一人者 朴鍾蘭さんが舞う韓国伝統的舞踊『サルプリ』鑑賞と「朝鮮半島の文化」展示を見て、その後 小宴。 みんな愉快地飲むのを楽しみで・・・時間無制限。



有名な舞踏家 朴鍾蘭さんが舞う韓国伝統的舞踊『サルプリ』

朴鍾蘭さんが舞う韓国伝統的舞踊『サルプリ』はすごかったです。
イメージはまさに「天女の舞」。もう息を殺して見ていました。

● 久しぶりに美祢の家へ帰って



5月1日 5月1日から2日まで 山口県美祢の家に行き、
ほっておいた庭の草抜き。久しぶりに美祢の仲間とも飲
みました。みんな元気出てきて good でした。
お向いの姉妹 まだ幼稚園とと思っていましたが、黄色の
安全カバーのかかったランドセルが2つ。もう新一年生
でした。家内と二人大失敗です。
たまにしか行けないのに色々声をかけてもらえるのは有
りがたいことです。

相変わらず世の中は殺伐としていますが、大型連休どのようにすごされましたでしょうか・・・
3月4月花粉症には本当に悩まされましたが、やっとすっきりしつつあります。
色々心遣いのメール本当に有難うございました。

● 和鉄の道「Iron road」

やっと 丹後のたたらに手をつけました。あと吉備・出雲・北上そして九州。再度 COUNTRY WALK つづ
け、早く手をつけたいのですが、いつになるやら・・・。

「鉄と鋼」本年4月号に東京工大 永田和弘教授が「鉄の歴史」として「現代によみがえるたたら鉄」
を発表されています。たたら製鉄法の特徴を整理し、「低温製鉄法」としての意義を解説されている。
1350℃程度の低温での精錬で、低酸素でかつ Si, S などの不純物の少ない鉄が得られる「たたら製鉄」
そして錆びにくいことも。

新しい製鉄法としての可能性をひめた研究がはじまったこと興味持って読みました。

「たたら」に興味のある人 御一読勧めます。

各地のたたら資料館も多数本当に良く整備され、インターネットにも多数サイトが出来、産業の米とい
われた時代から元気のなくなって来たといわれる今。

一方で何か新しい胎動を感じています。

IT 革命が叫ばれ、すべてがそれではなくてはならぬとの錯覚を感じる中、じっくりとした職人の技を見
なおす胎動。『物作り』はこれでなければ・・・と感じています。

ついでに本の PR 一つ。岡部陽二兄が監訳して、下記の本を氏出版。

レジナ・ヘルツリンガー 著 岡部 陽二 監訳 竹田 悦子 訳

「医療ビジネス市場の勝者」 -米国の医療サービス変革に学ぶ-

米国では出版以来2年間にわたって時事問題書籍のベストセラーとなり、全米医療経営者育成協
会から年間最優秀書籍賞を贈られるなど大きな反響を呼んだ。これからの日本の医療改革と企業
経営を考える上で貴重な指針となるバイブルの邦訳版。

医療ビジネスを新しいビジネスとして検討している方などマーケ ティングの側面から医療ビジネスを
眺めた本としてご一読を。勝手な話ばかりで、申し訳ありません。また、メールください。

2000. 5. 7. 柏にて Mutsu



日本伝統の 江戸の変化朝顔



八幡平の夏



残暑お見舞いもうしあげます。

猛烈な暑さが続いています、いかがでしょうか 御無沙汰しております。
今年の梅雨は男性的な梅雨で柏では雷だけでなく ピンポン玉のような大きな雹が降りました。
乱高下のまさに時代を反映した夏です。東北・関東を暇をみつけては COUNTRY WALK。
仕事の方もまだ回復とは行きませんが、精一杯やっています。
みんなに助けてもらいながら、元気に関東の夏を楽しんでいます。

お盆休みが始まり、久しぶりに神戸に帰っています。
娘家族も帰ってきて、久しぶりに家族全部がそろくにぎやかな夏を神戸で過ごしています。2ヶ月休み
ましたが、今、WALKINGの写真など整理しながらパソコンのKEYたたいています。
梅雨の合間に出かけた写真や夏の尾瀬 そして「たたらを訪ねた東北の夏」など整理しようとしています。
休みの間に全部まとまるか 心配ですが、その時はまた、来月です。
また、メールください。

2000. 8. 11. 神戸にて Mutsu

●「ヘッドライト テールライト」 NHK「プロジェクト X より

今バックミュージックに流れているのはNHK「プロジェクト X」のエンディングテーマ曲。
好きで探していたら、息子が探してきてくれました。
高度成長期から現在に至る様々な人達の仕事を通じた「生きざま」、「物作り」の原点を自分の時代にだぶ
らせながら見えています。

多くの成功・勝者とともに、勝者あれば敗者あり。志半ばにして中止、ちりじりになっていったプロジ
ェクトもあり、そこにも人生あり。
日本人の心にも通じるのですが、「熱意と信念」を支える「ひたむきさと感性」に感激しながら見ていま
す。日本人の特徴として、大事にしたいものです。
別の観点からですが、同じような話を聞きました。そんな話も含め、メールします。

● たたら

「たたら」や製鉄遺跡について、岩手県や姫路・神奈川の人達から色々情報等のメールいただき、本当に有難うございました。

Iron Road 東北学を提唱されている東北芸術工大の赤坂教授から「ストーンサークルと縄文人」や縄文の民俗などの話を聞き、「古代たたら」の民との融合など想像し、感激。また、三内丸山縄文遺跡で一緒に過ごした辻先生の歴博講座「日本人の感性が育てた江戸の変化朝顔と日本の植生」の話も日本人の心に通じる話で感激しました。

まだまだ歩かねばならぬところばかりで、思うようには行かず失礼していますが、出かけた時にはお世話になります。

今は東北が面白くて、そっちへ足が向いています。

「真金吹く 吉備の国」 古代吉備の国 鉄の大王国 大和政権成立の歴史を刻む「桃太郎の鬼退治とウラ伝説」などについて、吉備の国 walk 今準備中です。

● 岡部陽二兄が監訳 日本に紹介した本 『医療サービス市場の勝者』

この本も物作りの技術屋にとって「21世紀のグローバル スタンダード」を考える良い参考になりました。医療の分野ともしっかりと遠いと考えられる「利便性の追求」。

「IT時代の物作り」の観点からその利便性を考える良い本でした。内容紹介省略しますがお勧めです。

● Country Walk 風来坊

1. 「弘前ねぶた」&「大湯縄文のストーン サークル

8月3日4日 休みを利用して縄文が色濃く残る「東北」へ。

秋田大湯のストーンサークルを見学。さらに、常々一度行きたかった『たたらの息遣い「弘前ねぶた」』、昨年行けなかった岩木山北山麓 「たたら 鬼伝説の郷」を結ぶ country walk。

色濃く縄文が残る「東北」津軽・八幡平・鹿角大湯に浸って帰りました。

津軽 弘前の「ねぶた」 H12. 8. 3.

「ねぶた」発祥の弘前では青森の「はねこ」はおらず大きな「じょっぱり太鼓」の強烈な音・リズムに合わせて大人・子供多くの人達が続く。手作りの素朴な味のある「ねぶた」である。



大湯 縄文のストーンサークル H12. 8. 4.

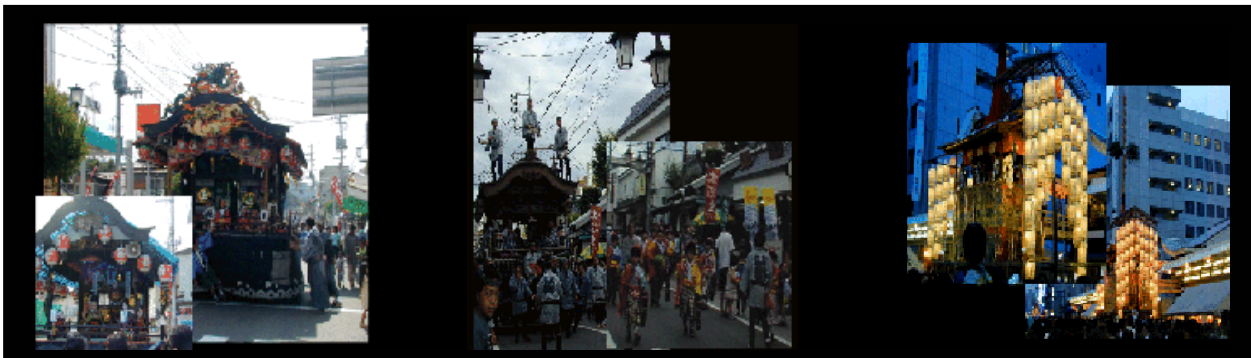
万座・中野堂の2つ並んだストーンサークルの中心が夏至の太陽が沈む方向に一直線に並んでいるという。八幡平と十和田の山々の間の縄文遺跡 夕日が印象的





2. 奥会津田島・京都・成田の祇園祭

日本各地の祇園祭 また、今年の夏 京都祇園さん・成田新勝寺の祇園祭・奥会津会津田島町 熊野神社の祇園祭と祇園祭を三つも見ました。奥会津田島の祇園祭は学生時代に泊めていただいた熊野神社の祭礼で、日本三大祇園祭のひとつといわれています。会津に行くたびに気になっていたのですがやっ
と行 けました。



会津田島の祇園祭

日本三大祇園祭のひとつ

山車の上の舞台上で子供達が演ずる
歌舞伎が本当に素朴でした。

成田山新勝寺の祇園祭

成田山に祇園祭があるとは知らず

金杖をつきながら子供達が山車を先導
これにはビックリ 鼓の音も印象的

京都の祇園祭【宵々山】

久しぶりに鉾町を歩きました。

人出の多さには閉口しました。

● 「夢の技術展」を見て 東京お台場へ 2000. 7. 23

私の会社では、今 日曜日の安い電力を使うため、土曜・日曜出勤の平日休日。

世の中 IT 革命の脈動が伝えられていますが、まだ遠し。 でも薄明かりさして来ました。

7月23日(日) お台場に「夢の技術展」を見に行きました。本当に時代の転換・技術指向の変化を感じて帰りました。

IT 革命がもたらすソフトの時代。

「ソフトに何が出来る。ハードあつてのソフト」と言って見ても仕方無し。

「鉄・エネルギー産業がもたらしたハードの時代は終わったのか？」 感傷は別にして、新しい先端技術の息吹に戸惑いとそのエネルギーに圧倒されました。

工学・物作りが生み出したハードの時代の落し子「コンピュータ」。それが宇宙・原子力の巨大技術そして分子制御・ロボットを生み、そして情報・IT 革命の時代へ。経済革命から社会革命, 生命・遺伝子操作へ。 神の領域へと踏み込んで行く。人の持つパワー・感性までもが置き換えられようとしている。

もう戻ることはない。

IT 革命がもたらすそのパワーを感じながらも、物作りの中で培われた人の感性は先史からつながる人の系譜。感性をなくした集団からは おそらくパワーが消えるだろう。

その時代にあって 誰がそのパワーを受け継ぎ維持してゆくのだろうか・・・・・・・・・・。



【「ゆりかもめ」から眺めた新橋・汐留の都市再開現場 2000. 7. 23. 】

「ロボットや新しいマルチメディア 21 世紀の夢の生活 遺伝子操作と生命科学」など毒気に当てられて帰るモノレールの窓から、新橋汐留の都市再開の現場が見えました。

今、やっぱり 僕にはこっち・・・・・・・・・・。

ここは、今私の仕事「溶接材料・溶接技術」の主戦場。

新しい街 IT・電脳都市の建設に・・・ここにも夢の技術有り。

前週やったプレゼンが、今に生きる古代のロマンを熱っぽく語る辻さんや赤坂さんの話と重なり、明るくなりました。

一度忘れ去られた物が、必ず生きかえる。雑草のごとく・・・・・・・・

日本人の感性が連綿と受け繋いだ「江戸の伝統の変化朝顔」「古代樹木と今の樹木が共生する日本が育てた感性」

ある先輩が 『仕事の成否=熱意 X 能力 X 行動』と教えてくれました。

ITに飲み込まれず・・・・・・・・でも 何かアクティブに変化せねば・・・・・・・・

そんなことをこの夏 考えています。

2000. 7. 23, 柏にて Mutsu

13. 2000 年 9&10 月 from M. Nakanishi 2000. 9. 23.



本当に暑い夏が過ぎ、集中豪雨や雷やらの荒れた夏でしたが、初秋の気配が聞こえてきます。

今年も誘っていただき 9 月 15 日から 3 日間「青森山内丸山遺跡でのお月見会」参加し、合わせ東北の「ストーンサークル」や世界文化遺産「白神山地のブナ原生林」を廻ってきました。

森の中 独り霧に包まれて、ストーンサークルを眺めながら、縄文・弥生そして 日本の心情に思いを馳せていました。

また、先週「威風堂々」の曲が何度も流れるテレビドラマ「合い言葉は勇気」が終わりました。

ひよんな事から見出して何とはなしに元気づけられ、毎週見ていました。

ドラマの内容は英国映画「プラス」の焼きなおしたいなもので、産業廃棄物で汚される村を救う為に素人ながら飛び込んで行った人達の物語。

沢山の中年のサラリーマンが元気付けられ、見ていたと聞きました。「威風堂々」が流れると乗っちゃって、ついに毎週最終回まで見てしまいました。

今「物作りの危機」「現場の荒廃」が叫ばれ、技術の伝承もままならなくなってきた日本の製造現場。何がそうさせるのか・・・どのように対処すればいいのか・・・

今「現場主義」がさげばれているが、薄っぺらな現場主義はさらに現場を荒廃させる。

解っているけど抜け出せないジレンマ あせりを感じる年になったのだとつくづく感じています。



【青森山内丸山遺跡 お月見コンサート 9.15.夜】



【世界遺産白神山地 「白神山」サンタランドより 9.17.朝】

山内丸山月見の会であるトップ エンジニアに出会いましたが、

『今ロボットは、人と同じように「質」を「暖かさ」を見分けるハードを持つことが出来るようになった。今大事なはそのソフト。いわばロボットの精神構造の研究。

縄文の何気ない遺物から心を読み取る作業はいまロボットエンジニアの仕事と同じ』

と熱っぽく語っていました。

ロボットが暖かさを見別け学習している今、現場にいる我々もそれを『勉強せねば・・・』と思っている。これはITのグローバルであっても日本の伝統であっても同じ。

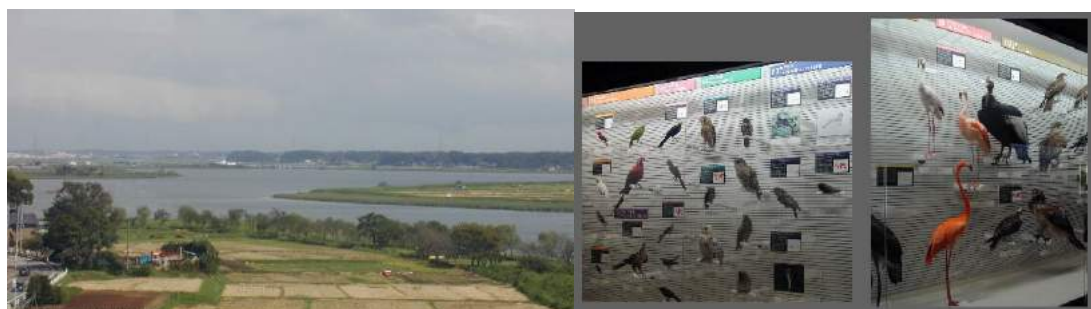
今 曖昧もこととして行動が起こらない日本。今クリアさが本当はもっとも大事かも知れぬ。

いろんな事情の中で「技術のぬくもり」つまり「技術の質・ノウハウ」を伝える認識が無くなっているのではないのでしょうか

なんとか プロを育てないと今技術の質の解るエンジニアを育てないと思っている。

その基本は『クリエイティブとコンダクト』その出来る技術屋を。それには勉強しないと。

2000.9.17. Mutsu



【夏の千葉県我孫子市 手賀沼】

【手賀沼湖畔にある野鳥博物館で】

市民・街の努力できれいになった手賀沼 2000. 9. 9.

今は美しい湖畔公園と遊歩道に整備されている

イギリスの不況の中の炭坑町のブラスバンドを描いた映画「ブラス」でクライマックスで演奏された「威風堂々」。

エルガー作曲「威風堂々」のこのメロディはイギリスでは第二国歌として親しまれ、国王の戴冠式で歌われるばかりでなく、コンサートの最後、聴衆が全員大合唱の中でコンサートが終ると聞きました。

この「威風堂々」の曲が何度も流れるテレビドラマ「合い言葉は勇気」が先週終わりました。

ひよんな事から見出して、この曲が流れるのとコメディなのですが、何とはなしに元気づけられ、毎週見ていました。

ドラマの内容は英国映画「ブラス」の焼きなおしたいなものです、役所広司 鈴木京香 香取信吾 津川雅彦らのが出て行って 「威風堂々」が流れると乗っちゃって、ついに毎週最後回まで見てしまいました。

最終回が終って インターネット チェックするとあらすじとテレビ評サイトがあり、僕みたいに喜んで見ている人も多くいるのだなあ とまたビックリ。

ミーチャンかとおもっていたらそれも中年で・・・

実はこのドラマの最終回 どんでん返して 裁判が勝利に終わったあとのラストシーン。

村民側についたもうよぼよぼの頼りない本物の弁護士が 相手側の敏腕弁護士に言った言葉に強烈なパンチを受けました。

「その明晰な頭脳と腕を持ちながら、昔とかわらず実に冷たい・・・

実においしい。顧問弁護士で終るのだね・・・」

正確では有りませんが、そんな意味でした。

「合い言葉は勇気」 あらすじ

「舞台となるのは、名産といえば「ピーチとダルマ」ぐらいの豊かな美しい自然に囲まれた小さな田舎の村。

ところが、村に出来たゴミ処理場によって村の自然が破壊される危機に陥っていた。

なんとかしなくては…。

村民は立ち上がる。だが、相手側には敏腕弁護士がついていて歯が立たない。

村のために、村民のために、村長は、東京に土地勘のある青年を連れて弁護士探しに上京する。村長は慣れない東京で思い通りに行かない現実に倒れてしまい、やっとのことでみつけた弁護士にも逃げられ、途方にくれる青年の目に一人の男の姿が飛び込んできた。

男はかつて一度だけヒットしたシリーズドラマがあるだけの今は売れない役者だった。そして、その男はひょんなことからその小さな村で弁護士のふりをするようになってしまう。やがては勇気にめざめ、村で村民とともに本当に戦っていき奇跡を起こす大人のコメディ。」

オフィシャルサイト — フジテレビ PR コピーより

http://a5.fnn-news.com/jp/b_hp/aikotoba/

今「物作りの危機」「現場の荒廃」が叫ばれています、「実はこの危機・荒廃の原因はこれではか??・・・・・・・・・・」と。

「IT革命が現場を荒廃させる。グローバルスタンダードが日本の物作りの伝統を荒廃させる」と言われて久しい。

何がそうさせるのか・・・どのように対処すればいいのか・・・技術の伝承もままならなくなってきた日本の製造現場。いろんな事情の中で「技術のぬくもり」つまり「技術の質・ノウハウ」を伝える認識が無くなっているのではないのでしょうか

現場にプロがいない。技術屋が現場で孤立しています。

先端技術のほころび 雪印 三菱自工の例など全く歯止めが無くなっているのも根本はここにありそう。学校の荒廃・いじめが叫ばれて久しいが同根ではないのでしょうか

一方 ITの先端を走るアメリカの現場 そんなに冷たくないよ。論理的に合理的に働いてはいるが・・・実に生き生き働く人達を見てきました。

なんとか プロを育てないと今技術の質の解るエンジニアを育てないと思っている。

その基本は 『クリエイティブ と コンダクト』その出来る技術屋を。それには勉強しないと・・・

今現場主義がさげばれているが、薄っぺらな現場主義はさらに現場を荒廃させる。解っているけど抜け出せないジレンマ あせりを感じる年になったのだとつくづく感じています。

山内丸山月見の会であるトップ エンジニアに出会いましたが、『今ロボットは、人と同じように「質」を「暖かさ」を見分けるハードを持つことが出来るようになった。今大事なのはそのソフト。いわばロボットの精神構造の研究。

縄文の何気ない遺物から心を読み取る作業は、いまロボット エンジニアも同じ 』と熱っぽく語っていました。

ロボットが暖かさを見分け学習している今、現場にいる我々もそれを『勉強せねば・・・』と思っている。これは ITのグローバルであっても日本の伝統であっても同じ。

今 曖昧もこととして行動が起こらない日本。 今クリアさが本当はもっとも大事かも知れぬ。

上記テレビ楽しんでる自分も奥底でそれをだぶらせているのでは????と思った次第。

14. 2000年11月 from M. Nakanishi 2000. 11. 1.



中国 錦州へ 中国 山海関 2000. 10. 15.



ジンバブエ コミュニティ劇団公演 2000. 10. 9.

夏が「あつい あつい」と言っている間にはや11月. 景気は未だ回復せず, 悪いなりに私のところもなんとか持ちこたえています.

先輩やかつての仲間から色々便りをもらい、皆さんの多方面の活躍に多少あせりを感じつつ、今を大事にと心がけてす。

10. 6. に鳥取県西部大地震があり、米子にいる娘家族から電話連絡在った時にはほっとしました。色々ご心配のメールやお電話いただき有難うございました。

チョット 東北・縄文につかれて「たたら」の WALKING がおろそかになっていますが、まあ ゆっくりやります。

名古屋で開催された秋季鉄鋼協会でも「たたら」のフォーラムがあり、多くの人が集まったと聞きました。学協会の「たたら」への関心も本当に高まってきたこと感じています。

資料もいただき興味深く読みました。

特にC14による年代測定の方法もクリアになりました。

島根県の「鉄のミュージアム」吉田村の集まりも年々盛んになっているようで、もう一度訪ねないと思っています。

まあ いろいろありますが、前向いてがんばらねば.....

ついでながら 米子の娘の赤ちゃん ほんと かわいいですよ

7ヶ月たってやっとすわれるようになって愛嬌をふりまっています。

また 元気なメールください

柏にて 2000. 11. 1. Mutsu

● 中国北京から遼寧省錦州へ



中国 山海関と北京市街

10月15日から数日仕事で中国北京から遼寧省錦州へ行ってきました。

約1.5年ほど全く海外とは縁切りになっていましたが、久しぶりに海外に出て、中国・中国華僑人と接し、その仕事振りにふれ、ほっとするというか 非常に気分的に楽になって帰ってきました。

今 中国では建築ラッシュというか 溶接材料も作っても作っても足りず、増設を重ねている上昇気流の会社に行ってきました。

中国の地方都市と多少は僕らの方が・・・と書いていましたが、北京から高速道路が通じ、会社もコンピュータ管理されたうらやましい工場。もっとも品質はこれからですが、すぐ日本に追い付くでしょう。中国のスケールと人の多さにもビックリしましたが、中国も他のアジア諸国と同じく IT の先端を行くインフラ整備が着々となされていると感じてきました。

毎晩42度のアルコールの乾杯づけになったのには閉口しましたが、また 一つ別の世界を見ることが出来ました。また、錦州は化石の宝庫。

みやげに一つ買いましたが、化石の街・美祢も考えては・・・

中国はやっぱり休暇とってゆっくり歩きたいと思っています。

● 江口サロンとジンバブエ コミュニティ劇団



江口サロンとジンバブエ コミュニティ劇団



いつもエネルギーをもらう吹田民族博物館の江口さん

「サロン」が10.9.午後 民博で「ジンバブエコミュニティ劇団」の公演を鑑賞とあわせてありました。

コミュニティ劇団とは多くの人達に自分達の独自文化を劇と踊りで啓蒙活動しているグループ。

良く理解できないところも多いのですが、アフリカの事情が色々わかって面白かったです。

また同時に奴隷の身からアリゾナ州立大学の先生になっておられる女性のアメリカ入国のイミグレーションカウンターにおける黒人差別再現の一人芝居があったのですが、凄い迫力でした。

● 【IRON ROAD】

秋田・青森の縄文のストーンサークル本当に面白かったです。
まるで一人タイムスリップして宇宙の儀式でも受ける錯覚を受けました。
いずれも森に囲まれた台地にあって自然と静かにむきあえるのが良いです。
やっと全部まとめて紹介します。

【縄文のストーンサークル】



秋田県鷹巣町 伊勢堂岱遺跡



青森市 小牧野遺跡

2001年 四季折々 Mutsu

15. 2001年 1月 from M. Nakanishi 2000. 12. 25.

Merry Christmas & A Happy New Year !!

平和で穏やかな世紀になりますように



明けましておめでとうございます

皆様のご健康とご多幸をお祈り致します
本年もよろしくお願ひ申し上げます

2001年 元旦

世界自然遺産 白神山地
和鉄の故郷：青森秋田県境
『ものけがれ』の舞台 白神山地
2000.9.18. 白神にて
「白白鉄器」の土鍋
中西 睦夫
tel & fax : 0471-32-6652
e-mail : zp4m-nkns@asahi-net.or.jp
Home Page : <http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/index.htm>

明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひします

新世紀のはじまりです 時代の大きな転換点
みんなの「もっと・・・」の声に答えたい

小さくても 何か 役割を演じよう
そんな気持ちでいます

2001. 1. 1. 神戸にて Mutsu

1. 「クリスマス イブ」 柏 聖アンデレ教会 にて



「メリー クリスマス!! クリスマス おめでとう !!」

東の空の星に導かれて 博士たちがベツレヘムへやってきて
穏やかに眠る「あかご」を祝福したのが2000年前。
日暮に東の空を見上げると明るい星が3つ並んで輝いている。
右上にあるのが土星、左下は木星 その隣が、おうし座のアル
デバラン。

3つの星がこの並びになるのは60年に1度という。

『星の王子さま』の挿絵にある星の並びが、ちょうど同じで、
60年前、サンテグジュペリもこの星空を眺めていたかもしれ
ない。

サンテグジュペリ 「星の王子さま」より

今 新しい世紀のはじまろうとしている

地球に集う者みんなが、自然との共生・民族間の調和など今ほど新しい行動を求められている重要な時はありません。

柏聖アンデレ教会のキャンドル サービスによるクリスマスイブ 礼拝に参加。クリスマスのメッセージに耳をかたむけ、その後キャロリングへ。

ろうそく片手に 夜空のもと 灯のついた家の下でクリスマスキャロルを歌うと気持ちがシャンとします。

また 1年のはじまりです。

2000. 12. 25. 柏にて Mutsu

● 2000. 11. 入院から師走まで

11. 7. 中国出張から帰って 少しおかしかった耳が治らず、病院へ行ったら突発性難聴で即刻入院。1週間点滴の毎日。テレビ見るたびに音をだんだん小さくして聞こえなくなる位置確認して・・・。

1週間で無事退院。

初めての経験で色々な事に眼を向けることが出来ました。

ご心配をおかけしましたが、すっかり全快。新たな気持ちで仕事に取り組んでいます。

入院したのは柏の「田中農協病院」。「どんな 病院？ほんとうに大丈夫？」など色んなアドバイスもらいましたが、直ってしまうと本当に良かったです。

毎日点滴のタワー引張って歩くのには閉口しましたが、良い病院でした。

軽い気持ちで病院へ行ったら、「即入院 早い方がいい」と言われ、いつもの出張道具と寝巻きを入れて、遊び道具のパソコン入れて・・・入院。スリッパ忘れ、お茶のコップなし 醤油なし。

家内が来て「自分の道具だけ持ってきて・・・」と笑いましたが、助かりました。また 会社の仲間が小さな容器に幾つも副食持って来てくれてこれも本当に大助かりでした。

なんせ 点滴のタワー引張っているのので体は動くのですが、病院の外へもでられず、いい経験です。

病院は僕のイメージとは違って good。

或る先輩にも言われましたが、「病院と医者は大きくても名前があってもダメ。本人に合っている病院と医者にあたるのが一番」と。本当に難しいようです。

毎日病状の変化を看護婦さんに伝えて 医者から加療の状況聞いて・・・

一人の看護婦さんにいった状況や医者に聞かされる加療の状況が実に良く次の看護婦さんに伝わっていて驚き。もっとも 時々ニュアンスのちがいはありましたが・・・また、本当に良く看護婦さんが声をかけてくれて。

若い看護婦さんが 本当に一生懸命で若い人見直しました。 医療ミスが叫ばれる昨今 その危なっかしさもちょっと感じましたが・・・

病院の夜中は本当に人生の縮図。4人部屋に入たのですが やるになると安静ものともせず 夜中に飛出し朝帰りの若者。

夜になるとしくしく泣き出す独居老人。

ぼそぼそと生い立ちをきかせてもらったり・・・勉強になりました。

もっとも 私も寝巻きも着ず 夜おそくまでパソコンと遊んでいるおかしなやつとおもわれていたが・・・

「入院したら 耳より肝臓ひっかかり、中々出してもらえないのでは・・・」と心配しましたが 11月

14日 点滴加療完了し、退院。21日検査も good でほっとしています。

しかし γ GPT ほか 又 上昇。今年の忘年会は景気も悪いし出来るだけ自重・・・??????

本当にご心配かけました。

● 映画「スペース カーボーイ」

11.19. 大学時代の友達から お勧め映画「スペース カーボーイ」を家内と二人で見ました。

若いときに情熱燃やしつづけたことが挫折。

それを30年を経て 実現へ向うクルー。

「中年にはたまらない映画」とのメール。

Sさん Aさん

スペース カーボーイ 先週末 みましたよ。ほんとうに 面白かったです。

「物作り」のエネルギー貰って帰りました。

基本技術では成功ゼロにける技能の技「物作り」の作りこみ技術の粋みたいなものです。

年取ると「ついつい言うてしまうか 黙りこくるか」一番難しいところです。

1. 月を見る目が変わった事

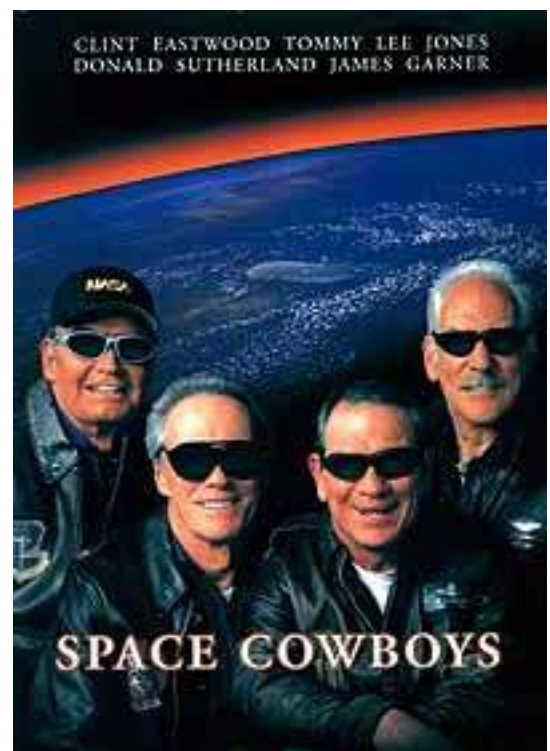
家内が行ってましたが・・・

月を見ると ついつい あの人が月にいっていると見てしまうと。

2. SF 好きではないのですが、宇宙の映像 宇宙衛星などまさに現実空間・CGで現わされる宇宙疑似体験

丁度 エンデバーが17トンの太陽電池を打ち上げ宇宙飛行士が船外でコネクタすることが、報じられています。全く同じような作業だろうと想像しています。

3. アリゾナ砂漠・NASAの映像懐かしく見ました



まあ、見方は色々ありますが、元気貰ってかえりました。 中年の元気が出る映画でした。

この頃 こんな感じばかりで ヤッパリ 歳ですかねえ・・・

先週神戸の家の団地の小学校では 開校時に「20年後の夢」をこめて埋めたタイム カプセルを20年ぶりに掘り出す行事がありました。

当時小学生だった娘や息子 そして各地から 沢山の当時の小学生があつまりました。

息子達 あまり興味がないのかと思っていましたが、飛んで行って 当時埋めた習字や絵を持って帰って また 多くの昔の仲間と会えて 非常にハイになっていました。

映画もそうでしたが、幾つになっても 夢 また 仲間会うのは 歳を越えてうれしい物とつくづく感じました

2000.12.5. Mutsu

● 神戸我が街 若草小学校で

20年を経たタイムカプセルを当時の小学生達が開く



【2000. 11. 19. 産経新聞 神戸版 朝刊 より】

昭和55年 今まで通っていた妙法寺小学校から分かれて若草小学校が若草町の団地の中央に開校。

昭和52年に尼崎市の立花から神戸須磨のこの地に移ってまもなくでした。

そして、20年を経て、平成12年11月18日開校時 20年後の夢を託してみんなで埋めた「タイムカプセル」が掘り出された。

当時 団地は沢山の子供達であふれ、運動会 団地内マラソン等々たえず街なかに子供達の歓声が上がっていたものでした。

沢山いた子供達もみんな成人してしまい、今は静かな団地になってしまいましたが、今日は東京や各地から「タイムカプセル」を埋めた当時の小学生が沢山団地に帰って来て活気があふれています。

当時3年生だった米子にいた娘も子供を連れて帰って来ました。また、当時1年生の息子も今はしっかりしたエンジニアになりました。

息子はこんな事に関心ないのかと思っていましたが時間が来ると飛んで学校に行きました。

まもなく、娘や息子が当時タイムカプセルに入れたお習字や絵を抱えて眼を輝かせて帰ってきました。

久しぶりに多くの仲間にてあえた喜びが満ちている風でした。

また、翌朝の色々な新聞には、各地からかけつけた当時の近所の子供達の写真やインタビューの記事が載り懐かしく当時をおもい起こしました。息子のインタビュー記事も産経新聞に載りました。



長女 3年生の時の作品 長男 1年生の時の作品

長女の娘

20年を経たタイムカプセルの中から

上段と一緒に載せたかちゃんの写真は娘は子供。生後7ヶ月。つたい歩きを始めたところですが、娘や息子と同じようにすぐ大きくなることでしょう。「ヤッパリ 若くても 年老いても 故郷 仲間に出会う喜びは同じだなあ」とつくづく感じると共に、「二十年なんて ほんととあっという間で在った」と感じた1日でした。

2000. 11. 19. 神戸にて Mutsu

● 久しぶりの筑波山

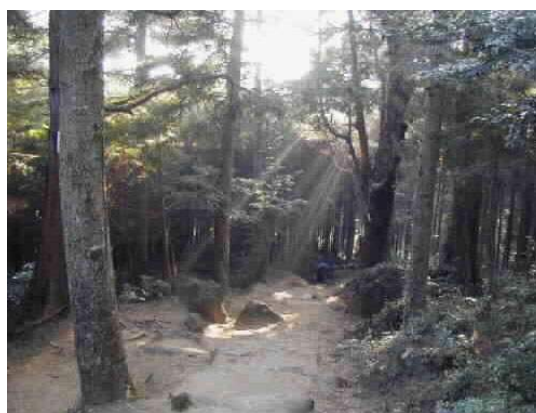
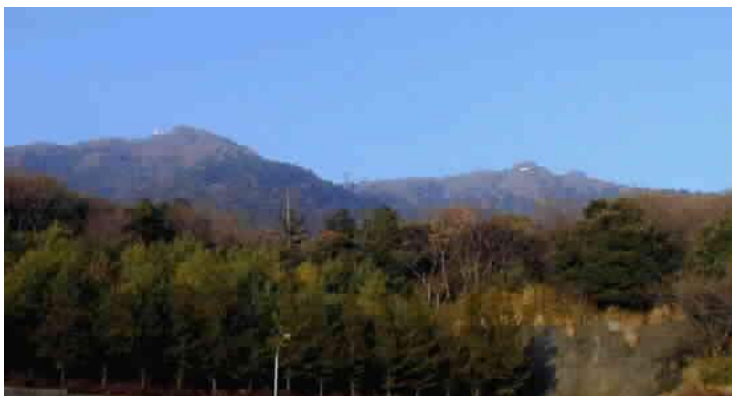
12. 23. 今日は 久しぶりに筑波山に登って、野田「汐の湯」に入って帰りました。

山へ行くのは退院後3ヶ月ぶりでしたが、山へ行くと気分がしゃっきりします。

もっともタフな中年のおばさんに登りで追い抜かれましたが・・・。

ブナなどの原生林の中、樹木の匂いが非常にこちよかったです

滋賀県比良の山の上から見る「琵琶湖」のように「霞ヶ浦」から太平洋へ注ぐ利根川を一度見たいのですが、青空が広がっているのに今回もダメでした。



● HOME PAGE 整理の事

病院に入ったのを機会に 丁度 HOME PAGE 限度の 50MB に近づいていた事もあり、整理しました。

取りとめもない事毎月更新していましたが、整理すると結構面白い物になりました。

「たたら」については まだ ほんとうにチョットしか WALK できていませんが、青森・秋田・岩手の東北へ出かけ、また 江口さんの紹介で民博の色々な人に出会い、縄文のストーンサークルもつなぐと面白い物になりました。

前任地の美祢の風景の数々も今はいい思い出になっています。

ホームページ スタートの 砂鉄の浜 千葉県九十九里浜 飯岡灯台横のレストラン どうなっているか訪ねたいものです。当時確か クリスマス イブにここで二人で星空をみるのがはやっていましたが・・・。関東にいる間に是非一度たずねたい。

古代丹後の「高チタン砂鉄によるたたら」現在の溶接材料に通じる技。びっくりしています。

まだまだ 訪ねたいところばかり きままにホームページつくりますので、今後とも お付き合いください。

2000. 12. までのページは すべて CD1 枚に入れて HOME PAGE からは 4 月には 削除したいと思っています。もし、必要な時には ご連絡ください。

2000. 12. 25 Mutsuo



週末になるとこのところ毎週雪になり、夜は道がツルツルです。今年は単身赴任の身にこたえる厳しい寒さ。つつい布団から抜け出すのに遅れ、出勤遅刻の失敗もやらかしましたがまあ、何とかやっています。

1. 27. 今日は夜中から1日中雪。今年一番良く降っています。朝早く出かけて結氷した袋田の滝見に行こうと考えていましたが、中止。布団の中から降りしきる雪を眺めています。山口にいる時には珍しくもなかったのですが、向いの公園の樹木に雪が積もって実にきれいな雪化粧を見せています。久しぶりの光景でした。



柏市花野井 社宅横の公園にて 1. 27. 朝

● 森本哲郎氏「木の文明」

1. 27. 楽しみにしていた森本哲郎氏のお話を山内丸山縄文塾で拝聴する機会を得ました。世界に類を見ない「木の文明」として「世界4大文明」にまさるとも劣らない「山内丸山遺跡」の話。また 大河に起こった4大文明とは別に中小河川に起こったであろう豊かで高度な文明の示唆。「ハシ」が持つ意味「端」「橋」「柱」みな同じルーツをもつ。その意味と山内丸山の六本柱 日本の柱にまつわる文明論。

〔挑戦〕と〔レスポンス〕「挑戦のないところ知恵なく 知恵が技術を作り文明を起こす」という文明論。現在が生きるワクワクする話ばかりでした。まだ整理できていませんので 聞いた話からまた別にまとめて少しづつ自分なりに考えたいと思っています。

2001. 1. 27. 柏にて Mutsu

● マフラーのこんな巻き方 知っていますか？



先日の夜 上野から柏への常磐線に乗っていると向かいに座ったかわいいお嬢さんが、かばんからマフラーを取りだし、丁寧に二つに折って首に巻きその二つに折とったところから端を出して巻きつけた。(あとで知ったのですが、「中出し」という巻き方)キュッと絞って 実に可愛く首に巻かれている。「ホッー こんな巻き方あるんだなあ」と見取れていた。

電車を下りて私もマフラーを取り出し同じやり方で首に巻いてみた。

非常に暖かくて具合が良い。

考えて見ると マフラーの巻き方などついぞ習った事なし。

【「中出し」の巻き方】インターネットから

「首にぐるぐる巻きつけ端をたらすか」「十文字に結ぶか」「しゃれっ気でネクタイ結ぶ要領で結ぶか」であった。

首に巻付けた端が体の前後ではためいている栗原小巻・西田佐知子のマフラー姿に昔心ときめかした時もありましたが・・・。

上記のような二つに折って巻いて折った部分に両端を通して絞るなどの巻き方一度もしたことなし。そんな眼でまわりを見渡すとマフラーの巻き方など線さ万別。

ソフトバイクを今も愛用しているが、バイクで走っていると巻きつけたマフラーが外れてきて、途中で巻きなおしたり、いつも苦勞していたのがうそのよう。全く崩れず、あったかい。寒いこの時期バイクに乗ってもルンルンで 帰宅した次第。

何で今まで気がつかなかったのか……常磐線の向いに座って マフラーを巻いてくれたお嬢さん様様である。このこと感激して同僚に話すと「そんな巻き方知っている」と……うそだろう。

インターネットで「マフラーの巻き方」で検索すると最もポピュラーな巻き方として写真に示したごとくこの巻き方が紹介されていた。ガックリである。

生まれて60年に近く 全く知らなかった。「やっぱり 物はきっちり教わる事心がけ様」と思った次第。最近は通勤・外へ出かける時 もっぱら この「中出し」の方法を愛用している。

皆さんはいかがでしょうか……

寒い時期が続いています。風邪ひかぬよう頑張りましょう。

● 「ISO の 功罪」

2001. 1. 19. 朝日新聞夕刊 経済面 「経済気象台」より

1月19日(金) 朝日新聞夕刊 全国版 経済面に「ISO9000シリーズ」の認証制度と今後の製造業「物作り」の考え方についてのごく一般的な方向付け意見記事が掲載されました。

極一般的な考え方ではありますが、常々お話し、私の考えている事に近い記事でした。

「物作り」の荒廃が言われ、「IT 技術の取込み」が課題の昨今何かの参考になればと思い掲載します。



● 「和鉄の道 Iron Road」

1. 古代製鉄発祥伝承の地播磨国 千種・岩鍋 country walk

「たたら」「砂鉄」にこだわって country walk はじめてもう数年。

「たたら」製鉄発祥の伝説を持つ「千種」に通い出し やっぱり 十数年が経つ。

千種に通っているうちに 「金屋子神の伝説」や「鬼伝説」「たたら製鉄」の民の関係を知り、随分出かけた所も広がりました

色々出かけたところを整理して、やっぱり「千種鉄」が抜けていると様にならないと感じ、このお正月の休み 古いアルバムなど引っ張り出して 播磨国 千種・岩鍋 の整理をはじめました。

色々ファイルが集まり整理するとやって見たい事 行きたいところが更に広がってきています。

関東からの東北通いも3年目 東北の山も

取りとめもない話ばかりですが、今年も元気な印として発信させていただきます。

東京成城の一家殺人 正月日の出暴走 今年の成人式の荒れようや そして 米子の新生児誘拐 もうなんでも有りの感じ。自分の思うままにまわりを全く見ない風潮。日本全体が荒れているように感じます。特に若い人が・・・・・・。なんとか 歯止めをかけねば・・・・と思うのですが・・・・・・。最近 風土・文化の大切さ もっと広げれば 宗教的な感覚の大事さを感じています。

今日は 米子の新生児 見つかったようだとの第一報がニュースで流れ、ほっとしています。

2001.1.14. 神戸にて Mutsuo

2. 1.21. 「千種鉄」ビデオライブラリーと 講演 「兵庫の鉄」

日曜日 神戸に帰ったついでに、気になって いた歴史博物館のホーム ライブラリーの「千種鉄」のフィルムを姫路市兵庫県歴史民俗博物館へでかけた。

前に一度見た事があるのですが、もう一度「千種 たたら」の歴史について頭の整理にでかけました。思いもかけず、博物館では兵博ゼミ 村上泰樹氏「兵庫の鉄」のゼミが開かれており、飛び込みで参加。丁度古代鉄と渡来人の関係や「日本での鉄の生産がいつはじまったのか？」など 自分のイメージ高めようと思っている時でしたので、本当に良い機会となりました。

また 現実にも今 発掘がはじまっている山崎町での「古代たたら遺跡」の紹介是非たずねようと思っています。

ライブラリー「千種 たたら」のフィルムから千種「天児屋鉄山」の概観図や千種歴史博物館の絵図の写真が「金屋子神」を描いた物である事そして岩野辺の古いたたら遺跡の写真等を見ることができました。また 千種のたたらに関係した苗字も伝説の世界での兵庫千種と実際に弥生・古墳時代 すでに兵庫の地が倭とほぼ同じ先進の地であったという川村氏の遺跡出土品からの考察おもしろかったです。寒い冬 家にじっとしていようかとも思いましたが、やっぱり 出かけるとそれだけの価値有り。資料は少し遅れますが、纏め予定

来週の週末は東京恵比須で山内丸山発信の会 縄文塾森本哲郎氏の講演聞く予定。

2001.1.21. 神戸にて Mutsu

● HOME PAGE の 内容を整理しました 【2】

昨年 11月 病院に入ったのをちょうど良い機会に HOMEPAGE 限度の 50MB に近づいていた事も有り、整理しました。

取りとめもない事毎月更新していましたが、整理すると結構面白い物になりました。

「たたら」については まだ ほんとうにチョットしか WALK できていませんが、青森・秋田・岩手の東北へ出かけ、また 江口さんの紹介で民博の色々な人に出会へ、縄文のストーンサークルもつなぐと面白い物になりました。

前任地の美祢の風景の数々も今はいい思い出になっています。

ホームページ スタートの 砂鉄の浜 千葉県九十九里浜 飯岡灯台横のレストランどうなっているか訪ねたいと思っています。

当時確かクリスマス イブにここで二人で星空をみるのがはやっていますが・・・・。

アリゾナ「セドナ」のあの林立するベンガラ色の山々やフェニックス そして、インテルの仲間達マーレシアペナンの仲間達 本当にこの10年 充実した10年でした。

● 姫路兵庫県歴史民俗博物館での村上泰樹氏「兵庫の鉄」

古代丹後の「高チタン砂鉄によるたたら」製鉄は現在の溶接材料に通じる技。

先日 姫路兵庫県歴史民俗博物館での村上泰樹氏「兵庫の鉄」講演の中で紀元前の弥生遺跡から発見される中国大陸伝来の鑄物製鉄斧では 表面をネバクするため脱炭の熱処理が施されている事知りびっくりしました。(例えば 福岡県比恵遺跡鉄斧など)

また、低温加熱して鍛錬することで不純物や炭素を飛ばし、強靱化する技術(錬鉄)も既に紀元前にあったという。いずれも現在に通じる鉄の技術



また 山歩きも今ブーム。おかげで交通の便も随分良くなって 週末利用で今年はどれだけ行けるか.....。

まだまだ訪ねたいところばかり きままに風来坊ホ。今後ともお付き合いください。

2000.12.までのページは すべて CD1 枚に入れて HOME PAGE から4月には 削除したいと思っています。もし、必要な時にはご連絡ください。

2001.1.28. Mutsu

17. 2001年4月 from M.Nakanishi 2001.4.1.

「春の花便り 関東」



【栃木市 太平山 謙信平より 古河・佐野方面を望む 2001.3.24.】

「春の花便り 関東」



2. 25. 南房総 千倉のお花畑 3. 24. 栃木市太平山麓大中寺の桜 3. 24. 太平山下ぶどう園の野草

2000 年度がおわり、2001 年度がはじまりました。先行きが全く不透明な中、新しい年度が始まりました。転職のスタートを切り、新しい出発をした人。長年の仕事に終止符を打ち、一度充電する人。転勤で新しい任地に張りきって出向いた人。色々の人生模様の見える時です。また、幾人かの若い人が新しい挑戦を始める為 東京・大阪や九州へ。その若さと逞しいエネルギーに時代の流れを感じています。

「もう我々には出番がないのか？」

仲間が次々と仕事に終止符を打つのを聞くと自分に重ね寂しい限りです。

気になっていた O 君も充電期間に終止符を打ち、新天地へ

柏で世話になった教会の先生も浜松へ移動。中国で世話になった Y 氏も仕事替わるとか

米子にいた娘家族も転勤で大阪に帰ってきました。

「自分で切り開こうとほかから指示され様と自分が選択した道 ほかに道なし。

新しい出発を突き進め。ガンバレと声かけるのみ」

また、このメール書いている時に 呉市を中心に四国・中国地方で大きな地震。いかがでしょうか？

本当に寒い日が続き、連日の雪景色。あれよあれよといっている間に春到来。

最近ほポカポカ陽気で 桜の花もさきだしたとか

3 月の HP 更新をしたかったのですが、何となく忙しく更新できず、四月になってしまいました。

毎度で替わり映えしませんが、ちょっとづつ 思いつくままやっています。

暇な時でも一度見てください。

「便りががないのが元気な印」など言わずに お便りください

2001. 3. 26. 柏にて Mutsuo

● 古代日本の「Iron road 鉄の道」で繰り広げられた壮絶なドラマ 謎の 出雲 加茂岩倉・神庭荒神谷遺跡 Country Walk

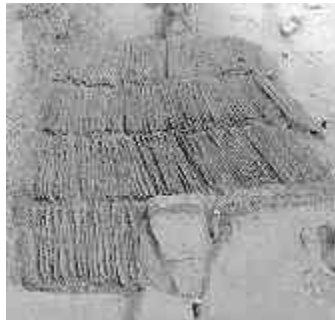
2 月 12 日 米子から念願の出雲「神庭荒神谷遺跡」と「加茂岩倉遺跡」に行って来ました。

日本誕生前夜の 3, 4 世紀頃 出雲に在った青銅祭祀器を中心とした出雲の文化 それが忽然と消えた。

約 2000 年の年を経て、まるで敵から隠すかのように大量の青銅祭祀器(銅剣・銅矛・銅鐸)が整然と埋められているのが、神庭荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡でみつかった。

日本誕生をもたらした「Iron road 鉄の道」で起こった謎の出来事。出雲で何がおこったのか？

圧倒的な「鉄のルート支配」で統一に突っ走る大和連合。それに従わねばならなくなった出雲抵抗のあかしがこの「神庭荒神谷遺跡」と「加茂岩倉遺跡」でなかったか
古代日本の「iron road 鉄の道」で繰り広げられた壮絶なドラマ。



それを今に伝えるのが 出雲加茂岩倉・荒神谷遺跡。日本誕生前夜 大陸・朝鮮半島から続く「iron Road」。静かな出雲の山の中で、色々思いをめぐらすと共に文化をも抹殺していったそのすごさを感じました。

『古代日本の「iron road 鉄の道」で繰り広げられた壮絶なドラマ 出雲「神庭荒神谷・加茂岩倉遺跡」Country Walk 』としてまとめました。

● うまいもの 二題 袋田の滝 & 野田

1. 袋田の滝 「切り蕎麦に良く合う刺身こんにゃく」 2001. 2. 2.

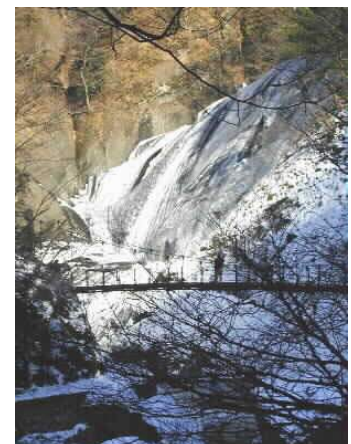
1月の末から二月初めは関東も雪が積もったりで大変でしたが、三月の声とともに暖くなりました。関東で雪が積もったのを見て週末 今年も茨城県太子袋田の滝を見に行ってきた。

氷結を期待していたのですが、残念ながら滝へ出るトンネルの中からドドッと水の音。残念ながら完全氷結とはいかず。 来年は奥日光でも収穫は 茶店で食べた「そばとこんにゃくの刺身」。

切りそばをたべながらこんにゃくの刺身をショウガ醤油であじわったのですが、そばとマッチしておいしい事。

こんにゃくの刺身がそばにこんなにあうとは・・・

また 一つ覚えました。



2. 柏 野趣にとんだ「野鳥の囲炉裏焼き」 2001. 2. 26



柏は利根川に近く、あちこちに森も多いし、昔は狩場だったようです。

実は数日前 柏の食堂で「めし」を食べていたら、隣で中年のおっちゃんが「柏の北西 野田との境で野鳥を追っかけていて雉を見た。」と。

少し前に「野田の森の中で 野鳥を食べさせてくれる店在り。一度行くといい」と教えてもらっていたので 同僚に案内してもらった。もっとも「「すずめ」食べにいこ・・・」と言ったものだから若い人に毛嫌いされたのですが・・・

夜の暗闇につつまれた森の木立の中の百姓家でいろりを囲み、野鳥や海の幸を焼いて、酒を飲みました。

日頃 料理屋で食べるのとはちょっと違った野趣にとんだ味わい。

柏は新興の街で「うまいもの」なしとと思っていましたが、こんな楽しみも在りました。

● 早春 花の南房総「千倉のお花畑」 & 幕張界限 2001. 2. 24, 25

二月の末に家内が柏に来て 早春 花の南房総「千倉のお花畑」へ約10年ぶりに出かけました。

咲き誇る花の色・香りを満喫。「やっぱり生活の中に花がなければ・・・」と久しぶりに「ヒーリング」1/f ゆらぎの世界 ゆったりと心地よく、活力を貰った気分でした。

Home Page にちょっと時期がおそくなりましたが、「早春の南房総の花街道 Country Walk」をまとめました。また ちょっぴり洒落た新しい街になってきた「浜幕張界限」にも二人で出かけ、ちょっと若返った気分でした。

家内は「いかなご」解禁の声聞くと飛んで神戸に帰ってしまいました・・・。

今年は寒さで大阪湾の「いかなご」解禁が一週間ほどおくれたようで、3月5日が解禁。

娘家族の引越しと重なり、思い通りにはいかなかったようですが、「いかなごの釘煮」を作っているいろんな所へ送って春の到来を楽しんだようです。

もっともこの神戸の春到来の風物詩「いかなごの釘煮」も有名になって、京阪神どこでも生のいかなごと釘煮のたき方をセットにして売出され、神戸だけのものでもなくなってしまいました。

柏の高島屋でも「神戸名物 いかなごの釘煮」と旗を建てて売っていました。

● 「陸の松島」関東平野を望む 栃木市 太平山 ハイク 2001. 3. 24.

3月になって 少し暖かくなりだすと共にまた恒例の「花粉症」になやませられている。

もう毎年であるが、今年は特に厳しい。柏の病院の先生が花粉症の談話で雑誌にのるくらいだからやっぱり柏は凄いようだ。

花粉症に負けてばかりいられないし、そろそろ動き出さないと・・・・・・・・・・・・・・・・

関東平野を一望できる気楽なハイクの山として「岳人」2001年「春山」特集号に掲載された栃木市の太平山に行ってきました。topの写真は太平山 謙信平からの眺望です。

春霞の関東平野の中にぽつぽつと丘や森が浮かび「陸の松島」と呼ばれるのにも納得きれいな場所でした。

太平山は非常に低い山ですが、半日で「関東平野」や「栃木市」を眺めながらの静かにゆっくり歩ける気楽な楽しい山でした。だんごなどほうばりながらゆったりと景色を楽しめるのも good。

ここまで来ると昨年と同様 杉等林の真っ只中ですが 花粉症もふつとんでいます。まあ げんきなものです。

2001. 3. 24. 栃木市 太平山ハイクに出かけて Mutsu

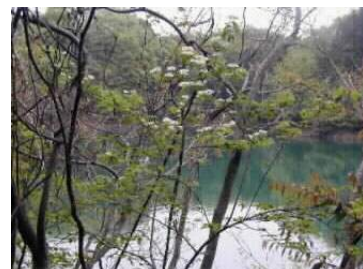
若葉萌える新緑の5月



九州 霧島 韓国岳山麓で 2001. 5. 3.



山口県 美祢湖 2001. 5. 5.



● 九州霧島 韓国岳に登ってきました



韓国岳頂上より高千穂峰を望む 右端 大瀧池

韓国岳から新燃岳・高千穂峰と続く峰々

5月のゴールデンウィークいかがでしたか？ 若葉が目にしみる絶好の季節到来。

私は家内と二人 新緑の九州霧島へ 念願の韓国岳へ登ってきました。

5月2日早朝に神戸をかって 霧島温泉にゆっくり浸かって翌日韓国岳に登って 美祢の家まで帰るスケジュール。天候に恵まれ、韓国岳の360度の展望と両翼を広げ天空に峰を突き刺す印象的な高千穂の峰を楽しみました。

おまけに霧島にしかなく、5月初旬に咲き出し、ほんの1週間で散ってしまうという天然記念物「ノカイドウ」の花並びに黄色い葡萄の房のような花を沢山つけたこれも霧島にしかない満開の「キリシマミズキ」に出会え、本当にラッキーでした。



久しぶりに気持ちのいいゆっくりとした山歩きが楽め、リフレッシュ 壮快な気分がかえりました。霧島といえば「ミヤマキリシマ」ぐらいしか知らなかったのですが、弥陀ヶ原や韓国岳の登山道で沢山の人がカメラを構えていました。

4月に満開となる「キリシマミズキ」が今年の寒さで遅れ、「ノカイドウ」の開花時期と重なり、霧島にしかない珍しい二つの花が同時に見える本当に「まれな年」だったので、本当に幸運。

韓国岳の麓に咲く 霧島の宝物

天然記念物「ノカイドウ」と「クリシマ ミズキ」そして「ハルリンドウ」 2001. 5. 3.



「ノカイドウ」 えびの高原で 「クリシマ ミズキ」 韓国岳登山道で

「霧島の宝物」「ノカイドウ」は薄桃色の蕾と白い花が混じり、満開になると真っ白となる。

韓国岳の登山口「えびの高原」の県道脇でちょうど咲き初めの薄桃色のまじった清純な花を咲かせて、見取れるような美しさでした。

また 韓国岳の登山道の灌木の林のあちこち中で「クリシマミズキ」が黄色の房を木一杯につけ、空の青と樹木の緑を背景に秋銀杏の紅葉の風情。良く見ると上向いて咲かず、花が垂れ下がる珍しい光景です。

韓国岳と大浪池とにはさまれた狭い野原には「ハルリンドウ」が一輪 また一輪 青い花を咲かしていました。まだちょっと時期的には早いようですが・・・・・・。花については全く予備知識なしでしたが実にきれいでした。

● 霧島山 walk

1. 高千穂峯 walk



高千穂峯 御鉢



高千穂河原登山口から 御鉢



御鉢中腹から 桜島眺望

2. 韓国岳 5.3.

念願の韓国岳。快晴の頂上の直下には大きなお釜が切れ落ち、韓国岳から高千穂峰に続く霧島連山の峰々が見える。大きな火口が見える新燃岳 お鉢を抱え 両翼を大きく広げたように見える神秘的な神々しい高千穂峰。この 20 座を超える霧島の峰々をあっけにと取られて見取れていました。



頂上から 霧島の峰々

眼下に広がる樹林の中には数々の火口池が眺められ、韓国岳のすぐ下には紺碧の水を貯めた大浪池がみえる。またはるか 南には桜島が見え、その横に小さな開聞岳が見える。また目を北に転じるとはるか遠くに阿蘇や傾 九州脊梁山脈の山々が雲の上に浮いていた。



韓国岳 頂上へ



頂上付近から 九州脊梁の山々

「今でないと歩けなくなる」とのちょっと脅迫観念にかられて、九州まででかけましたが、長年あこがれてきた山は期待にたがわず満足でした。

この若葉芽吹く樹海の中 露天風呂につかって鳥のさえずり 樹木の触合う音を聞く。

すっかり リフレッシュ。自然から活力をもらう。浮かれた気持ちではないが、すっきり気分が良い。これが自然の癒しの効果か・・・？

ふっと 色々な事が樹海のやすらぎにさそわれて 頭にうかんでくる。

もう 60 近くになると最近はいつも仕事を終えた後の事と健康の事が頭にある。

高度成長を支え、日本反映を担った団塊の世代。今檜舞台から退場をよぎなくされている。。。。。

そんな中で、現役の第一線で先頭に立って道を切り開いてきた仲間が数人 今病気と闘っている。



霧島温泉郷 丸尾温泉から 新燃岳を遠望



仕事にかけた情熱で病気を克服して欲しい。

なにも てきないけれども ガンバレ ガンバレ と ただ祈るのみ !!

ぜひ 元気な顔を見たい。

まだ 退場しないぞ・・・

明日もまた何くそで登るぞ・・・

そんなことを考えながら 霧島温泉郷 丸尾温泉にて

2001.5.2 Mutsu

● 花の4月 関東で Country Walk

菜の花は3月 南房総で

桜は 東京 隅田川の夜桜見物。

チューリップは 柏と桜のチューリップ公園でみました。

柏の緑の森もいいですが、カラフルな花の色と香り ヤッパリ この方が季節感があって好きです。

4.7. 春到来。東京では桜が満開。

春の陽気を楽しもうと前橋市の後

背上州「赤城山」へでかけました。

前橋市も桜満開のポカポカ陽気。

ところが峠を越え「赤城山」に近

づくところはまだ冬真ツツ中。

赤城山の中心の火口湖「大沼」は

氷結したまま。赤城山の最高峰黒檜山の頂上へは残雪の雪道。

晴天の中久しぶりに雪道の楽しいミニハイク



赤城山 登山道から 凍結した「大沼」 2001.4.7.



墨田堤の夜

桜川も提灯をつけた夜桜船で一杯。桜は暗くて良く見えないが、岸の人達の熱気がつたわり、夜の街の灯が川に映り good でした。もっとも 落語なんかで聞く 夜桜見物の風情はありませんが・・・・

4.15. イースターのこの日 柏 あげぼの山チューリップ公園ではチューリップが満開。

チューリップはイスラエル原産の花。

イースターのイメージの中 キリスト受難・復活の其の時にもイスラエルの山野ではチューリップ アネモネ シクラメンなどあざやかな色の花がさまざまだれていたかも知れない。



柏 あげぼの山 チューリップ公園

● 山口県長門市 湯本温泉の記事

4.25. 朝日新聞 4.25.夕刊 東京版 に湯本温泉の記事がのりました。

久しぶりに見る山口 美祢の記事。

財津和夫さんが「大谷山荘」に泊まった感想がまとめられていました。

温泉街を流れる川は「音信川」と書いて「おとずれがわ」と読む。

なにか ほっとする音感です。

まもなく 蛍飛びかう季節。

山合の静かな川の流れと蛍の淡い光と本当にまるやかなすへすべのお湯。

気持の切替のできる今もってお勧めの温泉です。

山口県長門市 湯本温泉



● 接着・接合の原点 縄文の石鏃について「アスファルト」

4.27. 青森山内丸山縄文遺跡から縄文列島へ「縄文文化の扉を開く」歴史民俗博物館企画展が開催中。そのシンポジウムを聴講した。

先日 森本哲郎氏の講演で「山内丸山縄文遺跡」は世界4大文明にも並び 5大文明ではないか」と聞いたが今「山内丸山縄文遺跡」の世界史的位置付けが議論されていた。

世界文明の展開が農耕定住によって育まれたという定説に対し、森と海に囲まれ農耕を持たぬ森の民が高度な文明を数千年にわたり育くみ、縄文の世界観を全くかえた青森山内丸山遺跡。

あのベストセラー「神々の指紋」で知られるイギリスの作家ハンコックも世界の古代遺跡探訪のドキュメント取材で山内丸山遺跡に訪れたという。



接着・接合の原点
縄文の石鏃について「アスファルト」

また、接合の原点である「アスファルト」のついた石鏃にやっと出会えました。

縄文時代 新潟「越」のアスファルトを石の鏃につけて柄と接続されていた。いろんな本で聞いていたが、やっと現物を見ること出来ました。

溶融接合の原点は「奈良の大仏の鑄掛け」。

それに先駆ける事数千年前 縄文時代からアスファルトによる接合・接着が行なわれていた。

同じ時代「漆」もまた土器の装飾・接着につかわれ、山内丸山遺跡の土器などの彩色にはベンガラをまぜた赤漆が用いられていた。

● 久しぶりに訪れた房総九十九里 砂鉄の浜 飯岡浜



古代の湖に広がる水田と香取台地
海上町 2001. 4. 27.



飯岡漁港とさの向こうに続く九十九里浜
飯岡 刑部岬から 2001. 4. 27.

19. 2001年 7月 from M.Nakanishi 2001. 7. 1.

6月後半は雨ばかりでうんざりしていましたが、梅雨の中休みちょっと落ち着いた気分です。最も景気は最悪 ほんとになんとかならないのか・・・・・・・・他力では何ともならぬこと判っていないながら つい愚痴になりますが・・・・・・・・。

6月26日の朝日新聞『ひと』欄〔東京版〕にガンを克服した大学時代の古い仲間S氏が紹介されているのを見つけました。まったく知らなかったのですが、ここ10数年ガンと戦いながら 今も金融のトップリーダーとして現役バリバリで第一線で働いておられる」との記事。本当に敬意を表します。

同じ仲間の会で あるメンバーが『ぼくら団塊の世代は「仕事 仕事 仕事・・・・」で来た人間。定年になってもやっぱり老けることなく「仕事 仕事 仕事・・・・」で行こう』と言ったことがありますが、トップリーダーとして働きながらのガンとの戦い本当に強い意志とアクションで支えてこられた事に感服。

先月非常に弱気なメール送りましたが、こんな仲間もいる事紹介すると共に今病気と戦っている仲間にもエールを送りたいと思っています。

2001. 7. 1. Mutsu

● 梅雨の合間に菖蒲・紫陽花・バラの花を見る

6. 24. 久しぶりの柏での雨上がりの日曜日 思い立って柏の街中で花見。

今年は「菖蒲」を見に行けず 「紫陽花」も街角でみかけるが・・また、バラがきれいな時期 前橋のバラ園のニュースを聞いたが・・・・・・・・どれもまだ中途半端。

『しっとりとした菖蒲・紫陽花もみたいし、また ぱっと輝く明るいバラも見たい』と 6. 24. の日曜日柏のあけぼの山公園・柏の葉公園へ初夏の花見に出かけました。



柏の葉公園で 2001. 6. 24.



柏あけぼの山菖蒲園・松葉町で 2001. 6. 24.

しっとりした紫の菖蒲一輪・山裾に咲く紫陽花 落ち着いたいい気分。

もともと梅雨時に咲く同じ紫・青系の落ち着いた清楚な大輪の花なのに 菖蒲が「神秘・やさしさ・忍耐」 紫陽花が「移り気・冷酷」と紫陽花にシビアー。

紫陽花は日本原産の花で万葉の昔からの日本を代表する花なのに花にたくされるイメージは余りよくなし。菖蒲との差は大きい。

でも 梅雨あがりに家の軒下 山裾でさく紫陽花は一種の清涼剤。好きです。

バラはバラで明るくて良し。昔は深い

い赤の大輪の花がすきでしたが、美祢のKさんに教えてもらった小ぶりの淡い色のバラが今は落ち着いて好き。

柏の街・公園を一日花をみながらゆっくり歩きました。

ゆっくり 落ち着いて歩いてみるといろんなものがこんなところに 知らないことが沢山みえました。

夕方公園の茶席で庭をみながらので抹茶と和菓子。

一日落ち着いたこんな日曜日もたまにはGOODです。

● 接合のルーツ 「漆」・「アスファルト」を見る -「発掘された日本列島 2001」展-
-日本の固有の「木の文化の加工技術」として-



6. 16. 本年も 「発掘された日本列島 2001」展が両国の東京博物館で開催中。今年が目玉は出雲大社の古代中空にそびえる神殿心柱の発掘。最近の古代遺跡発掘から、4世紀卑弥呼の時代 すでに大和に巨大勢力があり、「九州・出雲・東海・越」など日本各地の土器などからこれらの地方が大和の勢力下にあったことが判ってきて、また、従来考えられていた縄文時代には考えられない巨木を加工した日本古来の「木の文化」の存在など古代史が書き換えられようとしている。

出雲大社の発掘から、古代中空にそびえる巨大神殿〔東大寺大仏殿よりも大きな高さ46mを越える建物〕伝承を裏付ける巨大心柱が発掘された。

春 出雲太太社の本殿の前にある発掘中の「宇豆柱」を見ましたが、大きな柱が三本束ねられ、すごいと思いました。



発掘中の宇豆柱 古代出雲大社 想像図 NHK TV より

三内丸山遺跡をはじめとして、古代遺跡で次々に見つかる巨大木加工技術。

これらから、日本には世界3大文明に匹敵する「木の文明・文化」があったとする説を唱える人が多くなってきているが、大空高くそびえる出雲神殿の存在はますます日本固有の「木の文化」の实在に根拠を与えるものと思う。〔最近の調査では これら発掘された柱は鎌倉期の建替え用であることが判ってきたという 2003.1.15〕

縄文の「漆」と「アスファルト」

ともすれば「日本の文化は渡来人によってもたらされた」とする日本古代史が今書き換えられようとしています。

そんな中で 古代の接合と深くかかわっていた、縄文の「漆」と「アスファルト」が発掘展示されていた。北海道垣の島遺跡から縄文早期の最古の「赤漆製品」が発掘され、従来大陸から伝わったとされていた「漆」が日本固有の技術である可能性が強まった。

また、青森八戸の縄文遺跡からは「赤漆」により、接合補修された痕跡のある遮光器土土偶の首が発掘展示されており、古代の有力な接合・補修技術であることが判る。

きっちりと補修接合として漆が使われているのを見るのは初めてでした。

また、新潟の青田縄文遺跡で出土した「天然アスファルトの塊」が展示され、古代縄文のアスファルトの塊も見るのが初めて。

もう 数年にわたって 日本の接合・接着技術の原点として 「アスファルト」「漆」で接着・接合された物を見たくて色々博物館へ通いましたが 「アスファルト」につづいて「漆」でもが実際に使われた現物をやっと思えることが出来ました。

日本の古代の歴史が書き換えられようとしています、それと伴って 従来はあまり注目

れていなかった「日本の木の文化」が世界文明の視点からも重要視されています。

日本固有の文化・技術と稲・鉄を中心とした大陸からの技術が融合し、日本が形作られた。

今、「古代鉄の流れ」からも不思議な事多く、ちょっとづつ ベールが剥がされていくのが面白い。



赤漆での修復痕跡のある土偶

● 初夏 水芭蕉の尾瀬沼・尾瀬ヶ原へ



初夏 水芭蕉の尾瀬ヶ原 2001.6.9.

6.9.夜 霧雨の中 家内と二人で初夏の尾瀬・水芭蕉を目当てにでかけました。何拾年振りか 満員の夜行電車にのって 電車の走る音を聞きながら床に寝て行きました。

まったくの学生時代に戻った華やいだ気分になっていました。

夜明けの会津側沼山峠を出発して 水芭蕉や初夏の花咲く尾瀬沼・尾瀬ヶ原へ。尾瀬の花の図鑑片手に初夏の尾瀬を楽しみました。また 尾瀬ヶ原からヨッピー川沿いに静かな森の中段吉新道・燧裏林道を会津御池口へ下ったのですが、静かな燧ヶ岳裏の森と田

代をゆっくり楽しみました。静かな森越しに見える雪のついた平ヶ岳・越後駒も印象的でした。

いつも霧でどれかが欠けているのですが、梅雨時にもかかわらず、絶好の日和にめぐまれ、水芭蕉や種々の高山植物とともに燧ヶ岳・至仏山そして燧ヶ岳裏林道の田代群 みんな見ることに出来ました。家内にとっては2年越しの初めての尾瀬。満足したようです。もっとも会津高原に下りた時には足に来ていたようですが.....



水芭蕉の尾瀬探勝 2001. 6. 9.

20. 2001年 8月 from M. Nakanishi 2001. 8. 3.

『ひまわりの夏』



暑中お見舞い申し上げます

毎日暑い暑い夏です。お元気でお過ごしのことと思います。「ひまわり」と「朝顔」が庭先に花をつけ 夏本番。今年の夏は孫が日に日に成長するのを楽しんでいます。

厳しい暑さ どうか健康にご留意ください。

2001. 8. 3. 神戸にて Mutsu



大門恵奈です 1歳5ヶ月です



朝顔 日の丸(左) と 平安の泉(右)

● ショックアブソーバ付の杖

何とか梅雨の湿気を乗り切ったと思ったら、暑い暑い夏。

人ばかりでなく会社の機械もバテ気味。中々落ち着きません。

何時になるか判らなかった柏の街の常磐新幹線の工事がはじまったようで、ルートを示す標識が会社へかようあぜ道やゴルフ場横の田圃にも建てられました。また、ゴルフ場の横の遺跡の調査が終わったようでブルドーザーが入り、本格的な工事の開始です。

神戸須磨の自宅の横の布施畑では今中国道と海岸の国道を結ぶトンネル工事が真っ最中。大きな機械が入っています。

どっぴり町の中につかると何にも変化がみえませんが、街もちょっとづつ変わっています。

梅雨明けを待ちかねて 那須岳の縦走をしてきました。久しぶりに岩尾根を歩き、温泉に浸って気分爽快。リフレッシュできました。

もっとも 日頃の不摂生たたって バテました。特に下りは足にピンピン響いて、もう歩くのがいやと言うとこまで行きました。

もう やっぱり 今はやりのショックアブソーバ付の杖の世話になろうと思っています。

はやりではあっても「世話にはならんぞ・・・」と思っていたのですが・・・

やっぱり山は出掛けたいし・・・といったところです。

● 大阪のエスカレータ

本当に暑い暑い夏が続いています。

大阪の方が朝晩の暑さは東京より格別と感じています。東京と大阪を比較するのは悪い癖。でも 今年 はもう暑くて・・・

大阪にテーマパーク「ユニバーサル スタジオ」が開設されて約5ヶ月。沢山の人が大阪を訪れています。

大阪や難波、新大阪駅などのターミナルのエスカレータが最近非常にばらばらで通りにくくなっているのは関東の人が沢山大阪を訪れているのが原因と言う。

そういわれると確かに 新大阪駅での乗換えエスカレータでは最近片側明けの整列が乱れているように思いませんか？。

新神戸駅ではそんなことないのに・・・

大阪では万国博覧会の時に「右側によって立ち左側を空ける」スタイルができ、並ぶのが苦手な大阪人にはあるが、エスカレータではこのルールが良く守られてきた。

一方、東京では 大阪と逆に「左側に寄って右側を空ける」事が定着している。

まあ、どちらでもいいのであるが、ルールとしてあいまいになって居ることは困ったものだ。

自分流というのも良いが、お互いに人の流れにあわす鷹揚さも必要なのではないだろうか・・・

明石の花火事故も人の流れに逆らって歩道橋の上で立ち止まる動きが事故誘発の一因とも言われている。

最近 無手勝流の個人主義というか 無理押しが効く社会になっているのでは・・・?と考えるのは飛躍のしすぎでしょうか

そういえば 子供の頃「右側通行」「人は右 車は左」の交通標語がいつも教えられたが、最近聞いたことないなあ・・・

道路が整備され、歩道付の道が増え 人と車が分離され、対面交通の場が少なくなったためだろうか・・・

でも、「車と人」「人と人」の対面する場は増えている。

その時にどうするのか・・・これも危機管理。書かれたマニュアルがあるだけではどうにもならぬと思うのですが・・・

日本人が捨ててきたものも見直さねば 一部の人のみ good な社会へ突き進んでゆくのでは新大阪駅のエスカレータの手すりに寄りかかりながら ふっとそんな気持ちがよぎりました。

暑い暑いと言っているともうろくな事考えん。でも 何か いい話題ないでしょうか
まあ、最近 は 孫の片言の言葉になっていない言葉を効くのが楽しみになっています。

21. 2001年 9月 from M. Nakanishi 2001.9.9.

久しぶりに山口へ帰って



山口県西長門 土井が浜からの夕日西長門



新設された角島大橋 2001.9.1.

めっきり涼しくなり秋の風がふいています。

早く更新しようと思いつつ今日まで延びてしまいました。やっと9月のメールお送りします。写真は9.1. 山口県西長門海岸 土井が浜の夕日と直ぐ隣 昨年橋がかかった角島の夕暮れです。お盆に帰る予定だったのですが帰れず、9月1日から3日まで山口県美祢の家の草抜きを兼ねて山口に行ってきました。

一俣温泉のあの独特のつるつるのお湯につかり、その後夕日を見て、長門で魚を食べて美祢へ。

また、秋吉台北山麓は梨の産地。いたるところに「秋芳梨」の旗がはためいています。「秋芳梨」を楽しみにしている人達に今年も送れました。

私の一番好きな山口のコースなのですが、温泉に浸かって山を見ていると本当にほっとします。



角島灯台の夕暮れと灯台下海岸に咲くハマユウの群落 2001.9.1.

関東にいと時々山口のニュースを見ることあり、今度も家内がニュースステーションで「秋芳の白糸の滝」の中継があったと言うので久しぶりそこへも行ってきましたが、新しい発見。(勝手な推論なのかも知れません)

ちょうど秋吉カルスト台地の北側。別府の弁天池から長門・三隅へ行くの山の中へ少し入ったところ。以前出かけた時 この山中からなべ鶴が飛び出してビックリしたところ

地元山口の人も余り知らない所ですが、前とはうって変わってきれいな公園になっており、そこにきれいな滝がかかっています。

TVに出た滝としてみるからかも知れませんが、一層きれいでした。

その上流さらに遡ると桂木山。桂の木は古代製鉄に関係した「金屋子神」が千種を飛び立ち止まった木。やまの地形的にも「たたら」製鉄に適した地形であり、花尾山南面にある河原上たたら遺跡もすぐ近く。この秋吉カルスト台地の北山麓は古くからの鉱山・たたら製鉄が行なわれた土地であり この桂木山一帯は修験道の山という。きっと「たたら」と関係のある谷間と思う。

我々、どこで暮らしていても、本当は知らないだけでごく身近に製鉄遺跡があり、鉄とは切っても切れない関係が続いてきたものと今更ながら思う。



秋芳の白糸の滝

久しぶりの山口 まあ 第二の故郷。 美祢盆地の山の中 温泉以外 取り立ててなにもない山の中ですが、緑の山と空をながめているとほっとします。

本当に久しぶりのリフレッシュでした。

2001. 9. 2. 山口県美祢の自宅にて 満月の空を眺めながら

● home page「和鉄の道 Iron Road」をふりかえって

仕事は大変。

長い休みだったのですが、海外には行けずでしたが、けっこう好きなことをゆっくり出来た夏でした。この夏休みを利用して home page「Iron Road 和鉄の道」を整理したのですが、けっこう大部な本になりました。

価値があるかどうか別にして、コツコツ歩いた約 10 年。けっこう面白い予期せぬ展開のストーリーになりました。

当時「たたら」でホームページ検索しても数件 「鉄の道」「和鉄の道」などまったく無し。

過去に見向きもせず、鉄が先端産業としてつつ走り、円熟期にさしかかった時代。

それが今 学協会には「和鉄」の分科会があり、各地に「たたら館」がオープン。「たたら」で検索すると数千を超えるホームページが検索される。

鉄の世界もいよいよ 歴史の中に埋もれるのか または、先端産業として再生されるのか その瀬戸際。新しい展開が鉄の世界で起こる事を期待しているのですが

2001. 9. 9. 柏にて M. Nakanishi

くろがね 鉄山
東北 安達太良山の紅葉をみました



安達太良山 くろがね小屋周辺の紅葉 2001. 10. 13.

ご無沙汰しています。おかわりありませんか

背景の紅葉は10月13日 気分転換に出掛けた福島県安達太良山の紅葉です。

山の地図を見ていて 安達太良の山の稜線に「鉄山」の名を見つけ、この鉄山から切れ落ちた谷の一角に「くろがね小屋」の名があり、是非行ってみたいと思った次第。

あいにくの霧雨で山の展望は全くダメでしたが、山腹の紅葉は紅葉と緑のまだら模様が素晴らしく、久しぶりに「これぞ東北 山の紅葉」の感。満足して帰りました。

また、安達太良山の頂上付近は霧と強い風が吹き荒れていましたが、岩肌は赤茶色、鉄分の混じったベンガラ色。多分間違いなく「鉄の山」と思います。

もっとも 鉄山から切れ落ちる湯川溪谷を下った先の塩沢温泉は無色の鉄分のないお湯でしたが……。

安達太良山は「智恵子抄」でも有名になった山。

東北新幹線にのると那須連邦の山々を見、郡山を過ぎて磐梯の山を探しつつ、次に見えてくるのが、安達太良連峰・吾妻連峰。

安達太良山は別名乳首山。ゆったりとした稜線と森に包まれた優美な姿を見せ、その上にぽつりと乳首のように岩山が乗っている。

この山の奥北側の吾妻連峰が火山群らしい荒々しい山肌をみせているのとは対照的。

でも 山の中に入ると巨大な爆裂火口と切り立った岩肌を見せ、谷筋は深く切れ落ち、荒々しい山でもありました。

本当に暗い世相 いい方向へ早く転じないものでしょうか

楽しみにしていた青森三内丸山遺跡でのお月見に出張で行けず、でも変わりに安達太良で素晴らしい紅葉がみれたのでよし。

また、9月の末 宮城・岩手の国境にそびえる初秋の栗駒山にのぼり、岩手県側に降りて、古代蝦夷の雄アルタイがそりのある蕨手刀で戦った「北上・一関」へ。

直刀からそりのある日本刀へ 日本刀のルーツの一つ 一関 。平泉金色堂にもよってきました。

一関・平泉は30数年ぶり。随分変わりましたが、昔家内と二人で一関で買った黒い「雪焼けこけし」だけは今もそのままでした。

世の中は実にいやな世相。本当にどうなるのでしょうか

2001.10.21. 柏にて Mutsu

● テロ戦争と「ルーツ」の理解 2001.10.21.

9月23日 あのニューヨーク 貿易センタービルの飛行機テロが起こり、それから「テロ」戦争炭素菌テロへ。

また日本では狂牛病と世の中 なんかおかしい。仕事の方も何かむなしい感じがして…………… 。あの若い時のような気持ちを取り戻したいものです。

「紛争と争いの20世紀」を脱し 「新しい21世紀」の幕開けを期待していたのに厳しい現実です。ニューヨークで亡くなった方々は本当に無念だったろうとテロに対する言い知れぬ怒りとともにまた、「新しい争い」のスタートか と思うとやりきれなくなります。

現在のIT技術を中心とした先端産業を象徴するばかりでなく、鉄鋼技術の一つのモニュメントでもあったTWIN TOWERが高層ビル解体のスローモーションビデオを見るかのようにあんなにもろく、全層下に崩れ落ちるとは思いもよらぬ事でした。当時 最先端に行く日本鉄鋼業の優秀性を示す高張力鋼材が使われたビルでした。

なぜ あんなに一瞬に崩れたのか 原因はよく判りませんが、「欠陥ビル?」とも思いましたが、そうではないらしい。高層ビルの居住スペースを広く取るため、中心部に全く柱をなくした構造で、周りの壁・柱が各階を支えている構造とか……

したがって 中央部にはその階の重みしか耐えられない構造で、上の階の崩れた重みが次々とその階の中央部に加わり、ビルが倒壊することなく床が次々抜けてゆく形で下へ崩れ落ちたとか……

いずれにしても 中心に柱のない構造の思いもよらぬ構造のもろさを見たような気がします。

古来から 日本には『木の文化の象徴』として受け継がれてきた「言葉」「技術」として「御柱」「心柱」がある。最近 三内丸山縄文遺跡の巨大柱や古代出雲大社の巨大な心柱が出てきた話題などとダブらせながら 今もって「なぜ……?」と思っています。

また、今東京上野の科学博物館でNHKとタイアップした「日本人 はるかな旅 日本人のルーツ」展が開催され、350万年前アフリカで誕生し、二足歩行をはじめた人類の最初の「足跡」が展示公開されていました。「ルーツのルーツ」である。

これを見ていると人種・宗教・貧困・飢餓 みな地球人として乗り越えねばと思う。

昔々 争いの無かった時代があったという。

たゆまない「智恵と努力と行動と」で幾多の想像を越える苦難を乗り越えてきた人類の歴史を伝える遺伝子DNA。21世紀を生きる地球人として是非とも「共通の土俵」と「武力によらぬ解決の手段」を手に入れたいものだ。

「日本人はるかな旅 日本人のルーツ」展を見て 2001.10.21. Mutsu

● リュックサック問題

12月 急に寒くなって もう 今年もおしまいか・・・と思うこの頃。やり残した事沢山あり。
21世紀のバラ色の夢を描いた年が過ぎようとしています。
あんまりいい事がない苦しい1年でしたね。
来年こそは・・・と言いたいのですが、世代交代はいかんともしがたく。

ニューヨークテロに単を発した「アフガンの空爆」も終結しようとしています、あんだけ大量に爆弾
投下されると国土はメチャメチャ 復興といっても厳しい現実。また、ゲリラ戦の継続 国内の勢力争
いと取り巻く各国のエゴの絡み合い。
現実に関自分がそこにおかれれば・・・と考えると頭を抱え込んでしまいます。

国内不況も日増しに厳しさをましています。金融不況にテロ・炭素菌・狂牛病の追い討ち。人の気持ち
も何か 歯止めの効かない流れムード。何か世の中狂っとる・・・
昔 ひとつとのように見えていた現実が、今自分たちの身の上に降りかかって来て、あまりの深刻さに自
失呆然というのが現実。神頼み・人頼みしてもまったくどうにもならず。

「武器はなし マニュアルなし 先導者無し。一つ間違ったアクションとれば命取り」
それを悔いても仕方なし。

「どうにかなるさ・・・」と試してみても「どうにもならない」現実。
ほんと 若い人がうらやましくなります。

アメリカ人などはこの厳しい競争の現実を「よくうまく乗り切ってゆく」と感心していますが、骨身に
堪えています。

「解法の正解がない。自分の判断のよしあしが結果を左右する」こんな問題を「リュックサック」問題
と言うらしい。まさにそんな感じです。

早く 誰か解法見つけ出して教えて欲しいものです。

でも「立ち止まれない現実。明日に期待をかけて自分の足で 前向いて・・・」と試していますが、
だんだん 自分の動ける範囲が狭くなって 厳しいですね・・・

もっとも 先日 若いエンジニアが茨城に来たついでに柏に寄ってくれたのですが、わたしらよりもっ
と厳しい現実の中 「自分たちでやらねば・・・明日 ユーザーがどうしてくれるか？ 新製品に賭け
て・・・」と一生懸命話してくれる姿にほんとうらやましくもあり、彼の成長・頼もしさに感動する
とともに「是非 成功してほしいなあ・・・」と。

なにか歳と共に忘れ 薄れてゆくものを思い起こさせてくれました。

2001. 12. 1. 柏にて Mutsu

● 晩秋の奥白根山

学生時代 長野から京都に出てきたS氏とK氏がいつも語っていた「信州から上州経て尾瀬・日光へ抜
ける紅葉の街道。そこにそびえる草津白根と日光白根山。沼田街道と紅葉の丸沼菅沼・金精峠」
ふっと思い出して、10月27日 朝飛び出して 紅葉の中 沼田・丸沼から奥白根山(日光白根山)へ登
って日光側の湯元温泉まで歩きました。
楽勝と思っていましたが、意外と厳しい山歩きでした。

京都の仲間の話のついでに 柏の高島屋で「京都うまいもの市」があり、やっぱり足が向いて、色々買ってかえりました。

ビックリしたのですが、京菓子や京漬物の古い老舗の中にコーヒー豆の河原町「INODA」が店を出しており、しかも 豆と同時に「イノダのインスタント コーヒー」。

神戸でいう“UCC”上島珈琲の京都版の老舗なんです、ほんと和風の老舗の中に珈琲店が違和感なく混じっている事や新しいものに向っていること『京都らしい』と思いました。

日が落ちるのが日増しに早くなって 暗くなってから 一人帰るのが本当に嫌ですね。

つつい 色んなものが恋しくて・・・・・・・・。

そんな中、いろんな人が訪ねてくれて。もう 何年も会っていない人までも消息をたずて・・・。

美祢の黒田さんのチビちゃんたちも美祢の名産と新鮮な「はまち」を沢山だかえて・・・・・・・・。



京都 INODA の珈琲



奥白根山 (日光白根山)

師走のきざわしさと共に 1年・1年 否応無しに今後の生活をかえねばならぬ歳になりました。

さて 今後はどうするか・・・・・・・・その前にやっておかねばならぬこと山積み

やっぱり 「自分の足で前向いて 明日にかけて・・・」です。

つつい 歳とともにぐちっぽくなっています。

2001. 12. 1. 柏にて ぼんやり天井みながら Mutsu

謹賀新年

平和で明るい希望に満ちた年でありますように!!
本年もよろしくお祈りします
平成 14年 元 旦

A Happy New Year & Merry Christmas !



孫も 2 回目のお正月 元気一杯で みんなをこまらしています
でも 孫がくると 家の中が向日葵のごとくパッと明るく活気がでできます

平和への願いとは逆に戦争の中で始まった新千年紀。

『戦い』『不況』『デストラ』『狂牛病』と騒然とした『乱世』の弱者に厳しい世の中。
平和で穏やかな時代が早くくることを願っています。

でも 「良い 悪い」は別に立ち止まれない大きな変革のうねり 価値観まで大きくうねる混乱の中
今までの路線の総轄無く 路線否定だけが横行する時代。

押しつぶされぬようガンバラネバ・・・・・・・・

苦しむ仲間を見て 手を貸す事もできず。歯がゆいが どうする事もできず。

道先案内人のいないこの道 色々言われても 今の生き方変える事もままならず。自分の信じてきた道
をただ「ひたむきに「正直に 精一杯」進むしかなし。

20 世紀が科学の時代に対して 21 世紀は「情報」「人間・心」の時代といわれている。

早く混乱が収まり、「情報」が「人の豊かさ」に寄与する時代になればよいのですが・・・・・・・・

材料技術者としてのサラリーマン生活も終局にさしかかり「次の世代に何を残せたのか?」を思うとふつ
とさびしくなります。

先日 東京での大学時代の山仲間の会である先輩いわく

『老後になって 何が大事かという 「金」と「仲間」だけ。 仲間が支え。仲間のありがたいこと……』
本当に仲間のありがたさが じわじわと感じる今日この頃。『今までの道に間違いなし 前向いて 今を
ひたむきに 精一杯 進もう。 老後はなんとかなるやろう』ですと。

好奇心と前向きアクションだけは失わず・・・・です。

お世話になります、本年もどうかよろしくお願ひします。
また 色々 声かけてください。

2002. 1. 1. 除夜の鐘を聞きつつ

神戸自宅にて Mutsuo

● 山口県のたたら製鉄遺跡

長い間ほったらかしにしていた山口県と島根県の県境に近い福栄村「大板山のたたら遺跡」最近 ホームページ検索していて、この遺跡が整備「たたら太鼓」グループなど村おこしの中心として街の人達によって守られている事知り、アルバムひきだしてまとめました。

私が出掛けたのは山口県に赴任した 1993 年の 10 月。

地図や新聞で隠れキリシタンの里とその奥のたたら遺跡を知ったのがきっかけ。

50cc バイクで出掛けたのが最初。秋吉台のカルストを越え 萩のまちを抜け、何回となくこの山中の道をバイクで走りました。

長門峡・フォルンヘルス 阿東温泉 そして 佐々並市の古い家並・阿東の日本南限のりんごなどそしてその先の津和野・乙女峠にも などなど本当に懐かしく思い出しています。

25. 2002 年 2 月 From M. Nakanishi 2002. 2. 9.



神戸自宅の庭で清楚な香りを楽しませてくれた「蠟梅」 2001. 1. 13 神戸自宅で

2 月になり、日本各地から梅便りが聞かれるようになりました。

寒い冬の中 清楚な花の香りを漂わせてくれた「蠟梅」。随分楽しませてくれましたが、もう終わり。

今年は暖冬。いつも一月の終わりには氷結する茨城県の「袋田の滝」も今年はまだ凍らずとか・・・恒例の滝見物にまだ行けず。

アフガン復興へ 新しい風が吹き始めると期待したのですが、世相はまだまだ混迷・騒然 不景気の継続の中 雪印に政治の混乱と追い討ち。もうルールなしの何でもあり リーダー不在の混乱が続いています。時代過渡期の末期的症状か？ 早く新潮流が見えるようになればいいのですが・・・。

企業合併・統合は日常茶飯事 もう珍しくもなし。私の会社も事業統合を目指してまっしぐら。

この先 未知の世界ですが それに賭けるしか無し。頭では解っていても・・・。

気持ちを高めて先頭を歩かねば・・・と思うのですが、厳しいものです。

今年 こんな祈りを知りました。

God	
Grant me the serenity to accept the things we cannot change.	変えられないものを 受け入れる心の静けさと
Courage to change the things we can and wisdom to know the difference.	変えられるものを変える勇気と その両者を見分ける英知を

今月もまた とりとめもない文で申し訳ありません。でも 元気に今年もスタートしました。
「時代が代わってゆく」とひしひし感じながらの1年です。

頑張らねば・・・

でも この「ガンバラネバ」の脅迫観念も随分小さくなりました。前向いて 自分なりに・・・です。

家族は孫が加わりにぎやかになりましたが、今度 2月の末より、息子が2年ほどアメリカ赴任。
これで 息子もひとり立ちするでしょう。

家内は子離れです。

また 家族一人一人バラバラの生活になりますが、絆は「宅急便と fax」から「e-mail」へ格上げです。

今年に入って 本当にウィルス付のメール多くなっています。パソコン要注意ください。
また お便りください。

2002. 2. 8. 柏にて Mutsu

● country walk

2002年 冬 点 景 2002. 2. 9.

また 取り留めない話ですが、相変わらず週末には神戸と柏を行ったり来たりしています。
1月の walk を 「2002. 冬 点 景」として紹介します。

民族博物館 特別展「北太平洋の先住民交易」

1月12日 Eさんが民族博物館 特別展「北太平洋の先住民交易」の切符を送ってくれ、娘の家族と一緒に吹田の民族博物館へ。寒い寒い凍りつく北海道・樺太・アリューシャン・北米大陸の先住民の文化交流・交易展。凍りついた極寒の地でも広い交易がなされているのにはビックリ。

こんな極寒のシベリヤ大陸で行なわれている「製鉄・鍛冶」の図を見つけてビックリしました。
この北方の文化圏では中国製の鉄より、日本の鉄の方が品質が良く広く交易されたという。

海によって閉ざされた狭い日本で 長い時代をかけた和鉄の技が伝来の地中国・朝鮮半島の鉄を凌駕していた事にもビックリしました。

ここにも日本の智恵の素晴らしさを知りました。

残念ながら写真撮影禁止で写真とれず。国会図書館所蔵とあったのでいつか行こうと思います。

ふっと思いついて余り知られていない技能の世界「和鉄の技」について整理してみました。

日本刀の技も僕らの知っているのは直ぐ備前長船などというが歴史の中では北方系の蝦夷が持っていた「蕨手刀」を源流として中世奥州の刀鍛冶が日本刀の原型をつくりそれが国内に広く伝播したという。ほかに、東大寺の釘や奈良の大仏の鑄かけの技術そして出雲大社の太い3本組の御柱を結束した鉄輪の技術など見過ごしてしまいそうな中にとんでもない技術が隠されています。

知ってびっくりするが、そこは技術屋 見抜く眼を持たねば・・・と思うのですが、中々ダメ 難しい。今の時代 そんな職人の技に目を向ける暇も無し。機械ロボット万能・情報万能と人は言う。でも最近ちょっとそんなものにも眼をむけようとの風潮ができたかなあ・・・と思っています。技術・情報万能への反省からのやり直し はやりで終わってしまわなければいいのですが・・・・

二才の孫 博物館の展示など嫌がるかと思っていましたが、どうしてどうして 案内係のお嬢さんに愛嬌振りまき 展示物のドラを鳴らしたり、展示品のフィリピンの車に乗ったり マーレシアの影絵芝居に見入ったり 結構楽しんでいました。

発見です。どこへでも連れて行けるようになりました。



大阪吹田 国立民族博物館で 2002. 1. 12.

● 「日本各地の鬼伝説と鬼 「鬼は悪者か・・・・」

2月3日 2月3日は節分 「節分と鬼」 「鬼は悪者か・・・・」産鉄の民と鬼伝承が密接につながっている事知るにつけ、昔よくいっていた「鬼にもいいやつおんねや・・・・」と。鬼の仮面に隠され 名指しで決め付けられたものの裏にある真実を少し書き出してみようと集めた日本の鬼伝説の資料眺めています。

今アフガンで国際社会でアメリカの強烈な勝者の論理がグローバル スタンドアードの名のもとに吹き荒れています。

何処かで歯止めをかけねば・・・・・・。何か 鬼伝承で仕掛けた強者の論理。今と似ていないか・・・・

アフリカの昔話を集め研究している言語学者のEさんに教えてもらった昔話・語り部の面白さ。

「アフガンの出来事の影響が貧困に喘ぎ ひたひたとイスラム化が進むアフリカでどんな形で現れてくるかを見てくる」と来年3月に計画されているアフリカの昔話特別展の準備にアフリカへ旅立ったEさん。



日本各地の鬼の伝承を聞くたびに産鉄の民としての労働の厳しさと迫害の歴史を思い 伝承の裏にある弱者の真実を見抜かねば・・・

そこに今の現実を解き明かすかぎありや・・・

● 播州の雪彦山

1月27日 神戸に帰ったついでに 久しぶりに 家内と二人播州の屋根

雪彦山の麓にある夢前町日帰り温泉「雪彦温泉」へ行ってきました。

山口・美祢にいる時には 疲れると 俵山温泉や長門湯本温泉でポケーと浸かるのがリフレッシュでしたが、柏では中々ままならず。久しぶりに山中の温泉でリフレッシュ。

雪彦山は日本三彦山の一つ 修験の山。関西では岩登りのメッカ。冬の曇り空に岩峰を突き上げ素晴らしい景色。今度は登るつもりです。

日本三彦山 九州の英彦山 新潟(越)の弥彦山 そして播州の雪彦山 いずれも急峻な峰を持つ修験の場でありながら、その麓は古代開けた土地。 山々を駆巡る修験の人々とたたら衆とは深く結びついているとの説もあり。鬼と同様「和鉄」や鉱山と関係する土地といわれる。

英彦山の北は筑豊の炭鉱地帯 古代から開けた多くの古代遺跡があり すぐ麓のからはたたら遺跡も見つかっている。

弥彦山と「たたら」との関係はまだ訪ねた事がなく良く知らないが、彼の地は大陸との交易が盛んな古代鉄の集散地「越の国」。播州雪彦山の直ぐ西は古代製鉄発祥の地「千種」。

そう考えるとまんざら信憑性のない事でもなさそうである。



今 NHK の「日本人 遥かな旅」1-5 巻を読んで 古代に夢はせている時でもあり、山中雪彦山の岩峰を見ていると何か 渡来の民になったような気がしました。久しぶりの山の中の温泉 静かな山中 ポケーと山をみつけながらの湯 リフレッシュ リフレッシュです。

ついでながら 先日 TV 見ていたら 「添乗員が奨める温泉宿」の第1位に「山口県長門湯本温泉 大谷山荘」が選ばれていました。

「そらそうやろ」と思いつつ、一つ山口美祢の自慢話が加わった気分でした。

● Iron Road 和鉄の道



以前に集めていた砂鉄の写真や「和鉄の道」で使った写真などをこの正月整理。今整理すると違った角度で見えると考え、「和鉄の道」の口絵的に「日本各地の砂鉄」「絵図にえがかれたたたら製鉄図」「和鉄の技」「日本各地の鬼伝説」の四つに分けてまとめました。

「Iron Road 真金吹く 吉備」の項まとめようとしていますが、以前集めたのも古く「もう一度出掛けて」と思っています。

今 NHK の「日本人 遥かな旅」の話に入れ込んでいます。

「日本人の本質の中に相手を徹底的にやっつけず 取り込んでいく」姿勢は縄文・弥生時代からの日本人の智慧。

外国からは「あいまいさ」の表現としていつも批判にさらされるのですが、今一番必要な解決の智慧。

桃太郎伝説や日本の「鬼」伝説の中にもそれを見えています。

そんなこんなでもうちょっと吉備調べたいと思っています。



3月 自宅の庭にはサクラソウが満開



3月3日 息子 2年の予定でアメリカへ旅立ち
握手しているのは孫(娘の長女 恵奈ちゃん)

あっというまに3月。大阪湾でのいかなご漁解禁の話題を東京のTVでも報じています。

梅満開の便りが各地から届くとまたいやな花粉症の季節。

家内は例年のごとく『いかなご』の釘煮をはじめています。

私は昨年よりはちょっとましですが、花粉症 やっぱり出てきました。涙ぽろぽろ 鼻はおかしいし、大変です。

アリゾナ ダイヤモンド バックス優勝にわいたフェニックス。

数年前 毎月のように出張で通ったフェニックスは、今 雨の降らない砂漠の街・寒い冬を越す老人たちの避寒の地を逆手に取った大リーガーのキャンプ地へ。若者が訪れる町へ イメチェン。

2月後半から アメリカ大リーグのキャンプが始り、その郊外のメサやテンピ スコットディール ピオリアなどの町の名が毎日のように新聞・TVに出ている。

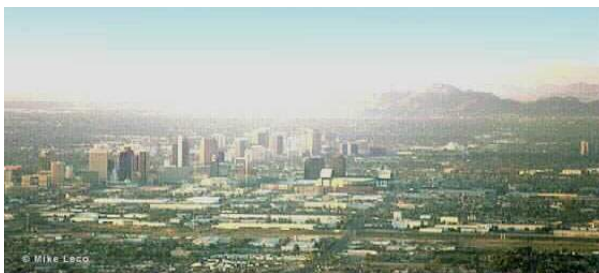
そして ツーソンも・・・・。

多くの日本人大リーガーが誕生して連日報道されています。また、あのリポビタンDの広告の赤い岩山が アリゾナ北部に広がる赤と緑の台地 セドナの岩山

以前 一緒にいった若いエンジニアが「ここは猿の惑星か?」と言ったフェニックスの象徴 ベンガラ色のらくだの形をした岩山とアリゾナ沙漠。

若いひとたちの新鮮な発想にビックリしたものです。

はつらつとした若いエンジニアにも随分沢山出会いました。出身国千差万別の若者が会社を動かしていました。その中で自分も若返った気分がしたものです。



アリゾナ フェニックスの街と沙漠の岩山

今 新庄・イチローはじめ多くの日本人大リーガー誕生とその言動にそんな若いエンジニアの群れとが重なっています。

息子も今日 会社からの派遣研究員として2年の予定でアメリカへ旅立ち。
元気に若者らしく前向いて アメリカで頑張ってきて欲しいと思っています。

こっちも 花粉症吹っ飛ばして がんばらねば・・・・・・・・・・
また お便りください。

2002. 3. 3. 関西空港で 息子の旅立ちを見送って Mutsu

● Iron Road 和鉄の道 「真金吹く」吉備の国 「和鉄」と「鬼」

長くなりましたが、吉備の国の「和鉄」とのかかわりをまとめました。

弥生時代から古代 大陸・朝鮮半島術から北九州・瀬戸内を経て大和へ続く道は「文化・技術交流の道」「渡来人の道」そして大陸からの製鉄技術伝来の「Iron Road 和鉄の道」。
その中央にどっしりと構えた吉備の国は「真金吹く 吉備の中山」とうたわれた吉備は製鉄の国。この製鉄技術の支配権をめぐる争いが吉備の国に残る「桃太郎の鬼退治」ではないか・・・・・・・・



鬼ノ城から眼下に広がる古代吉備の国を遠望
眼下総社市の平野の向こうにきびの中山から
古代造山古墳ほか数々の遺跡そして四国の山並が眺望

吉備の国の中心 総社市街の平野を見下ろす丘陵地にそびえる古代の山城「鬼ノ城」。桃太郎伝説の鬼の城。吉備の国を直接に見下ろす鬼ノ城。どうみたって大王国の首長の城。ここでも 「鬼は悪者か……」の疑問がふつふつと沸いてくる。

珈琲
「コクテル堂」東京虎ノ門
洗焙を尽くす原理が、
旨みと深いコクを生む

ふつと沸いてくる。

● country walk
Aging 珈琲の東京虎ノ門「コクテル」堂

東京にも老舗のおいしい有名な珈琲店があると聞き、たまたま1月の雑誌にその店が載っていたので行ってきました。

「珈琲は豆・焙煎・挽きそして入れるのも新鮮なのが一番」と聞きますが、コクテル堂の珈琲は豆を900日もAging。

Aging でコクとまろやかさを引き出すとか・・・店の雰囲気だったのかも知れませんが 美味しい珈琲でした。久しぶりに「Aging」の言葉を聞きました。

神奈川・東京・山梨の県境の富士見台 冬の陣馬山ハイク



2002. 2. 3. 思い立って神奈川・東京・山梨の国境にある陣馬山から小仏峠まで残雪の中の尾根道をハイキングに出掛けた。一人神戸から出てきて藤野町で小学校の先生している姪を訪ねがてらにW V のN氏が言っていた富士山見ればのハイキング。

藤野町から和田峠へののどかな川沿いのみちを歩き、沢井の集落の陣馬山登山口から一の尾尾根を登る。先に二人登っていった後 人影は無し。展望の利かない杉林の尾根道 残雪をふみしめながらの約 1.5 時間で陣馬山頂上へ。

霞がかかっているが笠雲をかぶった富士山が正面に雄大な姿で迫り東から西へ 丹沢山・富士山・三ツ峠・大菩薩・金峰山・御前山・大塔山と素晴らしい展望が楽しめました。ここをホームグラウンドに山歩きをしているN氏の情報 GOOD でした。



陣馬山からの眺望 2002. . 2. 3

最も山頂の茶店で「ビール」といったら「ビンビールとつまみの皿」が出てきたのにはビックリ。缶ビールを飲んでる人達の中で一人ビンビールをはずかしげに飲みました。

人のいない尾根道を静かなハイキングを小仏峠迄。旧甲州街道の小仏峠には名前の由来となった小さな地藏さんがありました。

当時喘ぎ喘ぎ登り詰めたこの峠に関所があったという。今は静かな山の中。

ここから旧甲州街道の山道を下って相模湖へ急な下り道が下まで続く。

今は 見あげる小仏峠の下の山腹を中央自動車道と中央線がトンネルで通過している。

甲州・武蔵国境の壁となって、陣馬山から小仏峠を通過して高尾山の尾根筋を直角に山越へするの小仏峠の大変さを今更ながら実感。

でも 帰って聞くと この高尾・小仏峠・陣馬山の尾根筋を走る山岳マラソンがあるという。そういえば 一人雪の尾根道を走っている人に出会いましたが、その練習かも。行き違った時にはこんな雪道走らんでもいいのに・・・物好きなと思いましたが・・・



陣場山から小仏峠・高尾山への
縦走路 2002. 2. 3.



旧甲州街道 小仏峠



美女谷出口から小仏峠を望む
中央自動車道・中央線トンネル

27. 2002年 4月 From M. Nakanishi 2002. 4. 7.



神戸・須磨 須磨寺で 3. 30.



京都 銀閣寺疎水で 3. 23.

4月1日 イースター 「イースターの早い年は春が早い」と言われるそうですが、東京ではもう桜も散って本当に猛スピードで春。

「キリストの受難」そして「キリストの復活」を祝うキリスト者 にとっては一番大事なイースター。

『キリストは自分の敵を作らなかった故 十字架にかかったのではなかったか・・・
そして 神に身をゆだねたうえの復活。

「敵・味方」の考えからの脱却が今一番問い掛けられている重要な時

このイエスに自分たちそれぞれの生き方を重ねよう。 』

と神戸聖ヨハネ教会 角瀬司祭のイースターメッセージ。

沙漠の中で生まれたキリスト教・イスラム教など一神教は「二者択一の厳しさ」が在るのに対して森で生まれた日本の多神教の宗教の持つ「おおらかさ あいまいさ」が対比して語られる。

今「国際化・グローバル化」が叫ばれる中 その名のもとに非常に厳しい「二者択一の選択」を要求され、もう解がまったく見えない泥沼のテロ戦争。その根底の中に「キリスト教」の影を見る人は多い。でも キリスト教の中に何時も「神とともにいまして」の考えがあり、「主の平和」いつもを言葉にするのも事実。ふっと イースターメッセージを聞きながら これを思い出していました。

4月1日 また多くの人が新しいスタートを切ったと風の便り。

まだ考えが一つにならず悩んでいる人も多し。自分の思い通りにならぬ昨今。

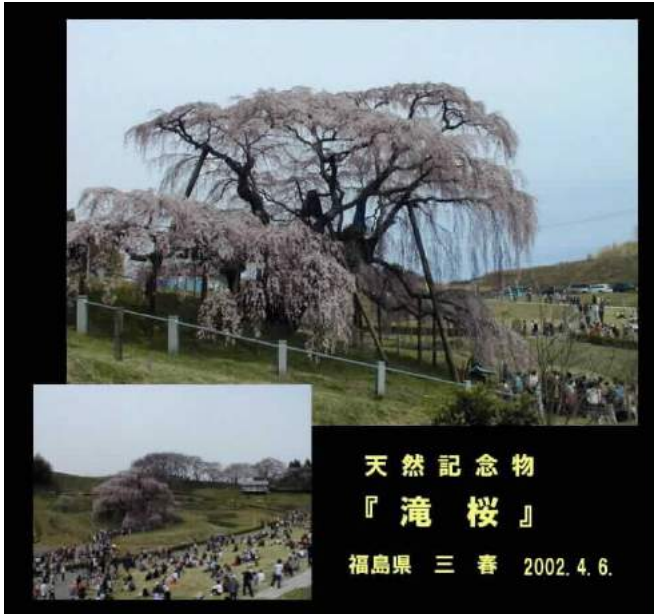
イースターがもたらした早い春。このスピードが今ある閉塞感を早く取り除いてほしいと願わずにはいられない。

自ら進んで受難へ進んでいったキリスト。

行動なくしては 何も変わらぬのも事実。「智慧」をさずかりながら前向いて進まねば・・・

2002. 4. 1. 神戸から東京へ帰る新幹線で Mutsu

● 春爛漫 三春の桜



東北 三春 満開の「滝桜」2002. 4. 6.

このメールを書いている時にも春は猛スピード。柏は桜が散ってもうチューリップが満開。この土日にはあけぼの山の公園には多くの人出。

インターネットで東北一のしだれ桜 樹齢千年を越える福島県三春の「滝桜」が五分咲きとの報に出掛けましたが、もう満開。そのどっしりとした迫力に圧倒されました。桜を取り囲んで座れるようになっているのですが、私もそうですが、そこに座ってじっと見とれていました。

そのまま 会津磐梯山へと思ったのですが、まだ雪の中。

軽装では無理なので、雪の裏磐梯「五色沼」を約35年ぶりに歩いてきました。



雪の中の磐梯山 五色沼



柏 あけぼの山 満開のチューリップ 2002. 3. 6.

● 和鐵のルーツと伽耶の鐵



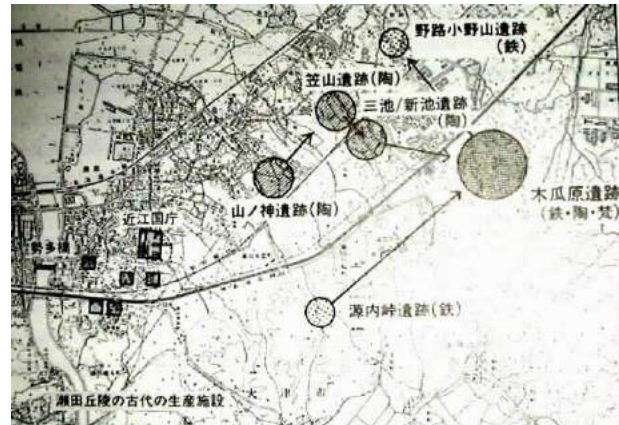
3月13日 千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館で開催された国際シンポ「加耶の鐵」参加聴講。古代日本誕生の揺籃期に重要な影響を与えた朝鮮半島の加耶の鐵。断片的にしか知らなかった「古代日本への鐵伝来 大陸・朝鮮半島から日本への和鐵の道 Iron Road」について系統的に勉強できました。でも あの広い国立民族博物館のホールが朝早くから満員で「和鐵の伝来と日本誕生の謎」に多くの人たちが興味があるのに驚き。

● 近江の和鐵

3月23日 長年 手をつけなかった近江国琵琶湖南岸の製鐵遺跡の重要性と遺跡の話を知り、3月22日 京都の義母を見舞ったついでに瀬田丘陵の製鐵遺跡を訪ねました。

滋賀に進出した龍谷大理工や立命館大理工（草津キャンパス）の建ち並ぶそこがまさしく6.7世紀 大和朝廷の律令国家確立を支えた製鐵遺跡 古代近江国の大製鐵コンビナートである事知ってビックリ。また 草津野路小野山製鐵遺跡は今国道1号線の大動脈京滋バイパスの真下に埋まっています。

また この近江の製鐵遺跡をインターネットで調べ依頼のメールを送った先がもう亡くなった京都の義父の親しい友人のお孫さん。本当に「不思議な縁」にびっくりです。



● 京都 大文字山・銀閣寺界隈



3月24日 思い立ってむかし学生時代住んだ北白川・銀閣寺界隈を walk 本当に久しぶりに大文字山に登り、鹿ヶ谷へ降りて真如堂から吉田山へ。歩き出すと不思議なもので次々と不思議なぐらい住んでいた当時の事が思い浮かび、つつい路地へはいたり、思いつくまま歩いてきました。

誰もみんな こんな気分で歩く街があるのだろうか・・・と。

僕にとっては この京都銀閣寺界隈 成人するまで過ごし住み慣れた尼崎 山口県美祢の街 そしてマレーシア ペナン島ジョージタウン

呼ばれればいつでも飛んで行きたい街です。

28. 002年 5月 From M. Nakanishi 2002. 5. 3.

春 まったなか 猛烈なスピードで春が進んでいます



桜の須磨寺 3. 30.



三春『滝桜』 4. 6. 柏



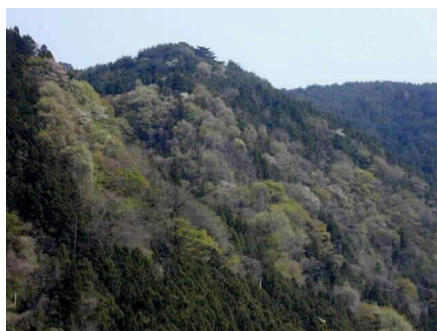
あけぼの山 4. 7.



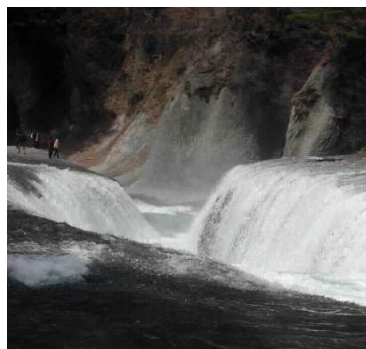
草津温泉 湯畑 4. 13



草津白根山 4. 14.



足尾渡良瀬溪谷 4. 14.



片品溪谷 吹割の滝 4. 14.



信州 佐久町 4. 27.

風薫る5月。 今年には桜をはじめ、猛烈な勢いで春が進行し、あっというまに若葉の季節になりました。世の中は『スピード時代』 『グローバル化並び高齢化社会への変革・混乱の時代』 真っ只中ですが、季節までハイスピード。

このまま行くと四季の感覚もうすれがち。

スピードで得られる良さもありますが、失われるものも多いと思います。

インターネットで配信されてきた記事の中に『スピードの時代であるからこそスタートから今までを1日にして、物事を考えてみよう』との記事がありました。 同感です。

4月になって 色んなところから聞く話は厳しいばかり。また ハッピーリタイアメントとは言いがたい世相 仲間が次々と第一線を退いて新しいスタートを切ったと聞きました。

また、例年にも増して多くの方が 厳しい選択の中で新しい門出ハッピーになるよう頑張られるようお願いしています。

私も人の事言っていられない年になりました。 否応無しにやってくる『引き際』。流れにまかそうと思っていますが、本当に淡々と定年を迎えられるか・・・

『今年 大学へ入って 40 年。一つの区切りだから仲間集まって祝いやろう』との誘いあり。

考えてみると 子供時代から 青年・大人の世界へ 新しい世界への第一歩がこの時か

材料屋としてスタートをきり、仕事でも今まで続けてきた材料エンジニアの世界

また 良きにつけ 悪きにつけ 一献傾け愚痴を言い合ってきた多くの仲間たちを沢山得たのもこの時から 40 年の歳月 今振り返ると まだまだ 色々ありますが 本当に長くも在り 短くも在り

そして 私の会社も 7 月には会社統合をスタートさせ、新しい経営陣で動き出す。

自分にとってもエンジニアの第一線から退いて 新しい出発を間近にひかえている。

こんな事考えていると本当に歳いったなあ・・・と思う。

でも 新しいスタートは若返りの第一歩でもあると考える事にしたい。

2002. 4. 27. 柏にて Mutsu

インターネット配信

今日の雑学 2002. 4. 17. 『はじまりのころ』 より

1 日にすれば、という考え方をときどきする。

ぼくたちの遠い祖先が日本にやってきて縄文時代が始まった約 1 万 2000 年前を午前零時とし、現在を 1 日の終わりとする。1 万年弱続いた縄文時代は、午後 7 時半までを占める。

弥生時代が午後 8 時半まで、9 時半になって平安時代が始まり、明治維新がようやくいまから 10 分あまり前。

同じ方式で生命の歴史をあてはめると、生命誕生の午前零時から始まって、午前 9 時ごろ、光合成を行う生命が生まれる。生命が多様性を探ったカンブリア紀が午後 9 時から始まり、そこから進化はめざましくなる。恐竜が存在したのは午後 10 時半からの 1 時間くらい。ほんの 30 分前に恐竜は絶滅、人類の誕生はわずか 1 分前のこと。(途中 省略)

1 日にすれば年表をたどるとき、驚かされるのは黎明期の長さだ。

縄文時代の長さ、あるいはカンブリア紀の生命の大爆発に至るまでの長さ。ほんとうの意味でぼくたちに身近な姿が現れるのは、もう日も沈んだ午後 9 時以降なのだから。

夜遊びばかりじゃなく、はじまりのころのことを、その長い助走期間のことを、ときには振り返ってみる。

小橋昭彦氏 840

スピードに対する対応のあまり、即物的対応がもてはやされ、時間経過から見えてくる本質がなおざりになっていないだろうか

私は「製品」と「商品」を区別しているが、管理技術・即物的対応からは「製品は作り得ても商品は作れない」

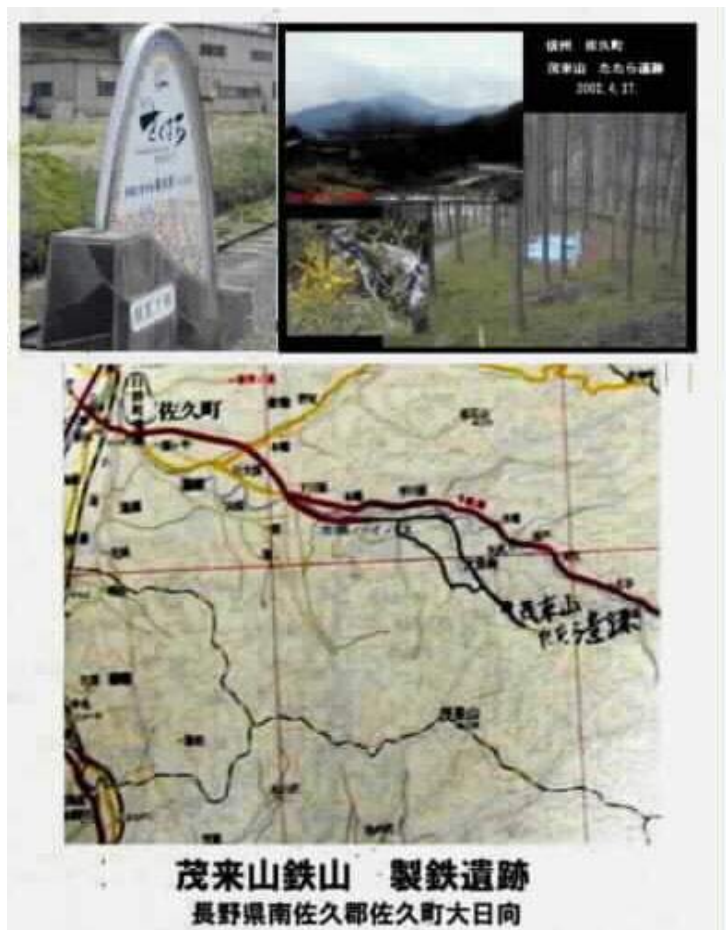
あまりにも「今」「管理」術に捕らわれがちな時代 全体を通してまた 始りの志をよく考える事が非常に大事と・・・

● 信州 佐久町 茂来山山麓の「茂来山たたら」遺跡

信州「佐久」で江戸末期の「たたら」遺跡「佐久町 茂来山鉄山」が調査されたと聞き、鉄鉱石の出る現地でそのまま鉄山が経営された貴重な遺跡との話に興味津々。信州のたたら遺跡も見たことなく兎に角いってみようと 4.27. 信州 佐久へ。長野新幹線ができ、信州が近くなった事実感。久しぶりに春の信州の山の中に入りました。「花と高原のまち 佐久町」 小海線を真中に右手には蓼科・八ヶ岳が壮なり、左手には秩父の峯々がみえる。もう 芽吹きも終わり、里のあぜ道には黄色いタンポポが咲き乱れ、山には「山吹」と「若葉」が山を覆い、水しぶきをあげる清流とともに春から初夏への準備をもうしていました。

信州 佐久町 2002. 4. 27.

小海線にも久しぶりに乗って
佐久から清里へ



以前銚子で世話になった清里の聖アンデレ教会の武藤司祭を訪ねポール ラッシュ記念館にも案内してもらいました。

戦後まもなく 立教で教鞭をとり、清里開拓と共に聖ロカ国際病院の再建 そして 野球・アメリカンフットボールの普及にとキリスト教主義の中でアメリカの支援組織をつくりこれら数々の業績をあげたポール ラッシュ。

先人の素晴らしい働きとその偉大さと共に「崇高な本物をみせよ。それも他の人が真似が出来る」の言葉に頭をゴツンと・・・。

信州 この八ヶ岳周辺では先進的地域医療を成し遂げた佐久の佐久病院や茅野の諏訪中央病院など日本の地域開拓を成し遂げた先人たちもいる。

静かな林の中に建つ清里聖アンデレ教会の畳敷きの礼拝堂にもすわり、しばし黙想の時も。

清里も落ち着いた高原にかわり「今度は山に登ろう」と約束し 高原の新鮮な空気を胸いっぱい詰めて気分を新たにしてみました。

また この佐久のたたらや清里の話 ゆっくり まとめます。

山の残雪が消え、桜が桃にかわり、もう若葉の季節。 スピードを逆手にとりたいものです・・・

2002. 4. 27. 中央線車窓から なかれ飛ぶ山々を眺めながら

● country walk

源平の昔の「青葉の笛」と門前に「卯の花」を訪ねる

神戸 桜満開の「須磨寺」

3月30日「神明道路に沿って須磨寺の駐車場があり、そこを降りればそのまま須磨寺の境内・門前へ行ける」と家内が聞いてきた。

「雑誌アエラに門前の「しらはますし」の太巻き「花巻」寿司が名物として載ってるよ。

卯の花はなくなったのかな・・・」「須磨寺の桜」も今日あたりは満開に違いないと暖かい日差しの中、土曜日の昼 家内と二人 食い気半分で須磨寺へ出掛けました。

地震と共にすっかり忘れていたこの須磨寺界限。付近は時々通るのだがほとんど足を踏み入れた事のない街。

須磨寺は源平の戦いの一の谷の直ぐそばの山裾にあり、桜が非常に美しい寺。小学唱歌「青葉の笛」の歌碑があり、一弦琴でも有名。「お大師さん」の時には 沢山の人出になるが、それ以外は静かな林の中の寺でした。

須磨寺の門前付近は阪神大震災で壊滅的な被災を受けた場所でしたが、明るい門前の商店街に変わり、お大師さんの日にはなかったのですが、多くの観光の人達で華やいだ街になっていました。

須磨寺もよく整備されたオープンな寺に変わっていましたが、桜桜満の境内の一角にある「青葉の笛」の歌碑のまわりに中年のおばさんが 群がり、歌碑の音楽にあわせて「青葉の笛」をみんな口ずさんでいました。

私も何とはなしに歌詞みなくても歌えるのにビックリ。家内と二人口ずさんでいました。



須磨寺名物「卯の花」鮓 2002. 3. 30.



桜の須磨寺

肝心の須磨寺名物「卯の花」鮓。

しめ鯖の切り身をのせた握りの鯖の上に炒って黄色くなったオカラを振りかけた鮓なのですが、味が絶品 震災で絶えてしまったか・・・と思っていましたが、門前に店を並べる街に須磨寺名物「卯の花」の札がひらめいていました。 久しぶりの「卯の花」に家内と二人 満足 満足。

あまりにも震災の強烈な印象で足をよう向けなかった「須磨寺」界限。

明るい街への活動がはじまり、お奨めのスポットに変わってしまいました。神戸須磨のお奨めです。

● 福島県 三春 の 天然記念物『滝桜』



4.6. 例年より早く 猛スピードで桜が開花。桜の名所は沢山あるが、『一本の桜が華やかに大きく手を拡咲き誇っている姿』

今年は是非この桜の大木が大きく大地に根を張り、いまが盛りに咲いている姿を見に行きたいと。

福島県 三春町の天然記念物『滝桜』どんな雑誌にも名木として名高い桜。是非見たいと 早朝の東北新幹線に飛び乗り福島県郡山から少し山間へ入った町「三春」へ。

本当にすごい桜でした。丘の緩やかな斜面に満開の花をつけもう眼一杯拵げた枝垂れ桜の巨木一本。丘を登って反対の斜面が見えてそこにこの桜の巨木を見たときには本当に声も出ず。そのボリューム感というか どっしりとした落ち着きと気品と言うか もう圧倒されて声も出ず。

「桜の苗が大きく育つ頃ぼくらはみんな大人になるんだ・・・」なんてかわかりませんがこの歌がふつと浮かび 口ずさんでいました。

もう題名も忘れたのですが、TV ドラマで毎回「学園を出て大きく育った子供が学園を訪ね 先生とこの桜の下で再会してドラマがスタートする・・・」そんなドラマ。

毎回ドラマの終わりに「大きな桜の木が満開の花を枝一杯につけ、花びらが舞いこの歌と一緒にながれるのですが・・・」不思議にこのシーンをずっと思い出していました。

この桜のこと感激して話をした事もあって 沢山の人からメールあり。

私の先輩からは桜のある『三春ダム』かつてペンストックや水門で走り回った時のモニュメントダムだと思いをつづったメール在り。

かつて ペンストックで走りまわった時代を懐かしく思い出していました。

また、「三春」とは「梅・桜・桃」が同時に咲く事から来た地名だと・・・。そして この「滝桜」は敬愛と親しみをこめて日本全国どこでも「お滝さん」で通じるとの事

桜については この三春の桜に限らず、誰も沢山の思い出を持っているのだとつくづく感じています。

● 福島県 裏磐梯 残雪の五色沼 アルバム



会津磐梯山 磐越西線 猪苗代近傍車窓より

4. 6. 福島県三春町の『滝桜』を見物した午後 雪の裏磐梯五色沼へ。 柏のOさん夫妻が毎年春裏磐梯五色沼へ出掛け撮られた素晴らしい写真を思い出して汽車に飛び乗った。車窓から眺める磐梯山にはまだべったりと雪がついて美しい。

猪苗代湖越しに磐梯山を見た風景が良く写真にあるが、見たこと 無し。

今回やっと見れました。

裏磐梯への道路はすっかり除雪されているが、まだ回りは残雪が多く冬景色。

三十数年前の晩秋 真っ赤な紅葉と小雨に煙る五色沼を家内とふたり震えながらめぐりましたが、それ以来。

夕闇せまる雪道を踏みしめて林の中に分け入ると 次々現れる五色沼の神秘的な沼の色は健在。

人っ子一人いない静けさの中の沼めぐり。白銀の磐梯山が夕闇の中薄っすらと赤く染まってこれもまた印象的。 今度は是非 磐梯に登って帰ろうと思っている。



残雪の裏磐梯 五色沼で

2002. 4. 6.

● country walk のんびりと春を楽しむ風来坊

- 草津温泉・草津白根から日本ロマンチック街道を吹割の滝・渡良瀬溪谷へ -

4. 13. 14. 春物への衣替と掃除に家内が柏へ来てくれた。

「前から一度行こうと言っていた草津温泉へ行って 今年は春が早いので あわよくば草津白根に登って沼田街道を金精峠へ」

柏でレンタカー借りる智恵もついたり、家内は「草津温泉へ行こう」で goo.

二人とも関東はどこも知らないの、どこへ行っても珍しい。二人だと何時も「食い気と花と山が見え

ればそれで ok 」風来坊である。

「草津温泉よいとこ 一度はおいで」ではないが やっぱすごい 関西人にはまったく知らない所ですが、いく価値ありと思います。



草津温泉 湯畑 4.13



草津白根山 4.14.

街の中心の湯畑 そして 泉質の異なる河原の湯・大滝の湯の二つの露天風呂。そして頭の上には白銀の草津白根連峰 1日ふらふら歩いていても退屈しない温泉街である。神戸でいうと有馬・城崎に近い古い温泉街の家並 湯畑は湯村温泉の泉源か・

でもスケールは文句なく草津 そして なんと行っても白根の山並がどこからでも見えるのがいい。

草津白根は雪でまだ上まで行けず。草津白根へのロープウエーがある殺生河原でストップ。

でも 朝もやの中 べつとりと雪のついた草津白根が正面に堂々とそびえ 東には 苗場から谷川の上越の山々 そして武尊山から奥日光・赤城山 が連なり、南には 榛名山・妙義山 秩父から上信国境の山々が一大パノラマを見せてくれ、人っ子一人いない白根殺生河原からの展望は最高でした。

また、残雪の白根に対峙して南に真っ白な裾野を広げた浅間山の勇壮な姿も印象的でした。

でも本当は白根に登りたかったのですが

● 足尾・渡良瀬溪谷 富弘美術館

14日 早朝に草津温泉から山間の道を東へたどる。どこもこのあたりは桜が満開。

六合村 暮坂峠を越えて沼田へ。沼田街道を奥日光・尾瀬への道を取り、片品溪谷の「吹割の滝」へ行って 赤城山山麓を抜けて再度渡良瀬溪谷を足尾・富弘美術館に行く事にした。

車でないと中々行けない場所です。



片品溪谷 吹割の滝 4.14.

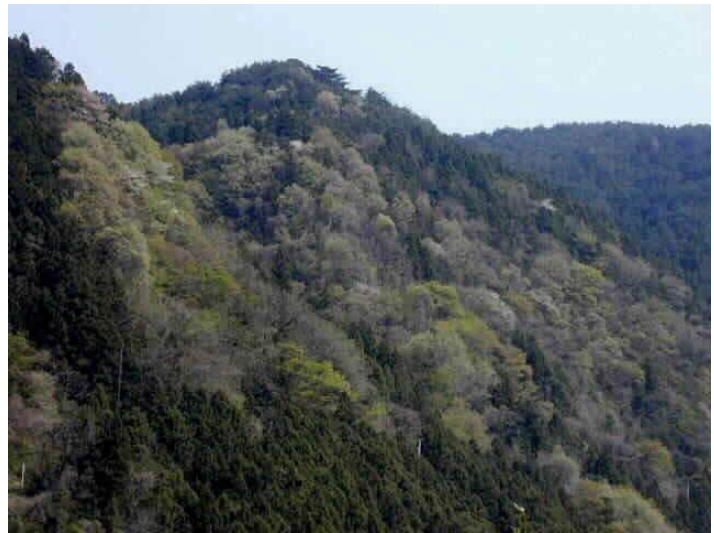
「吹割の滝」は「日本のナイヤガラ」の名前に引かれ 是非行ってみたいところ。富弘美術館も一度いきたいと思いつながらに行けなかった場所でした。

吹割の滝から先金精峠は雪でまだ通行止め。沼田の方へ少し引き返し、赤城山 皇海山の間 赤城山の山腹を突ききって大間々へ出て、足尾・渡良瀬溪谷に入り、溪谷の途中東村の富弘美術館へ行く事にする。

丁度同じ時期 赤城山へ登ったが全くの残雪の中、火口湖も

完全に凍結していた。今年は春が早いと言いながら群馬の山はちょっと高くなるとまだ雪がべったりである。でも赤城の外輪山の縁を南に大間々へ下って行くと山は冬の装いから芽吹き of 春の装いに変わって行く。

渡良瀬溪谷に入ると本当に春の芽吹き of 山が淡い緑を呈し、本当に見違えるよう。素晴らしい芽吹き of 春。渡良瀬溪谷には足尾鋳毒・田中正造渡良瀬遊水池の暗いイメージがあり、中々足を向けられなかったところ。



足尾渡良瀬溪谷 4.14.

渡良瀬溪谷に入ってビックリ 時期が山の樹々が芽吹きで華やいだ美しさを呈していた性もあるが、本当に明るい開けた谷である。

この山間の溪谷の木々を眺めながら約 30 分。足尾の山をバックに湖のほとりに富弘美術館があった。

● Iron Road 和鉄の道

第 5 回 暦博国際シンポジウム

「古代東アジアにおける倭と加耶の交流」に参加して

2002. 3. 13.

『加耶の鉄と倭国』



日本の古代製鉄のルーツは大陸・朝鮮にあることが定説になっており、大陸・朝鮮半島から海を渡って日本へと続く「古代の Iron Road 和鉄の道」。其の中で重要な役割を演じた「加耶の鉄」

この鉄の覇権をめぐる展開されたドラマが日本誕生に深く結びついている」と言われ、弥生時代から古墳時代そして大和朝廷の時代へと紀元 2~7 世紀の古代和鉄を探っていくと常に行き着く「朝鮮半島加耶の鉄」。

鉄の自給で大和朝廷を支えた近江国 瀬田丘陵の古代製鉄遺跡群

—野路小野山遺跡・木瓜原遺跡ほか— 2002. 3. 23.



7 世紀後半は朝鮮半島白村江での敗戦・百済の滅亡・新羅の朝鮮半島統一と朝鮮半島との関係で国際緊張が高まり、朝鮮半島からの交易も思うに任せず、大和朝廷にとってこの南郷・瀬田丘陵での鉄生産・自給が極めて重要な時であったと考えられ、その後この瀬田丘陵で次々と大規模な官営と見られる製鉄基地が営まれ、律令国家形成のバックボーンとして機能する。

行ってみれば 今は龍谷大 立命館大の理工が建ち並ぶテクノセンター。ここならば以前から何度も通った所。ここに古代の大製鉄所があったとは・・・・・・

29. 2002 年 6 月 from M. Nakanishi 2002. 6. 1.



新緑の 6 月 あちこちから山開きの便りが聞かれ、山も残雪からお花畑に花が咲き誇る初夏の季節に衣替え。年々季節感が遠のいて これも老化のせいでしょうか・・・・・・

6 月の第一週といえば 京都では平安神宮の薪能かがり火に照らし出されて舞う能と暗闇の中に響きわたる澄んだ鼓と笛の音。もう随分いかないですね・・・・

また、九州九重の全山を桃色に染めるミヤマキリシマ 今年はどうでしょうか・・・・美祢の蛸も飛び交っている事でしょうね。

梅雨時ですが 野山が一番美しい時です。

もう 関東にいるのもあとわずか まだまだ 行きたいところ多し 頑張って 出掛けようと思っています。

また、今年も 6 月 top 仲間の訃報。コンピューター革命の真っ最中 サンタクララと一緒に mpu package に夢をかけた Lee White 氏逝く。

ユーザーでの開発プレゼン・ディスカッションで司会やオープニング メッセージ等随分助けてもらったアメリカの仲間。

本当にいつも物静かで冷静で 日本から行く仲間をいつもサポートしてくれて・・・・・・・・
かねてより 病気と戦っておられると聞いていましたが、・・・・・・・・スタンフォード MIT UCLA アメリ
カの先端医療をもってしてもだめだったと

『海をもう一度見たい』とアメリカ西海岸へ出掛け、満足して帰られ その夜そのまま永眠されたと。
本当に静かで 落ち着いた人だっただけに余計に壮烈な死に映る本当に悔しく残念である。
病気との戦いご苦労様 今はただただ安らかにお眠りくださいと・・・・・・・・祈るのみ
残された我々 彼の分も必死に生きねば・・・・・・・・

リタイヤに思い巡らして

私の仲間も自分を含め、今年か来年に 60 歳の定年を迎え、どうする どうするのメールが交わされてい
ます。今年は区切りの歳として大学時代の金属の仲間 山の仲間から それぞれ 集まろう の声がか
かっています。

「みんな 変わったやろな・・・・・・・・が半分 みんな 学生時代とおんなじや・・・・・・・・が半分」
色々思い巡らしながら楽しみにしています。

冒頭の写真は 94 歳になる京都の母とふたつになる孫の会話です。
どっちも 元気一杯 「そのエネルギーほんとうに貰いたい」と何時も思います。まだまだ 家に閉じ
こもる歳でなし

定年後どうするの・・・・・・・・。 今我々世代の最大課題。厳しい持代です。
また、引き続きお世話になりますがよく

私のホームページ 「和鉄の道 たたら探訪」 も WALKING のこだわり みたいなもので 現場に立つ
事だけを目的に現地に行き、書きためてきましたが、まとめると 300 頁を超えました。

コツコツやると その瞬間は大した事なくてもなんかかっこうついていると我ながら感心しています。
もう 区切りにしようと考えていますが・・・

さて 次のテーマとなると もう 気ままに 風来坊です。

山口県美祢市 豊田前のテクノパーク 刑務所誘致の運動が進んでいるとか 新聞で知りました。
ビックリですが、新しい流れが出来れば それも由。

信州茅野の諏訪中央病院の鎌田氏著『がんばらない』

信州佐久へ行くといったら 家内が貸してくれた本

信州で戦後の地域医療の先端にたった諏訪中央病院。その地域の人達とのかかわり方が生き活きと記さ
れている筋の通った本。

ちょうど浅田次郎氏の「天国への 100 マイル」を読んだ時感じたのと同じ感じ。涙もろくなりました。

鎌田氏流にいう「『がんばらない』で生き活き生きる。」

最近なんか そんな心境です。

色んな事がおこるこのご時勢 体調に留意されますよう。 また メールください。

2002. 5. 31. 夜 神戸への 闇を走る新幹線の中で

逝った Lee 氏に思いをはせ とりとめもなく 色々な事 頭にうかぶままに

Mutsu

● home page 更新

今回 ホームページに連休に出掛けた信州と山口県美祢・秋吉の WALKING をまとめました。

1. 信州佐久ピラミッド型の美しい姿を見せる茂来山山麓

幕末のたたら遺跡「茂来山鉄山遺跡」

4月27日 信州の佐久の山中に「現地鉄鉱石を原料とした たたら遺跡」があるとの記事を見て 早速信州の佐久へ行ってきました。

春の佐久平 霞で山はきれいには見えませんが、ピラミッド型の美しい姿を見せる茂来山を背景に田圃の畦にたんぽぽが咲き、鳥のさえずりとせせらぎの音 まだまだ残る田舎の風景。そんな山間の街道筋の奥 美しい杉林と溪谷に守られて茂来山鉄山遺跡がありました。

東京から信州まで 新幹線使うと本当に近い事を実感。 田舎を実感した佐久の春でした。



幕末 信州 佐久 武州街道沿いに栄えた「たたら製鉄」遺跡

「茂来山 鉄山」製鉄遺跡 Walk 長野県 南佐久郡 佐久町

2. 昨年 9月以来の山口県美祢でのリフレッシュ

もう もう 美祢の家も気分リフレッシュのかけがえのない別荘になりました。

5月3, 4, 5日 ゴールデンウィーク あいにくの雨交じりの天気でしたが、山口県美祢へ草抜き兼ねて掛けました。お向かいの黒田さん一家と歓談したり、ゆったりと来福台ですごしました。

雨上がりの5日には 久しぶりに秋吉台カルストロードに出掛け カルストの中 長者森から冠山まで歩きました。

帰路 美祢でお世話になった萩焼の田中先生の新しい萩焼工房を山口市の吉敷に訪ねました。

山口の美祢 本当にもう少し近ければ・・・なんですが、行くとほっとします。

「左馬の茶碗」



萩焼 窯元 田中 講平 先生
日本工芸会 正会員
陶房 葉月の 初窯 「左馬」の茶碗

美祢でお世話になった萩焼の田中先生の新しい萩焼工房「葉月」を山口市の吉敷に訪ねました。

「左馬の茶碗」って ご存知ですか？

田中先生夫妻と旧交温めるとともに 先生から貴重な「萩焼工房 葉月の左馬の茶碗」をいただきました。

縁起もので 初窯のスタートに焼き 世話になった人やお客さん筋等に配るのだそうです。

馬の字や馬の絵を逆にして描いて焼くのだそうです。「うま」を反対にすると「まう」で舞の縁起担ぎから来たとか
また馬は絶対に左には倒れず、「右に出るものがない」とかが由来だそうです。

天童では将棋の駒 左馬 に彫るそうです。

右向きの馬を書くと しっぽやたてがみを描く時逆方向に絵筆を走らせねばならず 稚拙が現れるので、作陶の優劣が歴然と見えてくる。作陶家は腕をこの「左馬の茶碗」で誇るのだそうです。

技術屋のステイタスにも合い通じる話だと思っています

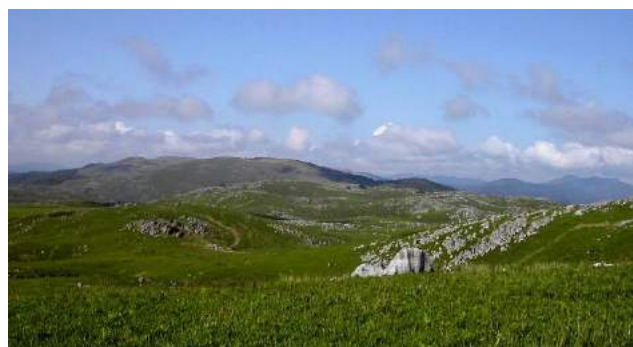


● 春 草色に輝く 秋吉台 カルスト台地 walk

雨上がりの秋吉台 カルスト ロード 久しぶりだった事もあり 素晴らしかったです。

カルストロードの長者森に車止めて カルスト台地の中を草花を見ながら冠山の頂上までハイキング。
春 こんなにきれいなカルスト台地初めてでした。

やっぱり歩かなあかん・・・と思いました。 カルストロードでは見られない新しい景色の発見でした。



春 草色に輝く 秋吉台 カルスト台地 walk 2002.5.5.



2002. 7. 20. 神戸 自宅にて

『いまわりの夏』到来
暑中お見舞い申し上げます

向日葵の 華やぐ顔に 梅雨があく
梅雨明けを 待ちかねて咲く 月下美人
孫の着る 赤いじんべいに 夏を見る
語り部の ソフトな響きに つい我をのせる

元気にお過ごしのことと存じます。

台風一過 一気に夏になると思いましたが、まだ ちょっとぐつついて・・・・・・でも今日梅雨が明けました。

梅雨時は 溶接屋にとっては一番神経使う時ですが、どうやら今年は梅雨の湿気を乗り切れたようでうまい大ジョッキを飲めそうです。

もっとも もう 技術を見る立場から離れたのでどうちゅう事 無いのですが、やっぱり気になります。7月 私の会社も溶接材料のトップめざして事業統合し、新体制発足。私も違った立場で側面から follow する立場に変わりました。

今までと全く異質の毎日に戸惑いの中にいますが、まあ 元気にやっています

今年 種を撒くのが遅れ、まだ成長過程ですが、我が家の角先で今年も明るい花を咲かしはじめました。千葉から週末神戸に帰ると一番きになるのが、この向日葵なんです、去年より、ちょっと小さいですが、パッと元気をくれる花を咲かしています。

もっとも私は『見るだけの人』で次々と庭の花が変わるのを週末帰神の楽しみにしています。

向日葵と毎年対の朝顔がちょっと今年は貧弱なんです、其の分 かぼちゃの花や夜暗闇の中月下美人が次々と大輪の花を次々と咲かせ、庭には色々とりどりの小さい野草が咲いています。今年は 春山のお花畑行けなかった分 我が家で楽しんでます。

2002. 7. 21. 神戸にて Mutsu

● アメンボウ 飴棒 のこと

『アメンボウ』って なんでそういふか 知っていますか・・・・・・

「アメンボウ」を口にいられて噛むと「ほんのりあまいアメのあじがするから・・・・」

そんなのうそや・・・・大先生がうそ言うたらあかん・・・・と一瞬思いましたが、本当のよう

です。アメンボウは臭いを発する『カメムシ』の仲間、そのグループの中では異端者、臭いではなく匂い「飴の甘い匂い」を発するのが本当に語源そのアメンボウも、近くに池がなくなってきた、ついぞ見かけることもなく、遠くの記憶の中に忘れ去られもう名前すら忘れられようとしている。でも、そのアメンボウが忘れ去られようとしても幾世代も生きていた痕跡を土の中にずっと残しているとしたら・・・

7月5日「関西に縄文の火を」を合言葉に三内丸山縄文発信の会と川西市縄文の会主催の「縄文塾」が川西市であり、出席しました。

青森三内丸山縄文遺跡を発掘されてきた岡田氏らがこられ、こんなに数多くの古代史に興味を持つ人がいるのかとビックリ。私の会社の先輩にも会ってまたビックリ。

岡田氏といっしょに講師に立たれた昆虫学の権威林勇一氏の冒頭の話が上のアメンボウの話。岡田氏の話は色々TVや本で紹介されているので今日はヤメて林勇一氏の昆虫から古代を解き明かす学問創造の話が非常に面白かったのを紹介します。

林氏は三内丸山遺跡を含め、古代の遺跡に残された昆虫の残骸から古代を解き明かす日本の権威。昆虫の羽根や外骨格は非常に酸やアルカリに強く、湿り気があれば必ずその痕跡が残ると・・・・・・。そして世代交代が非常に短くしかも環境順応性の高いのが昆虫だ」と。

古代の土の中に潜む昆虫の痕跡を見つけ出し、それを解析すれば精度の良い古代の解析ができると・・・・・・昆虫が解き明かす古代史。

林氏はコツコツと古代の土の中に残された昆虫の羽根や骨格の断片を見つけ出し、それらからその昆虫を特定し、その昆虫の特性からその昆虫の生きた時代・社会・生活を明らかにした。また発見された断片のDNA測定・年代測定がその時代の精度をさらにあげると・・・・

まだこの学問が生まれて30年にもならず。でも断片から正確に生物を特定大系づけるなどすごいと思いました。ぼくなんかだとすぐあきらめるでしょう。極微小の顕微鏡世界と目に見える全体とをつなげて理解することの難しさ知っているだけに余計にビックリ。

青森三内丸山遺跡の北の谷のゴミ捨て場の土の中にある得体の知れないものがハエのさなぎと特定。エゾニワトコの実と一緒に沢山発見される事とこのハエが酒好きである事から縄文時代には酒があったのでは・・・・と推定する。

これは酒好きの果実酒のこじつけより本当に説得力あり。

昆虫が精度の良い古代の解き明かしにこれほど重要だとは露知らず。先駆者としてコツコツと本当に日のあたる事のない解き明かしが次の時代を開く典型。まさにリサーチや物づくりの話と全く同じ。

時代や流行に流されぬしっかりした視点をもつことがあらためて大事と思い知った次第です。

講演会のあと川西に縄文の会の人たちや三内丸山で顔なじみとなった人たちと毎度ながら酒をのみながらの交流会。

三内丸山の遺跡の集まりがオープンであるのがうれしい。

● 急逝した友のこと

また友の急逝から書き出さねばならなくなりました。

6月23日 大学で同じ金属学を学び卒業後共に溶接・接合技術を仕事として選択した友が急逝。

大学入学40年 還暦を迎える友も多く29日 久しぶりに京都で旧交を温めようとの同窓会目前の急逝でした。

卒業して会う機会も少なかつたのですが、新幹線軽量車両の開発などアルミの溶接のトップ技術屋として日本を引っ張った一人であった彼。

ちょうど 60 才にの節目を迎え、仕事から解放されるというか 仕事と縁を切って第二の人生をスタートさせねばならぬ年代の我々にとって本当につらい。

「残念でならないが、これは「健康に留意しろ」との彼のメッセージとうけとらねば・・・」と同窓の仲間が言っていたが本当にそれしか言いようのない悔しさと寂しさを覚えています。本当に残念です。

京都での同窓会 急逝した彼も入れて・・・。

みんな白髪頭でしたが、何年振りか ですが、そこは もう タイムスリップ 昔に帰ってはしゃぎました。

● 箕面の滝に猿がない 2002. 7. 5. 朝



箕面の滝

動が展開されていましたが・・・今は お猿も 少し上流の山中にいるようですが 滝の周辺は良く整備され、新緑が美しい公園に。変われば 変わるもの。随分 苦労があったものと想像しますが、人が生態系に入って壊した環境 良く取り戻せたものだと感心。今 信州では 市街地へ出てきて ゴミ箱をあさる熊が跡を絶たないとか しっかり人の方が 考えないと・・・最近 孫の話多いのですが、かわいいよ

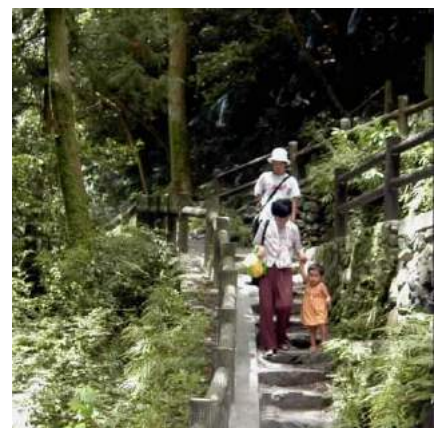
もう 何年ぶりになるか 箕面の滝へ娘一家と行ってきました。

大阪や阪神間に住んでいた私たちにとっては 一度や二度は遠足やハイキングで言った事のある場所 特に 秋の紅葉は素晴らしく「紅葉のてんぷら」なんて 箕面で知りました。そしてお猿。それも暴力ザルの群れ。それが、滝の周りにも ドライブウェイにも 全く猿が出ていない。「猿の出ない箕面なんて」といいたいぐらいの変わりよう i ビックリ。

緑の溪流に沿った静かな自然探勝路 ゆったりと新緑との流れと箕面の滝を楽しみました。

昔は 観光客の弁当やハンドバックを奪い ポケットに手を突っ込んだ 箕面名物の猿。

随分新聞にも書かれ、えさをやらぬ運



箕面の滝道で

● 久しぶりに江口氏の「語り部のかたる昔話」の会に参加 2002. 7. 20.

7月20日 吹田国立民族博物館で久しぶりに 江口久先生の「語り部の語る昔話」の会に家内と二人で出掛けました。

来年3月に国立民族博物館の2003年特別展「西アフリカ おはなし村」の開催が江口先生を中心に着々と準備されています。その一環として1年前前夜祭として企画された江口先生が語る「西アフリカのむかしばなし」の会。

毎月行われている民博ゼミナールとして開催された事もあり、「江口さんのむかしばなし」のファンも多く、民博の講堂ホールはもう一杯。

江口先生の「西アフリカ カメルーン フルベ族のむかしばなし」を聞けるのは1年ぶり。また、あの江口先生を中心としたユニークな仲間に出会うのも1年ぶり 胸わくわくで出掛けました。



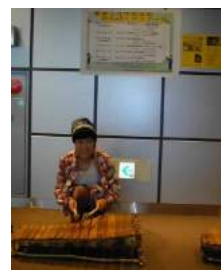
入口でアフリカ フルベの帽子をかぶらせてもらって、ホールの前のアフリカのジンベ太鼓と木琴 マリンバに興じて もう いっぱしのアフリカの仲間入りしてホールへ。 いつもながらの江口氏やスタッフの心遣い 雰囲気作り。

今日のテーマは「アフリカにある意外性のむかしばなし」と語り部の江口さんが話し出されたが、もうすっかり 引き込まれてしまいました。

この帽子 服装 舞台の演出 もうアフリカのど真ん中で聞いている気分。これも学者江口語り部の意外性。



国立民族博物館 ホール



「語り部のかたる昔話」の会の前 帽子をかぶり

マリンバとジンベ太鼓に興じ すっかりアフリカの人

江口語り部の語る西アフリカ フルベの昔話。
川辺さんとアフリカからこられたスタッフと二人
がたたき太鼓の音にのせて江口ブシのアフリ
カ フルベのむかしばなしが始まるともう夢中。
何時もながら話を聞きに来た人を裏切らないおもしろさ。

その雰囲気をもみんなに伝えられないのが 残念。

「話の筋書きは同じでも 子供向けと大人向けではちがう。 何百年も伝えられる中で違うし、語り部によってもまた同じ語り部でも時期によっても・・・ これは アフリカでも日本でもおなじ。

どこが違うかという と 話の前立てと一番最後 語り部がそこを変えて作りこんでゆくと・・・」

「『語り部がかたる昔話』とはそういうもの。 したがって そこを踏まえ 比較研究する・・・」
と言語学者に戻った江口氏。



「語り部のかたる昔話」の会 2002. 7. 21, 吹田 国立民族博物館 講堂ホールにて

「また、アフリカの昔話には沢山の意外性が盛り込まれている。 いつも ハイエナはえさをとれずにはらを空かしていると描かれるのにある話ではまんまと手に入れるとか それをさらに語り部がどんでん返しにするとか・・・」

そういえば グリムの童話もこども向けにまた時代に合わせ作り変えているとか 聞いて 「えええ・・・」と思いましたが、昔話はそういうもの そうゆう歴史の中で磨かれると考えると日本の昔話の幾通りもの筋 各地の異伝承も それが当然で本家あらいも陳腐にみえてくる。

「みんなでそのストーリーの初めと終わりを作って 江口語り部の話に仕上げていきたい。」と・・・
「是非 来年の 民博特別展「西アフリカ おはなし村」をみんなで作ってゆきたい」と
来年 3月 吹田国立民族博物館で開催される「西アフリカ おはなし村」のイベントに参加してみたいは いかがでしょうか・・・」

実はもう この特別展に向けてのイベントが次々と始まっていて 民博中心に楽器をつくったり とうもろこしやひょうたんの畑の種まきやアフリカの楽器の演奏法など大人や子供が参加できるワークショップが次々と開催されています。

其の自由な雰囲気とイベントのおもしろさに引き込まれてしまう事うけあいです。興味のある方は 下記インターネットへアクセスを

URL : <http://ohanashimura.minpaku.ac.jp/>

Mail : ohanashi@idc.minpaku.ac.jp

また 江口語り部の語る「西アフリカのむかしばなし」など 雰囲気伝えた私のホームページ 下記です。
民博 江口サロン URL : <http://www.ne.jp/asahi/kikuko/nakanishi/listegchiprint.htm>

息子もアメリカで元気に サンノゼへも出張したらしい。
ほんと 1年前まで 息子がサンノゼの話メールしてくるなんて 考えてもみなかったのですか・・・
さあ 向日葵の夏 到来 暑さにやられぬよう
また メールください

2002. 7. 20. 神戸にて Mutsu

● 和鉄の道 Iron road

東北 縄文のストーン サークルが関東にも ???

—千葉市 加曽利縄文貝塚遺跡探訪—



NHK の深夜 人間講座か何かで 思いもかけず緑の縄文の環の中で縄文の生活について講義されている古代研究の権威故佐原真氏の姿をみた。縄文のストーンサークルとは別にこんな緑の輪があるのか・・・とビックリ。その環が日本最大の縄文貝塚 千葉市の「加曽利貝塚遺跡」。これは時期的にも東北縄文のストーンサークルの関東版 是非いつてみたいと強い印象をもちました。それまで、縄文の貝塚の中に円環を持った広大なものがあるなど全く知らず。

しかも その広い緑の輪の縁に座って縄文を語る故佐原真氏の話に 青森県小牧野のストーンサークルを訪ねた時のことを重ねていました。

6. 22. 千葉の加曽利縄文貝塚公園とそこに併設された千葉市立貝塚博物館を訪ねました。
千葉の街中に、こんな林に包まれ静かな空間があるのか・・・と お奨めの場所です。



● country walk

梅雨の晴れ間に 須磨離宮公園へ -青空に水しぶきをあげる西洋庭園の大噴水と花菖蒲-

梅雨の晴れ間に 須磨離宮公園へ

6.17. うっとおしい梅雨が続く中 予想に反して 今日曇り空ながら青空ものぞいている。

離宮道の角 離宮の入口に花菖蒲の看板が立てられていたのを思い出し、みんなで久しぶりに出掛けました。



31. 2002年9月 From M. Nakanishi 2002.9.1.



2002夏「ねぶた」と「ねぶた」青森 walk 2002.8.3-5



花の月山 walk 2002.7.27.

8.3-5. 家内と二人 津軽 ねぶた祭りを見に 津軽・青森・十和田に出かけました。その熱気に压された事もあり、お盆には 神戸で 家内と二人 のんびりと・・・でした。山口にも行きたかったのですが、予定とれず でした。 秋には一度でかけるつもりです。

9.1. 防災の日 柏では1都5県1万人が参加した大掛かりな防災訓練が近くの柏の葉公園一体で行われ、小泉首相もヘリコプターで来柏。この防災訓練に参加。

今日は朝から 他県から参加する人を運ぶ大型のバスや緊急車両 そしてけたたましいサイレンの音など 国道16号線はごった返していました。

危険予知と緊急時の対応 関西の人は地震で相当現実的な体験に基づいた判断できるでしょうが、こちらでは ピーンときてません。

一方 TV では 東京駅周辺の地下は地下水脈があがって 池の中にういているようなものだ・・・と。ポンプとまったら どないすんねん・・・・・・地下は出口ないぞ ?????? 心配すると限り無し。また、大丈夫 大丈夫と言う声も最近の色々な事件を見るとどれだけ信憑性があるのか????? 仲間のひとは「なんといっても 健康で足腰きたえとかなあかん・・・・」と。

まだまだ 暑い日が続いていますが、すがすがしい風が吹くようになりました。

今日 東武電車で「栃木の梨」と書いた大きな化粧箱をだかえた人たちが乗り込んで来ました。

「山口では秋芳梨」「鳥取では二十世紀」の地方送りの旗が街角にはためくと「秋」。

もうその季節になったと栃木・鹿沼の梨に秋を実感。

梨というと 柏の隣の松戸が二十世紀梨の発祥の地で鳥取で大きく広がったと・・・

松戸の郊外は今も梨の産地なのですが、二十世紀ではなく、甘味の強い「幸水」や「豊水」がほとんど。そういえば 関東ではほとんど二十世紀を見ません。松戸の梨も美味しく 近郊の梨園ではやっぱり地方送りの旗がはためいています。

それから もう一つ 最近 国道16号線を走る巨大なトラックのタイヤの数が気になって 通るとついつい勘定しています。

最大20個 18, 16個をつけた巨大なトラックが走っているのご承知ですか・・・・。

通常 10個 12個のトラックは 何処でも 見られるのですが、18, 20個となると中々みられません。家内に教えると家内の方が先に20個の巨大トラックを見つけ、タイヤの配置を紙に残して自慢して神戸に帰りました。

このタイヤの数が景気回復のバロメーターかも?????

秋晴れと梨・ぶどうの美味しい果物の季節 このすがすがしさが 世相にでてくるとよいのですが・・・・ まあ そんな事をふっと考えています。

アメリカにいる息子が友達にジョン バエスに託してくれたCDを聞きながら このメール書いてます

2002. 9. 1. 夜 柏にて Mutsu



高山植物が咲き乱れる 夏の伊吹山にもでかけました 2002. 8. 12.



姫路城のお堀端
姫路市美術館
夏の午後

2002. 8. 11



那須 塩原溪谷 と温泉

2002. 8. 31.

● country walk

花の月山 walk 山形県 出羽三山

高山植物が咲き乱れる山上の縦走路 2002. 7. 27.



7月27日 晴れ 今日を逃せばまた今年も行けぬ。高山植物満開の山形「月山」へ 花のトレッキング。是非一度は行ってみたい山上のお花畑。ずっとあこがれていた出羽三山 花の月山に行ってきました。

新幹線で山形へでて バスで月山口へ。姥が岳-月山-弥陀ヶ原-新八合目-鶴岡へ 南から北へ縦走。人が多いと聞いていたのですが、それもあまり気にならないほど本当にすばらしい花満開の縦走路でした。

晴天に恵まれ、姥が岳から月山山頂へ続く縦走路では雪渓を抱く月山の山容をバックに足元にはチングルマ・ミヤマリンドウがそしてそニッコウキツゲの群落が両側にひろがり、

白いコバイケイソウの群落がこんなにきれいとは思ってもみませんでした。ふっと岩陰を見るとウスキシソウが清楚な花をつけています。月山のお花畑は素晴らしいと聞いてはいましたが、山上の縦走路は本当に素晴らしい花の縦走路 goo でした。

また、唯一県庁の所在地に立った事のない未知の県「山形」だったのですが これで全国すべて完了。終止符が打てました。

日本海側の玄関口 鶴岡の街もイメージ的にあこがれていたのですが、中心部の川に沿って散策しながら鶴岡駅へ。 明治の古い洋館建の美しいカソリック教会の建物を見て 鶴岡駅 6時 20分の特急に飛び乗り、日本海へ沈む夕日を見ながら新潟・東京へ。

様子も判ったし 次は出羽三山 ゆっくり時間かけて 秋にでももう一度と思っています。



● 2002 夏「ねぷた」と「ねぷた」 青森 walk 2002. 8. 3-5.



8月3,4,5日 思い立って 津軽から青森・十和田湖へ家内と二人でかけました。関東にいる間に一度みせたかった青森の「ねぷた」祭。津軽弘前・五所川原のねぷたと青森のねぷたの3ヶ所のねぷた祭を見るのが、主目的。



青森市郊外から西へ 岩木山を背に広がる津軽平野。 岩木山麓の広大なりんご畑にはりんごが実り、「嶽キミ」という甘いトウモロコシ そして街々にはねぶたの囃子が響く。いつもながら 津軽へゆくとウキウキ。 同時期に三つの「ねぶた」を一緒に見るのは初めて。

青森のねぶたが観光化して活気がないのが気になりましたが、青森「ねぶた」のあのすごいエネルギー。弘前で見た扇形ねぶたの美しさと情緒あふれるねぶた囃子の笛の音。そし

て 津軽の人が自慢する復活した五所川原の「立佞武多」のスケール。

見ているだけなのですが、祭りの熱気の中にいると自分も主役のような気になって一緒に楽しみました。

欲張った計画ですが、この三つの「ねぶた」を見て、りんご畑の広がる「津軽富士 岩木山」。三内丸山遺跡にも行ってあとは 八甲田山を越えて奥入瀬・十和田へ 昔を懐かしむ旅。

旅館が取れず苦労しましたが、毎度の事 青森でレンタカー借りて 家内の運転でゆったり気の向くままの旅 津軽の夏を楽しみました。



32. 2002. 10 月 New Page From M. Nakanishi 2002. 10. 5.



三内丸山縄文遺跡 お月見コンサートと一足早い 青森八甲田山の紅葉 2002. 9. 21.



10月2日夜 勢力の大きな台風が柏を猛スピードで通過して行きました。ものの30分程なのですが、雨と共に猛烈な風が吹き、鹿島では送電鉄塔がなぎ倒されましたが、会社の建屋が少し壊れた程度で被害特に無し。

台風一過 気持ちの良い快晴。 まあ 元気にビジネスに励んでいます。

柏の会社への通勤路界隈では 常磐新線の橋脚が立ちだし、新線建設が急ピッチで進んでいます。
台風一過 素晴らしい青空とは裏腹に世相は暗雲の真っ只中。狂牛病騒動の沈静化が見えたと思ったら、
東電の原子力の欠陥隠し。そして イラク問題・北朝鮮の拉致問題。
解決の秘策がないのは判っていても、同じ世代であるだけに北朝鮮及びその対応に義憤を感じるが。
また、何か見え隠れする権力者のエコ`と都合の良い内輪の論理。

2002. 10. 3. 台風一過 快晴の柏にて Mutsu

●『中秋の名月』 今年も 三内丸山縄文遺跡で

9. 21 夜 『中秋の名月』 今年も青森三内丸山縄文遺跡でのお月見に出かけました。
毎年誘って貰って、僕は三回目。 林に囲まれた真っ暗の遺跡の広場で、お月見コンサートが始まると
八甲田の山影からまん丸のお月様が顔を出し、素晴らしいお月見会となりました。
今年から 青森三内丸山遺跡・岩手御所野遺跡・秋田大湯ストーンサークルの三つの縄文遺跡で、日替
わで縄文フォーラムとお月見コンサートが行われるオープンな会になり、今までとは打って変わって大き
な会になりました。
いつもながら オープンな会で 旧知の人 新しい人に出会えるのが楽しみ。



青森 三内丸山遺跡 収獲祭 フォーラムとお月見コンサート 2002. 9. 21.

以前 新聞か TV で 津軽海峡を『いかだ』で渡る実践をしたと聞きましたが、そのグループで北海道 茅
部町の縄文遺跡のボランティア グループ。パワーあふれる人達でした。この遺跡も三内丸山に匹敵す
る遺跡で 町長さんが頭の上に写真をかざして話された縄文の子供の足型や縄文人の脳。そして 木村
県知事も加わって 津軽海峡も含め、北海道・北東北連係の話久しぶりに『goo goo』の話でスカッとし
ました。 この三内丸山遺跡のオープンな運動が次々と広がるのは本当にうれしい事です。

縄文時代本当にお月見があったのだろうか・・・暦の語源は「ヒ（日）ヨミ（読み）」『日の出と日の入』

『月の出と月の入り』があるように新月と満月 どちらがスタートなのか・・・

「縄文のこの巨大遺跡の真中に大きな広場と そこを中心に 東西・南北に伸びる巨大な道 どう考えても 異常です。 何の為の道なのか・・・」 「死者を親しみの中に敬い 争いのない縄文の心」を静かな口調で話される山形芸工大赤坂憲雄教授。

縄文の静かな森の中で、今の世相とダブらせながら久しぶりに聞く「縄文の心」

21 世紀は『心の時代』・『オープン化の時代』と持てはやされるのとは逆に 空ろさが目に付く空しい中 にいるような気がしてならない。

民族紛争も『憎しみが憎しみを生み、戦争が戦争を生む』事 『形だけの open 化に名を借りた秘密主義の横行』口ではダメな事みんな知っていても『それを乗り越え 踏み出す勇気・智慧』がない。それを生み出す若さがほしい。

理念・洞察力の貧困さが今ほど目に付く事はない。 そんなことを感じています。

月明かりの中 縄文の森にそびえる六本柱越しに月を眺めながら 現代と縄文をだぶらせていました。

八甲田山 walk

22・23 日 引き続いて大湯や御所野遺跡でのにも行きたかったのですが、山の魅力に勝てず。翌日 22 日はいつも眺めてばかりの八甲田大岳へ行って来ました。



紅葉には少し早かったのですが、青森椴松の青と黄色く色付き始めた八甲田の稜線を歩き、紅葉の毛無岱湿原から酸ヶ湯へ。酸ヶ湯の仙人風呂にはいつから、十和田湖を越えて 秋田県鹿角・花輪へ。



奥羽・八幡平の山裾を流れ、日本海側能代へ流れ下る米代川の源流渓谷 湯瀬温泉で泊。この米代川流域は古くから開けた縄文の地。 下流の鷹巣町河岸段丘にあるストーンサークル伊勢堂岱遺跡をはじめ、数多くの縄文遺跡や古代「たたら」遺跡がある。湯瀬渓谷の川音を聞きながら一人湯の中で酒を飲む。

「蝦夷の鉄・餅鐵」 和鉄のもう一つの故郷 北上山地

23日は盛岡から釜石へ

北上山地 南部は「蝦夷の鉄・餅鐵」 奥出雲と並ぶもう一つの和鉄の故郷

どうしても見たい「餅鐵」。

北上山地の分水嶺から釜石への奥深い山中は鉄の山。流れ下る川筋は餅鐵の宝庫。

古代蝦夷の宝の山。そして、日本最初の洋式高炉が建てられた近代製鉄発祥の地。

釜石に高炉の火が消えたのはさびしい限りですが、念願の釜石・餅鐵にもあってきました。



「蝦夷の鉄・餅鐵」和鉄のもう一つの故郷 北上山地

欲張った行き当たりばつりの一人旅。

紅葉には少し早かったのですが、田園は黄金の稲穂。山は実りの秋。

自然の中にどっぷり。新しい空気を体いっぱい吸ってきました。

● 縄文の土器が語る「物づくりの技」とプロの眼

縄文塾 東京 小林青樹氏「縄文のコミュニケーション」の話をきいて 2002. 9. 6.

— 縄文人と弥生渡来人の交流・コミュニケーションを解き明かした縄文土器の技 —



「伝統・物づくり技術」とは
「有形・無形 100 を越える「質」の技術の集積で
プロ・工人はそれを五感を通して体得している」
製作されたものにそれが技術として表れ、プロはそれを見抜く。
それを見抜く者のみが技術伝承者となりうる。

「物づくり技術」の荒廃と理解が叫ばれる昨今 「物づくりの技」をそんな風に思っています。

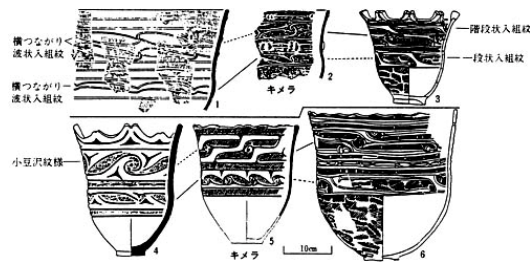
9. 6. 東京縄文塾で「縄文人のコミュニケーション」と題して小林青樹氏の話を聞いた。

縄文土器の形状・描かれた文様などをプロの眼を通して正確に見て分類してゆくことにより、文字のない縄文時代の人の交流ネットワーク・経路 さらにには 社会の構造が解き明かされたという。

- 縄文晩期には 集落間には強い結びつきをもった集落交流が活発にあり、その範囲も非常に広い。
- 糸魚川産ヒスイの加工基地には東北・長野の縄文人が直接やってきて加工を行い、その技術が東国の縄文人に広がっていった。
- 弥生の時代への黎明期 縄文人が弥生の渡来人を警戒し、日本東西の交流路が一時途絶えた。
また、その後 猛烈に 新しい渡来人の文化を取り入れようと渡来の民に東国の縄文人がアタックしていた。
- はたまた、渡来の民も逆に縄文人の文化を取り入れ、融合していった等々。



亀ヶ岡遺跡から出土した縄文晩期の土器



縄文土器の複雑な文様

さっと言われると「ほんとかいな・・・見てきたようなうそ???'とにわかには信じがたい。

縄文から弥生の時代への移行期 原日本人である縄文人に代わって渡来の民を中心に西から順次東へ弥生の民が勢力を広げていったのが日本人のルーツ。

「その過程では新しい渡来の民である弥生人が縄文人を戦争によって駆逐

していったのではないらしい。両者の融合によって時代が進み、日本人が形成された。」

とよく言われ、神話の世界でもやたらに融和の話が多い。

でも、その中身になると全くよく判らず、最近の DNA 調査などの証拠以外に説得力のある話を聞いたことがなかった。

ましてや、「縄文人が弥生の民にアタックし、交流してゆく様が見える」等 夢見たいな事と聞いていましたが、小林氏の話聞いて 「う・・・ん」となってしまいました。

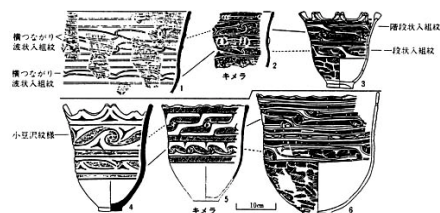
縄文晩期 紀元前1000年～紀元前100年頃 弥生時代到来夜明け前の縄文時代 日本には大きくわけると亀ヶ岡式土器を持つ東北・東国の縄文文化圏と日本磨研土器・突帯帯文土器という無文様・磨きを特徴とする西日本文化圏があり、この両文化圏の交流を含め、日本では活発な交流が行われていた事が出土する縄文土器の破片の精査から判ってきたという。

縄文晩期 東と西に広がる二大文化圏

【1. 北から長野・北陸にかけての東日本亀ヶ岡土器縄文文化圏】



亀ヶ岡遺跡から出土した縄文晩期の土器



縄文土器の複雑な文様

【 2. 九州・中国・近畿に広がる西日本無文土器縄文文化圏】



黒色磨研土器の一例 大石遺跡



突帯文土器の破片 岡山大構内遺跡

「良い物をまねる」というのはいつの時代であっても同じであり、縄文時代 亀ヶ岡土器の文化圏内でもそれぞれの集団がよい土器を真似、求めて集落間の交流があったことは容易に推定がつく。でも文字のない時代 見聞きだけでその技術を忠実に真似ることが、出来ようか?????

人が動き、コミュニケーション・コンタクトしてその製作をみんなに見せつつ 教えなければ 正確には 伝わらぬ。

「人が動いて コミュニケーションがなければ もの真似だけでは忠実な土器製作の伝承はなされない。土器に残された土器製作の技 そして その技の稚拙さまでも含めて精査して出土場所・時代をつないで行けば人の動き・コミュニケーション そして 社会の構造が見えてくる。そしてそれらをつないで行くと前述した縄文人集団の中のコミュニケーションや縄文人と渡来人とのコミュニケーションまでもが浮かび上がってくる」と小林青樹氏はいう。

縄文土器を代表する亀ヶ岡土器などには「縄文芸術」と呼ばれるほど複雑で繊細な縄文の文様やつけられており、これらの文様や形などを手がかりに縄文土器製作に使われた技術・実際には土器の特徴的な表情を分けると 100 数十を越える項目になり、到底見聞きによる物まねのみではまねられない。

そこには確実に人の交流があったと考えるのが自然である。

そして その特徴伝播の稚拙さによって 交流の深さがわかる。

出土した場所とその特徴一つ一つをを重ねて行けば、人がやってきて出土した場所での交流を計ることが出来、今では土器の破片からどの遺跡とつながった土器か 繋がりの深さまでもが判る。

また 作られた時代も判定がつき、青森津軽半島や八戸など東北で生まれ、縄文中期から晩期にかけて隆盛を極めた亀ヶ岡土器の文化圏がどのように西へ広がっていったか? 等々が手にとるように判ってきたと。そして この土器の文様を手がかりに分類体系化する中で、無文の磨研土器・突帯文土器の文化圏の集落で特異的に東国の亀ヶ岡土器が混じって出土する例 時には大量に混在する例もが沢山見つかってきた。同じ土器分類を有する集落ネットワークを調べ、つなぐ事で交流の歴史が解き明かされ、そして 前述した渡来人と縄文人や異文化圏交流のルートなどまで色々なことも明らかになってきた。

ここまで 謎解きされると段々わかってくる。もう 夢中で話を聞いていた。

本当にあざやかな素晴らしいアプローチだと思う。

「ほんとかいな・・・」と思っていた事が、謎解きされるとビックリするほど新鮮で・・・納得でした。「縄文土器の破片集めたって・・・」と思っていましたが、さすがその道のプロ。視点が違う。

「現物を集めて その中に秘められた特徴を探し見る。そして そのルーツを探る。」

これ、まさに技術屋 物づくりの世界と全く同じ。 技術開発 技術解析の世界の現実と同じである。兆候を見抜く眼がなければ 体系化も分類も出来ない。

それが解き明かされると「だれだって できるさ・・・」の声がでてきそうであるが、先人の眼がなければ 出来ない世界。先人のプロの眼があってこそ出来る技である。

見抜ける眼と表裏一体なのが、その眼にとまった「物づくりの技」

縄文人が何千年かけて 模様や形そして材料に五感を駆使して作りこんだ技 決して物まね・見ただけでは出来なかった技である。だからこそ プロの眼でしか解き明かせなかったと思う。縄文土器の分類にはそういった 100 を越える物づくりの技を対象に分類しているという。

現代の「物づくり」の業だってそうだろう。

簡単なまねば出来ても、実際に人が接し、その製作の過程について 人の交流なしでは伝えきれぬ人の技。物づくりの技術 名人芸と呼ばれなくてもそこに秘められた工人が持つノウハウ技術をどのようにして伝えるのか・・・。

今 「物づくり技術」を大切に の言葉をよく聞くが、この事が理解されていないのではないか。

形は伝えられてもその質は人が人と交流しない限り伝えられぬ。

これは 縄文の昔から同じであり、その伝承・人と人の交流が新しい発見を産んでゆく。

技術を持ち 現場で物づくりを実践してきた人がどんどん消えている。コンピューター万能・機械万能が今問い直されている。「質」を伝える技術の習得が今 必要となっている。

現在 無人化工場がもてはやされ、効率的な物作りの中で質へのこだわりがわすれられていないか・・・。

2~3 世代も変わらなくても、機械を動かすマニュアルはあっても もはや質を見る技術はなし 物まね製品しか作れない そんな時代がもう眼前。質を見る眼は中国・韓国などアジアの若い物づくり大国にゆだねばならないのか・・・

昔 同じ立場にあった日本が今物が作れぬ逆転の危機に・・・

欧米はその危機を克服したではないか・・・の声もある。でも 今の日本はこの事にあまりにも楽観的過ぎる・・・

欧米では 物づくりの中に流れる思想を大事にし、手段・テクニクよりも流れ・思想 いわゆる流儀を大事にする。ISO のこだわりを見るとこの点がよく判る。

急速な転換・効率化を急ぐあまりこの点が日本では抜けているのではないか・・・

現場の荒廃・形骸化 物づくり技術の重要性が叫ばれる中 その中身の理解の貧困さにはがっかりしている昨今である。

技術の伝承・新しい技術創生には この名人芸・見抜く眼が必須であり、現場でしかこの技術は生まれない。

縄文の技術・プロの物づくり技術を今プロの眼が解き明かす。 2000 年を経て・・・

鮮やか・・・と驚いてばかりはいられない。伝承が途切れた時のこの時間の長さ・・・

以前聞いた昆虫・蛆虫のさなぎを見るプロの眼が解き明かした三内丸山遺跡集落の人の暮らし。

その時も同じ感激をあげたのですが、そんな事を思いながら小林氏の「縄文のコミュニケーションの話」を眼を輝かして聞いていました。

日本の物づくり技術 また プロの眼をどのようにして育てるのか???????

「物」を作る技術から「質」を作り 「質」を理解する技術なしに先端技術・物づくりの再生は成し遂げられぬ。

今一度 じっくり 縄文の土器を眺めてみようと思っている。

2002. 9. 6. 縄文塾 東京

小林青樹氏「縄文のコミュニケーション」の話をきいて



京都 二条城 の 紅葉

2002. 11. 4.

あっという間に11月。急に寒くなって山の紅葉を観に行く間もなく、冬の足音が聞かれます。相変わらず、神戸と柏を行ったり来たりしています。

10月には久しぶりに山口・美祿に行き、美祿で仕事をしていた時の先輩や仲間とあったり、尼崎で高等学校卒業40年の同窓会に出たりで、昔話に花を咲かせてきました。

ビックリすると共に喝采した京都島津の田中耕一氏の「ノーベル化学賞」の受賞。

若い人の受賞ばかりでなく、「実学」「物づくり・解析技術」の技術開発実践の中で生まれた技術。

感覚的には日本の五万というエンジニアが実体験している代表選手といった親しみを感じています。

「物づくりの技術荒廃」が叫ばれ、何かと軽薄な「技術立国・先端技術」が語られる中「物づくりと技術」・「埋もれた既存技術の中の先端性」を考える良い機会であり、ややもすると縁の下の力持ち 解析や物づくり工学の実学にスポットが当てられたのがうれしい。

現在の産業構造の変革の時代 軽薄な物づくり論 管理・企画万能重視の効率論から脱却すべき 痛烈な批判のようにも感じています。ちょっと ひねくれているかも・・・・・・・・

でも エンジニア 自信喪失の時代 名もない多くの若いエンジニアには本当にパワーになったと思う。



かつて一緒に技術開発に情熱を燃やした仲間から うれしい便り

もう10年以上になるのですが、脱サラして阪急宝塚 逆瀬川駅前にご夫妻二人で開かれた「カレーの店『Off Road』」長いこと会っていないなあ・・・・・・・・ 機会作って是非訪ねたいと思っています。

10月発売のグルメ本に当店が掲載されました。今年4冊目です。これも皆様の応援のおかげ。

JTB発行の新しいグルメ本『るるぶぐるたま：ABCラジオが選んだ関西グルメ239』になんと

当店の神戸牛のタンシチューセットが紹介されました。

カレーと同様タンシチューを作るには大変な手間暇がかかります。注文が殺到し嬉しい悲鳴をあげています。

カレー以外にも柱が一つ出来たと喜んでます。機会があったらぜひ食べに来てください。

今後ともよろしく願いいたします。とりあえずお知らせまで。

カレーとアウトドア料理 Off Road

〒665-0035 宝塚市逆瀬川1-11-1 アピア2-1F

Te l 0797-73-0010

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/offroad/>

宝塚・逆瀬川あたり 訪ねる機会あれば 是非 お訪ねください。

● 京都 二条城 国宝 二の丸御殿 2002. 11. 4.



今日は 94 才になる京都の義母を見舞いがてら 京都を訪ね、家内と二人 久しぶりに二条城の中を約1時間かけてゆっくり散策。 国宝 二の丸御殿も随分違った印象。また、紅葉した静かな林と庭の散策路。若い時に行った印象とは全く違う感覚にビックリ。

そのあと 烏丸北大路のビブレの中に見つけた東京虎ノ門 aging 珈琲の「こくてーる堂」で午後のお茶。深まり行く京都の秋を



楽しみました。

人の感覚も年齢と共に変化 それを人は「古い」というかもしれないが、その変化を訪ねるのも一興。

最近 は 本 当 に じ っ く り と 落 着 いて 歩 く の が 楽 し み 。

2002. 11. 4. 京都から 東京への新幹線の中で Mutsu

● 映画「阿弥陀堂だより」

10. 27. 日曜日 午後 柏で時間が空いたので 星野富弘さんの詩画展を観てそれから 映画「阿弥陀堂だより」を見ました。すごく美しい映画で 気分もゆったり お奨め

映画は日本の映画独特のちょっとネチネチとしたいやし系 ぼくはどちらかというと好き。

「雨ががる」の黒沢組スタッフの製作した映画

日本の原風景 長野県飯山・妙高の山々に囲まれた山郷の四季が千曲川越しに次々と写されて その美しい風景をバックに年老いた老婆役の北林谷枝を通じて、静かに語られる「生きるの言葉」に見入っていました。

星野富弘さんの足尾・渡良瀬の野草を通じて語られる言葉といい、映画の中で、自然に囲まれて生きる人々を通じて語られる言葉といい 現代人が忙しさの中に思考をとめてしまったもの、この原作者の南木佳士氏が言う「マンネリに体をゆだねる心地よさ」なのかも知れぬ。力はありませんが 静かな中で ゆったりとした気分 ころころの洗濯です。

今年はどうも山の紅葉しっかり見れずに終りそうなので、映画の中で美しい妙高の紅葉が見れたのもうっわ。映画館もすいていて ゆったりと静かなイメージ映画みるのもいいですよ。



長野県飯山 頸城アルプス 妙高山 夏 & 冬

阿弥陀堂だより 概要

<http://www.amidado.com/>より



心の病がきっかけで、夫の孝夫（寺尾聡）と共に彼の故郷である信州の山間にある村に診療医としてやってきた美智子（樋口可南子）。そこで2人は死者がまつられた阿弥陀堂に暮らす96歳のおうめなど、町の人々との触れあいの中で、質素に生きる喜びを知り、人生について再確認するのだった…。

「外見・姿はその人の内面・心を表わす」

「質素なものばかり食べていたのが長寿につながったのなら、

貧乏なことはありがたいことです」

と語る老女うめ。

長野県飯山市を始めとした奥信濃の美しい四季を共に、そこで暮らす老女の生きざまをインタビュー形式で語らせ、阿弥陀堂だよりとして観客に伝える。

老女を演ずるのは私の好きな90才を越えた北林谷栄さん

「質素なものばかり食べていたのが長寿につながったのなら、貧乏なことはありがたいことです」と語る老女の生き生きした顔は 今日 教会で説教を聴き・黙想した「貧しいものは幸いである」の言葉と同じではないか・・・・

信州千曲川越しに観る妙高の美しい四季の自然の美しさに載せて語られる言葉には おもわず息を呑む。実は映画見に行った時は知らなかったのですが、「阿弥陀堂だより」の著者南木 佳士さんは農民地域医療の先駆けとなった長野県臼田町佐久総合病院の内科医長さん。

学生時代に医学部の人から佐久にすごい病院があると聞いた記憶があり、「人のつながりと心を大切にする」佐久総合病院の地域医療についてはNHK「プロジェクト X」にも取り上げられた。「人を大切に」につながる人の流れ。

「佐久」と「飯山・妙高」 自然と人の暖かさが重ねられ 合い通じる「阿弥陀堂だより」の映画今春 たたらを訪ねて訪れた佐久平 佐久町の「茂来山」。

この佐久街の隣町が佐久総合病院のある臼田町。

また、佐久町の千曲川のほとりには 縄文の大集落遺跡がある。

縄文からつづく「心の暖かさ」と佐久の暖かい四季の移ろいが佐久をつくったのか・・・・

妙高の景色の中の阿弥陀堂のイメージはこの佐久にあったのか・・・と自分で勝手に納得している。

阿弥陀堂だよりの著者 南木佳士氏は「阿弥陀堂だより」を書いた時の心境について 書かれた文をインターネットでみつけた。

日帰り登山で下山するとき、急な登りであえいでいた余裕なき己の姿を鮮明に思い出すが、笑う気にはなれない。それに似た感情をあこのころの自分に対して抱く。人生の山を登りきる直前の苦しさだったのかもしれない。だから、いまは肩の力を抜いてゆっくり景色を見ながら下ってゆく心地よさを何よりも大切にしたい。
それを支えるのはマンネリを好むからだの声に逆らわずに暮らすことなのだ
と五十歳になってようやく気づいた。

ほんとうにそんな心境で「肩肘はらずに 無理せず 自然のままに 頑張らずに生き活きと……」と呪文のように唱えるのだが、中々うまく行かない日常。
「時々 こころの洗濯をして あるがままに……でも 少しは行動的でありたい」。



2002. 10. 27. 夜
星野富弘さんの詩画展と映画「阿弥陀堂だより」を
観たあとで Mutsu

34. 2002年 12月 New Page From M. Nakanishi 2002. 12. 8
関東で 晩秋と初冬が入り混じる中で



奥会津 紅葉の塔のへつり



雪の中の曲家集落 館岩村



上州 妙義山

師走 今年は寒い日が続き、街には華やかなクリスマス イルミネーションが輝いています。
でも、なんか うつろろで 全く師走・クリスマス シーズンの感じがしません。年々 感激性が薄れて行くのは歳の性でしょうか



今年のクリスマス テーマ は 「和解」 「平和」 「希望」 この夜、世界中で求められている「和解 平和 希望」の祈りを捧げます。

「どんなグループでも違った者同士の集りゆえ、その基盤は「赦しと和解」のはず。

愛ゆえに、現状を越える広がりへのチャレンジが「平和」として、生ける泉の水として汲みつづける「希望」です。」

(2002 神戸市民クリスマスより)

街の華やかさとは裏腹に デフレ不況とリストラの波はもう 産業構造を根底から変えないと収まらぬところまで来ており、地球規模での環境問題の深刻化 世界戦争の危機等 知らず知らずのうちに自分の身にまでそれらが及んできています。

もう 現状維持型の将来の夢など追えない時代

団塊の世代が作り上げた時代は脆くも根底から 遷り変わる運命。

技術・産業の時代から 知識・情報の時代へ 団塊の世代に 何か 智恵はないのか・・・・

素材産業である鉄鋼の技術屋として 40 年。 日の出の勢いで「産業の米」として日本を支えた重厚長大の素材産業の蓄積はなんだったんだろうと思う事が多いこのごろです。

国際競争 国際的分業が進み、若い起業家が起こしたビジネスが旧来の大企業を超えるビジネスに成長を始め、ビジネス形態という問題であるが NGO 等新しい息吹が始まり、新しい企業群がかつての大企業を追い抜きつつある。

旧来の企業の構造改革 風土改革が叫ばれ、新たなサクセスストーリーを求めて企業変革が生き残りをかけた変革の嵐が今吹き抜けている。

この嵐の中で、本当に生き残れるのだろうか・・・・不安とあせりがいりまじる不安定な日本の社会情勢ビジネスやるにしても社会にとっても 「価値の創性」がなければ、新しい流れはできっこない。これが企業風土の改革 構造改革のベースであろう。

ロートルがリーダーとして 縮小均衡・合理化の管理路線を追い求めても それだけでは 決して価値はうまれず、新しい企業に追い抜かれるだろう。

重厚長大型企業のジレンマがここにある。もう 旧来型 アメリカモデルのみでは生き残れない。

かつての栄光はもはや幻想であり、新しい創造に向けた新しい取組とそれを強力に推進するグループのみが生き残れるのだろう。

若い力が新しい創造を求めて動き出すこと 虚業から実業への真の実践を切望するのですが…………。

最近の TV を見ていると 価値観を忘れた 何かノーテンキな主体性のない若者の群れと旧を守ろうと

するかつての主流層 みんな ダメなのを知りながら 苦労のないこちよい響きに 自分もそんな中に身をおいている楽天主義と閉塞感

でも NPO で働く若者の逞しさに今の企業が忘れた実践の価値をみるのですが・・・

まあ 今年は そんな時であったのかなあ・・・・・・ 1年 ぼやきながら 終わりそうです。

柏で迎える4度目のクリスマスになりそう。

来年は還暦 新しい未来に自分も・・・・・・と思っています。

2002. 12. 7. 週末の午後 柏で Mutsu

● 久しぶりに同級の仲間と会って

神戸で

12. 1. 神戸で尼崎の同級の仲間の会に行く。 恩師のN先生も見えられて

『「MUTSU」明日みんな寄ってくるけど 神戸にいるなら 出といで・・・』と前日 三宮で焼き鳥屋の専門店やっているS氏より、ふいの電話。小学校からの仲間である。去年も電話くれたのに神戸に居らず欠席。

みんなクラスも違うのですが、中学や高校で 放課後 暗くなるまで スポーツやっていた仲間。

40年振りの仲間もいるのですが、全く遠慮や違和感がない。

でも みんな もう来年は60才になるのですが、元気・元気。話し始めたら止まらない。

自分中心で 何でも 良く知っていたように思うのですが、次々出てくる「今だから話そう」の話聞いているとビックリ。知らなかった事多いですね。

みんな 60年の人生しょってるなあ・・・・とつくづく思いました。

みんな いまだにスポーツと関係した仲間持っているのにも驚き。

呼んでくれたS氏も 脱サラして この生田神社鳥居前で店を始めて26年という。

神戸大震災にも遭って・・・・・・

柔道やっていた某君など 若い起業家顔負け。

「今から新しいベンチャー立ち上げる。 企業サラリーマンたち 元気出せ」と・・・・

M氏はオールド ラグビーの世話しながら、今も ラガーマン。

そういえば『Mutsu』・・・・急に会社にあられよって と2年先に会社に入っていた仲間が入社頃の話をはじめた。

みんな ドラマを持ってますね・・・・・・

最後はまた スポーツの話になって 「野球はもうちょっとで全国大会やったのにと・・・・」

僕らの高校に「熱風」という素晴らしい応援歌があり、何かにつけ集まると歌う歌。

「甲子園のために作られた歌」と思っていたのですが、スタートは「ラグビー」の応援歌だとか・・・・

作詞・作曲のN先生も当時を思い出しながら

若い女性が尼崎の再生かけて颯爽と市長に登場。

「スッチー」というらしい。先日 選挙があつて 42才の元スチワーデスの女性。

この話も出すと止まらない。

みんな 思惑や今までの行き掛りがりもあつて 困惑と何か変わりそうの期待半分。

僕なんか 蚊帳の外 ふつとうらやましくなりました。

焼き鳥専門店 『栄太郎』 神戸三宮 生田神社 正面鳥居前 東急ハンズの向い
僕の尼の仲間のお店です。 うまい 鳥と酒 うけおい
機会あれば 一度 是非お訪ねください

東京で

12.6.夜 東京・銀座の小さな小料理屋で大学の仲間と忘年会。メールで「忘年会やろう」との声
自然発生的に東京の仲間が集まりました。

関西からもやってきて……。卒業して何十年もあっていない仲間にもあえて……。
みんな 卒業後 40年。道は異なれども材料技術屋の年輪がきざまれ、実にいい顔。もう 時間
が足りないほどみんなしゃべって 笑って。

熊谷にいる S氏が「おい Nakanishi 蒙古の沙漠で 星見に行こう」という。

昔よく語ったシルクロードの沙漠。南極や北極やアメリカのアリゾナ沙漠で
はあかんとという。

そういえば 昔 「……ゴビの沙漠に虹がたつ……」とよう歌いましたっけ。

でも また 一つ 楽しみできました。実現できれば……

老年近く 最近色々な会のお誘いがかかると できるだけ できる事にしている。

やっぱり 良しにつけ 悪しきにつけ 仲間がいる事は心強いつくづく思っています。

12.7.朝 柏で 二日酔いで寝床でぼっとしている所へ 神戸からのクール宅急便。家内からの食糧の
差し入れ 「塩取る量へらせ」のコメントとともに
こっちのほうは こっちで 有難い事です。

2002.12.7. 小雨の柏にて

12月ホームページのコメント 書きながら Mutsu

country walk

● 晩秋と初冬のいりまじる福島県奥会津の山里 2002.11.16.

1. 福島県 奥会津 舘岩村 奥会津曲家集落を訪ねる

紅葉の塩原溪谷を抜け 会津高原へでると 奥会津は冬景色
紅葉と雪景色が混じる晩秋の舘岩村へ
大学時代歩いた田代山山麓の水引集落・本賦温泉



家
日本の原風景
奥会津の曲家集落を訪ねて
舘岩村 前沢・水引集落



奥会津 舘岩村 水引郷 2002.11.17.

11.16. 奥会津はもう雪景色。家内と二人 館岩村 奥会津曲家集落を見にでかけました。
 学生時代にいったことのある田代山山麓の館岩村 水引集落と木賊温泉。
 もう 記憶からきえかかっていた集落の風景。 堂々とした曲家が 沢山残っていました。

2. 奥会津の名勝 塔のへつり

- 晩秋と初冬がいきりまじる 福島県 奥会津 2002.11.16. -



崩 へつり（崩）って知っていますが
 こんな漢字があるとは知りませんでした

凝灰岩の岩肌を阿賀野川が何万年もかかって削ってつくった「塔のへつり」

「へつり」に漢字がある等全く知らず。

両側が垂直に切立った崖には紅葉した木々の間に水によって削られた自然の石塔が立ち
 美しい景観を作っていました。

● 群馬県 上毛三山 紅葉の上州「妙義山」の森を歩く 2002.11.10.



晩秋の日曜日の午後 関東の紅葉
 の名所 上州 妙義山の森にはい
 り、紅葉をみてきました
 妙義山のあのゴツゴツした岩山の
 異様な姿は魅力

あとがき

1999年 山口県美祢から関西へ帰って、美祢や海外をはじめ、色々なところにいる仲間に近況を伝えつつ、交流をしようとした一ヶ月に一回の定期的なホームページ更新。

いま、この4年間 34回の更新時にホームページを通じて送った中身を集めると其の時の情景がありありと目に浮かび、この4年間ぼやきつつけていたようで恥ずかしくなります。

でも この4年間の間 関東に赴任したこともあって 行動半径も広がり、また 新しい多くの仲間も得て 新しい経験も沢山できました、

好き勝手 まったく脈絡もなくホームページに書きなぐった文章

まあ 風来坊の私が 勝手気ままに生きてきた行動記録といったところでしょうか

いずれ 関西に帰ったら、今度は ゆっくり 酒でもびちびやりながら 読み返してみようと思っています。また、仲間と再会したときの魚にでもして むかし話に花を咲かせたく思っています。

まあ 文章書くのが嫌いな僕がよく続けられたものと驚き。

今後も 気が向くまま 風来坊 行動的でありたいと思っています。

ホームページもどこまで続くか わかりませんが、更新続ける予定です。

今年1月4日 京都高島屋で「中島潔か描く金子みすず」—まなざし—の詩画展があり、好きな山口長門の詩人金子みすずの詩が中島潔氏の童画の中に踊っていました。

金子みすずが作った詩集の巻末の詩がじつにいいと感じてかえりました。

金子みすずのその巻末の詩と「大漁」の詩を まとめの最後に置かせていただきます。

2003. 1. 19.

M. Nakanishi <zp4m-nkns@asahi-net. or. jp>

<http://www.asahi-net. or. jp/~zp4m-nkns/>



大漁
朝焼小焼だ
大漁だ
大羽鰯の
大漁だ
濱は祭りの
やうだけれど
海のなかでは
何萬の
鰯のとむらひ
するだらう



中島潔 画

できました できました かはいい詩集ができました

我とわがみに訓ふれど 心おどらずさみしさよ

夏暮れ 秋もはや更けぬ

針もつひまのわが手わざ ただにけなしき心地す

誰に見せうぞ 我さへも 心足らはず さみしさよ

ああ つひに 登り得ずして帰り来し 山のすがたは雲に消ゆ

とにかくに むなしきわざと知りながら 秋の灯の更くるまを

ただひたむきに書いて来し

明日よりは 何を書かうぞ さみしさよ

—金子みすず—

四季折々 1999-2002

■ 四季折々 Mutsu 1999-2002

■ 四季折々 関東・神戸で 思いつくままに 2001.3-2003.2 3.2

■ [四季折々 Mutsu 関東・神戸便り 2002 \(1999-2002\) のpageへ](#)

■ [関東・神戸で 思いつくまま 2002 \(2001.3.・2003.2\) の page](#)

関東・神戸より 2002 思いつくままに

四季折々 関東・神戸で 思いつくままに 2001.3-2003.2

関東で 思いつくままに 2000.1-2003.2.

1. 冬の手賀沼・印旛沼 2000.1.13.
2. 花粉症を逃れて 渡良瀬川 遊水池へ 2000.3.11.
3. 柏便り 2000.4月 春点 描
4. 東京都江戸川区 江戸川 河川敷 『小岩菖蒲園』 2000.6.25.
5. 「江戸の変化朝顔」 —「雑草」と「江戸の変化朝顔」— 2000.7.19.
6. 「めりけんのパンパンパン」 2000.7.19.
7. 「陸の松島」栃木市 太平山 2001.3.24
8. 幕張界限 2001.2.25.
9. 「ご飯」「メシ」の言葉にこめられた日本人の思い 2001.5.14.
10. 柏の日曜日 梅雨の合間に 菖蒲・紫陽花・バラの花を見る 2001.6.24.
11. 夾竹桃の語らい 夏を告げる夾竹桃の花 2001.8.6.
12. 『日本人 はるかな旅 日本の源流』展を見て 2001.10.10.
13. 関東・柏で『京都うまいもの市』 2001.11.12.
14. 東京「珈琲の老舗」の「Aging 珈琲」 2002.2.18.
15. 縄文の土器が語る「物づくりの技」とプロの眼 2002.9.6.
16. 癒しの由来 2002.10.28.
17. 映画「阿弥陀堂だより」を観て 2002.10.27.
18. Merry Christmas !! 2002年 柏でのクリスマス 2002.12.24.
19. 暖かい冬の週末 柏 ひだまり Walk 2003.1.26. & 2.1.

1. 冬の手賀沼・印旛沼 2000. 1. 13.



【印旛沼の夕暮れ 2000.1.13.】

暖かい冬の日 手賀沼・印旛沼の岸でゆったりすごした時の写真です。

休日には、ぼやっと 芝生に寝転んで夕日を見る余裕も出てきました。

50cc のバイクに乗って 柏から手賀沼ー印旛沼ー佐倉歴史民俗博物館ー印旛沼ー我孫子ー柏と休日の午後楽しんできました。

柏から手賀沼の湖岸へ。手賀沼・印旛沼と言えば 生活排水の流れ込む汚い泥沼とっていましたが、どちらも湖沼をきれいにする市民運動も起こり、湖岸一体はきれいな自然公園に整備され、市民のいこいの場となっています。

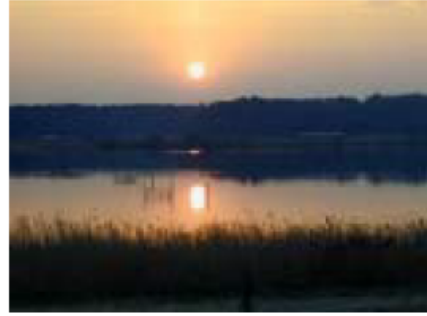
手賀沼は今 生活排水が流れ込むのが完全にシャットアウトされ、浄化が進んでいます。芦原が生い茂る湖岸は講演と散歩道に整備され、ゆっくりと walking やジョギングが楽しめる公園。

印旛沼の湖岸も公園に整備され、風車がまわり、景色の良い湖岸の田園風景を作っています。

民俗博物館から帰る途中、丁度 夕日にでこわし、茜色に染まる印旛沼の写真を撮って帰りました。



【手賀沼遊歩道】



【夕暮れの印旛沼】

新聞や昔の話で抱いていたイメージとは全く異なる広い湖岸の都市公園に変っているのに驚き。手賀沼では 春の桜 四季それぞれのバードウォッチング 市民マラソンと 四季折々の行事が生まれ、市民公園となっている。また、数多くの市民運動とともに水質浄化等環境問題に取り組むシンボリック役割も担っている。

関東で 思いつくままに 2000

2. 花粉症を逃れて 渡良瀬川 遊水池へ 2000. 3. 11.

一瞬 ゲゲゲの鬼太郎の世界に
wtrse.htm by M.Nakanishi



渡良瀬川 遊水池に広がる広大な芦原 この中に旧谷中村が眠っている
奥日光から流れ出た渡良瀬川が茨城県・群馬県・栃木県境がかさなるあたり日光・赤城連山の山裾から関東平野にはいり、利根川との合流点 古河市のすぐ北に地図で見ると広い遊水池がある。貯水池と芦原 尾瀬ヶ原の数倍の規模。ちょうど古河市がすっぽり入るほどの規模である。

この遊水池の真中には 日本最初の鉍毒事件といわれる足尾鉍毒事件の中心「旧谷中村」が眠っている。



渡良瀬川遊水池の旧谷中村



足尾銅山からの鉱毒を含んだ水が流れ下り、この鉱毒の防止を求めて、谷中村の田中正造らが立ちあがった地である。またこの地域は暴れ川 利根川・渡良瀬川の氾濫によって再三水害に見舞われる土地でもあった。

明治の終りに、下流利根川流域の鉱毒を防ぎ、また関東平野へ一気に流れ下った水が堤防を突き破り、関東平野に暴れ込むのを防止する目的で、この足尾鉱毒反対運動の中心であった谷中村を中心とした村々を強制移住させて、広い遊水池と川筋の改良が実行され、広大な遊水池作られた。

現在、上流側半分はかつての谷中村も含め、広い広い芦原の遊水池となっている一方、下流の関東平野側半分が貯水池として、関東の水瓶のひとつになり、この遊水池とその周辺は大規模な自然公園として整備されている。

3月 11日(土) 関東平野の花粉の飛散激しく このところ花粉症 眼・鼻 厳しい状態。
テレビを見ていると、一番飛沫濃度の高いのは山裾から関東平野の内部の 100km 圏。丁度焦点の位置にあたるのが柏。柏は湿気が多く、私の会社の製品溶接材料には大敵で、一人住まいだと湿気て大変。一方 それが樹木を育て、緑の濃い街を作っていると納得していました。
花粉の飛沫も同じ、関東平野の焦点の位置だから・・・これはもう仕方無しと納得。
テレビの言う山裾まで行けば 花粉症軽くなるかも……………。

地図を広げて眺めると 真っ先に渡良瀬川の大遊水池が眼につきました。柏から利根川にそって北へ約 60km。古河市の北に古河市がすっぽりはいる広大な遊水池が利根川に流れ込んでいました。
日光・赤城の山間から流れてた渡良瀬川が関東平野に出る出口にこの遊水池がある。
関西の川では見られぬ大遊水池で、以前から一度は行って見たいと思っていました。
ちょうどいい機会 花粉から逃れて行ってきました。



行ってビックリしましたが、ヤッパリすごいスケールの遊水池でした。川の上流側は日光・赤城の山を背に延々と続く芦原。下半分は大きな貯水池。地図で想像していたよりもはるかに大きく、渡良瀬川を流れ出た水は、この遊水池を経て、この川下で利根川へと合流する。

川下側半分の広大な貯水池の真中を貫く川中の道が芦原の中へと延びている。池の周りは良く整備された自然公園で、野鳥が群れ遊び、良く手入れされた緑地公園となっている。まずは貯水池を一周して、それから芦原の中へとサイクリング車を走らす。
暖かな昼下がりで、遠くには赤城の山々が浮かび、鳥のさえずりを聞きながらの快適なサイクリング。
池を突ききって、ちょうど芦原が始まるところが、中島になっていて、整備された水辺の公園になっていて、小さな売店などもあり、遊水池のセンタになっている。





後で気がついたのだが、かつて谷中村のあった川の中の高台のところである。店や家があるのはここだけでまわりには看板ひとつなく、生い茂った芦原と池の中に一本道が続いているだけである。



明治の末 度重なる渡良瀬川の氾濫とともに、足尾鉍山の鉍毒がこの川に流れ出て、この肥沃な土地を汚染し、田中正造らの激しい運動が起こったところ。この鉍毒と度重なる水害を防ぐ為に、旧谷中村など池の中心部にあった幾つかの村を強制移転させ、広大な池と川の改修がなされたという。

見渡すかぎりの背丈を越える芦原の中に、ぼつぼつと幾つかの小高い丘とその目印のように何本かの樹木が残され、幾つかの墓標等が取り残されているのみである。本当に何か隔絶された別世界の中にたった一人足を踏み入れた気分。ちょうど「ゲゲゲの鬼太郎」の世界に入ったような気分がした。



この小高い丘も生活の知恵がもたらしたもので、渡良瀬川が氾濫したときに洪水から守るために丘を築き、そこに家を建てたと言う。一つ一つの丘がそれぞれ昔そこに家があったという証明である。

もう 今は芦原の中に埋没し、かつての村の面影もない。

延々と続く芦原を抜け、土手に出ると芦原の続くはるか奥に赤城・日光の連山がかすんで見えていた。

柏からは 東武野田線・日光線を乗り継いで約1時間30分。

板倉東洋大前で下車。新しい住宅地が広がる反対側を出て、土手にあがって行くと遊水池。

サイクリング車に乗って土手を上がって行く人を見て、僕もサイクリング。

遊水池はよく整備された公園。もっとも池と芦原の中なので店は全くなし。ゆっくり巡って3時間 広大な池を巡り、芦原の中をつき切る水辺の野鳥が群がる自然一杯の快適なサイクリングコース。



身の丈を越す一面葦原の中に旧谷中村の痕跡があり、一瞬昔の足尾鉍毒事件の現実に戻されましたが、それ以外は本当に広い広い芦原の気持ちのいいお勧めのハイキングコースでした。

花粉症は完全に吹っ飛んで楽勝。花粉情報どおり、関東平野の山裾の方が花粉は少なそう。

体の調子も良いので、そのまま「佐野ラーメンの街 佐野市」まで足を伸ばし、「佐野ラーメン」を食べて帰りました。有名なほどのラーメンでなし。ごく普通の味。もっとも麺が平うち麺でしたが・・・・

柏に帰ってきて 駅へ降りたとたんまた、涙とくしゃみ。

「第二の渋谷」として 活気のある街「柏」は良いにつけ悪いにつけ 関東平野の焦点・へそであると感じた次第。

2000.3.11. 柏にて 中西

3. 柏便り 2000.4月 春点 描

関東で 思いつくままに 2000

kswaharuprint.htm



1. 花粉症の事
2. 柏あけぼの山の花見 4.08.
3. 奥会津下野街道 大内の宿 4.07.
4. 大阪 wlding show 4.13.
5. 米子でイースター 4.26.

山口県 別府弁天池の湧水
【秋吉台カルストの湧水】

1.花粉症の事

やっと直りました。 本当に柏では大変。 皆さんから色々の対策メールもらいました。本当にありがとうございました。真贋ゴツチャですが、色々学びました。

独自研究開発したミネラル水のサンプル送るとメールくれた M 君。

すぐ秋吉台カルスト弁天池の湧水思い出し、効くだろうなあ・・・

残念ながらインターネットアクセスうまくゆかず 試せなかった。

塩水で眼を洗えと N 君。good でした。 でも柏で排気ガスを吸うとダメ。

排気ガスの影響は甚大。6号線 16号線の走る柏。もうクシャミ・鼻水・涙の連発

関東平野のちょうど円の中心柏。レンズの焦点と同じ。むしろ山間の方がまし。

群馬の日光や赤城の山裾行くと花粉症も嘘のよう。good でした。

『杉の次ぎはヒノキ。薬も目薬・スプレもみんなその時ダケ。あきらめろ』

と柏の薬局のおじさん。

正論です。でも しっかり花粉症の薬も売ってましたよ。

花粉症はほんといやになります。 来年若いことを祈ります。

ミネラル水の効用色々あり。

興味のある方下記アクセスを <http://www.vital-net.co.jp>

もう什数年以上も水を研究し、ネットビジネスやっている M 君のサイトです。

2. 柏あけぼの山の花見 4. 08.

関東の花見はどこも花より人の方が多し人出。昔良くやった光景を思い出していました。来年は 盛大に飲み会やりたいな。

- 学生時代の京都平野神社の夜桜
- 尼崎 研究所横て車のライトで照らした溶接の花見
- 山口美祢の川沿いの夜桜。J社の外人と夜中酔っ払って。



【柏 あけぼの山の花見 2000.4.8.】

3. 奥会津下野街道 大内の宿 4.07.



下野街道と大内宿

観光化したとはいえこれだけ萱葺きの家並が整然と残っているところはない。そういう意味では秘境。

東京は桜 鬼怒川は梅が満開。奥会津 会津田島は雪が残っていました。江戸時代の萱葺きの家並が残る宿場町にあこがれ、残雪の残る峠道を歩く。峠を一つこえて、秘境の匂いのするさらに山奥の峠の一軒屋のばあさん。年末に「神戸ルミナリエ」に行ったという。秘境はなくなりました。



奥会津 下郷村 大内宿

4. 大阪 welding show 4. 13.

十数年ぶりの溶接展。

不況の中 どうなのか心配しましたが、ガンバル実感持てました。



大阪 welding show で

5. 米子でイースター 4. 26.



春の大山と大山元谷

今年のイースター 米子で迎えました。
娘の赤ちゃんがこの日日本聖公会米子聖ニコラス
教会で幼児洗礼をうけました。
快晴にめぐまれ、大山が本当に美しい1日でした。



米子 聖ニコラス教会

4. 東京都江戸川区 江戸川 河川敷 『小岩菖蒲園』 2000. 6. 25.



今週も週末雨。久しぶりに家内が柏にきているが、雨で動く事できず。

梅雨に入って、週末雨が続けている。

「雨でも行ける所ないのか?」考えたあげく江戸川の花菖蒲園へ行った。長い事「寅さん」の柴又へもいていないので、久しぶりに「帝釈天」にもより、「草だんご」食べて帰ることで決まり。



小岩花菖蒲園は京成電車江戸川鉄橋の下の河川敷ちょうど花菖蒲が満開。雨で人も少なく霧雨の中に白と紫の花が咲き乱れ、川面のもやの中 対岸

のビルがかすんで見え、非常にきれいでした。

ここはお奨めです。もっとも 行き方きっちり押さえないと何処へ行くか判らない。



常磐線金町駅で京成に乗換え、高砂駅へ。そして京成の本線を千葉の方へ3駅江戸川台下車。

このように書くとス

ムースにみえるが、高砂の駅でパニック。成田・千葉・西牧の原・上野・浅草・羽田。すべて違う方向の電車。間違っ一度高砂駅から青砥駅へ行ってまた帰ってきた。また、ここは京浜の海岸を走る総武線「新小岩」にも近いようですが、はっきりせず。家内に日頃の地図の強さ笑われました。



霧雨けふる江戸川の土手「寅さんの散歩道」を帝釈天まで約1時間のんびりと歩いた。

静かな鳥のさえずりも聞こえ、都会の喧騒を離れ、霧雨けむる兩岸の遠景を見ながらの落ち着いた WALK。柏の北の利根川べりもそうですが、川の土手の WALK は歩いているだけで楽しくなる。出会ったお年寄りに道を尋ねると「帝釈天様は土手を行くとまもなく見えてきます」の答え。さすが地元。古くから根ざした言葉として「帝釈天様」がずっと出てくる。この言葉に流行とは別に、地元の生活の場として根づいた人達がいること感じた。そう言えば「寅さんも そう いていたなあ」

参道はあいかわらず、雨にもかかわらず多くの人でにぎわっていた。家内は前に来た時のこと本当によく覚えていて「ここで何した ここで名に買った」と驚くばかり。高木屋で例の「草だんご」食べて帰ってきましたが、梅雨時の楽しい午後のひとときでした。同時に私の「本当に物覚え」の悪さをも認めさせられた午後でした。

2000.6.25. 柏にて by M.Nakanishi

『 柏 便 り 』 日本人の感性 1

関東で 思いつくままに 2000

5. 「江戸の変化朝顔」 「雑草」と「江戸の変化朝顔」 2000.7.19.

国立歴史民俗博物館 歴博講座 辻誠一郎氏講演より
Asagao.htm by M.Nakanishi



7月8日 千葉佐倉の国立歴史民俗博物館で辻誠一郎氏の「古代縄文時代から現代までの植生」の話を聞きました。

辻氏は山内丸山遺跡など古代の植物学の権威なのですが・・・ほんと面白かったですよ。

その骨子はだいたい次ぎの通りでした。

古代縄文の時代から現代に至るまで、その時々樹木・植物が食物として、また住居材料・生活道具等の材料として、そこに住む人達と共生し、それらとのかかわりが、日本人の感性を非常に豊かで、多用なものに育て上げた。夏の朝 みんなが楽しむ朝顔もそんなひとつ。

奈良時代に中国から薬草として伝わり、日本人が品種改良を続け、幾つもの種類に育てた朝顔。

その中で、種をつけず一代限りの花の美しさを連綿として伝えてきたのが「江戸の変化朝顔」。

辻さんは いつも説得力

があるのですが、この「日本人と植物」の関わりについての「江戸の変化朝顔」の話は、日本人の「感受性・伝統の技」物作りの原点を実証する話としてもきわめておもしろかった。



【親木】

【変化朝顔】

変化朝顔 【親株と変化朝顔】国立歴史民俗博物館資料より】

辻さんは いつも説得力

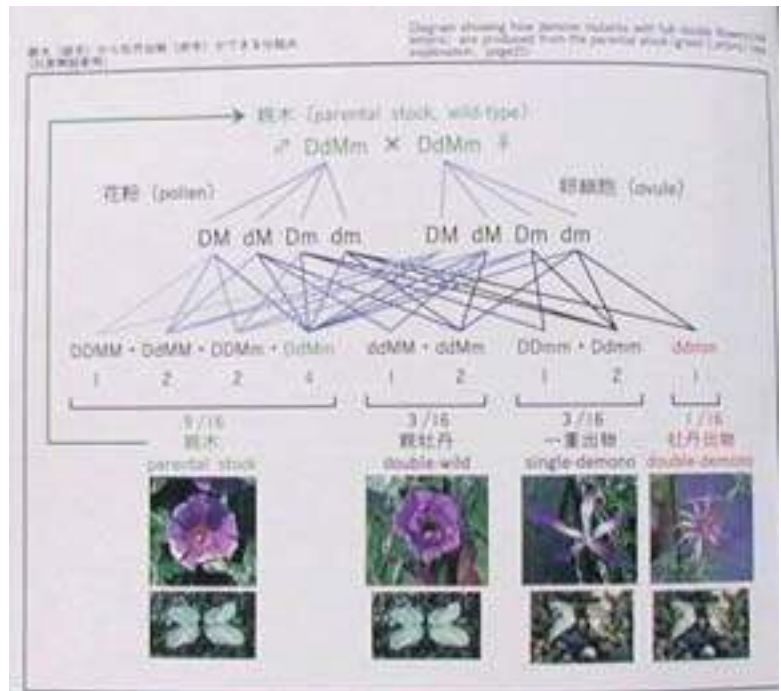
があるのですが、この「日本人と植物」の関わりについての「江戸の変化朝顔」の話は、日本人の「感受性・伝統の技」物作りの原点を実証する話としてもきわめておもしろかった。

この変化朝顔では幾つもの種類があるのですが、大輪の花が切り放たれ 花びらとなり、朝顔とは思えぬ美しい花を咲かせ、江戸の人達はその美しさと変化を楽しみました。

そして、この種をつけない一代限りの花を次の年にも楽しむため、別に咲かせて準備した親の種をまき、その中から変化朝顔になる苗を分別し、同じ変化朝顔を次の年にも楽しみました。

こうして種をつけない美しい朝顔を幾世代にも守り続けてきたと聞きました。

メンデルの法則が発表される前に経験的にその法則を知り、親株を注意深く観察すれば、常に突然変異がある確率でおこるので、この変異を見分け、種を取る親株と別けて、その変種だけを根気よく取出し、育てて花を咲かせる。これが「江戸の変化朝顔」。まさに物作りのプロの仕事である。



幾世代 数百年も咲かせ続けてきた江戸の人達の職人技。いわば日本人の観察眼と自然に対する深い感受性で、人手で護り育ててきた江戸伝統の変化朝顔。これが日本人伝統の技。

日本では ポピュラーな杉や松そして コウヤマキなどの温帯針葉樹は古代日本が寒冷であった頃の生残り。また、次ぎの温暖化で生まれたブナの原生林も同じ。世界的にも貴重な遺産。これら古代の生残り組が現世の植物と共存する世界でも貴重な位置にある日本。身のまわりにある「雑草」も縄文時代から稲と同じように人々が改良を重ねてきた栽培植物の生残り。ある時代に忘れ去られたま連綿と種を繋いで生き延びてきたものらしい。

「稲など栽培植物が途絶えた時には 人は真っ先にこの雑草に頼らざるを得ないだろう。太古の人々がそれを食としたように...」と辻氏は言う。

そう考えるとこの日本の地にある雑草も「日本人の大事な物作りの技」。

雑草のルーツを知り、「今一度きつと何処かで人の役に立つ時が来る」と考えると忘れられた雑草も素晴らしいものに見えてくる。

このような世界に類のない「太古と現代の樹木や植物の交差点」日本で生きてきた日本人。

その独特の感性の技がなしえた植物が今も「日本伝統の花」として、また「雑草」として生きつづけていること驚きです。

日本人の心 豊かな感性と鋭い監察眼がなしえた伝統の技。それは今も物作りの基本。
大事にして行きたいものだとつくづく思いました。

2000.7.8. 千葉県佐倉市 国立歴史民俗博物館 歴博講座を聴講して

江戸の変化朝顔 インターネットより

朝顔が日本に入ってきたのは奈良時代の末期のこと。

当初はケニゴシ(牽牛子)と呼ばれ、薬草として扱われていた。渡来当初の朝顔は淡青一色で、小輪咲き。

その後 1000 年、変化はゆったりしたものだったが、19 世紀に入って栽培熱が高まり、多種多様なものが現れる。

ただしこの頃のもの、現在見られるような丸いラッパ型ではなく、変化朝顔。漏斗状の花がいどむような表情を見せる獅子咲、花弁が幾重にも重なる牡丹咲、風車のような車咲などバリエーションは豊富。

現在までにおよそ 800 系統あるとか。

江戸文化年間から明治期にかけて繰り返しブームが訪れ、花が競われもしたという。

『柏便り』 感性の話 2 日本人の生き方 ある仲間の会合で

7月10日 浅草 駒形橋「駒形どぜう」で「どじょう」をつつき、うっつしい梅雨をふっとばす会がありました。出席したのは学生時代の先輩・仲間諸氏十数人。

その会での話 みんな還暦近く、話題がそこに至った時、ある先輩いわく……

今の還暦の実質年齢は昔の 40 才。

いまや まだ老込む年でなし。みんな元気で 90 才を越えよう。

趣味に生きると言たって 日本人はだめだよ・みんな 仕事をしようぜ

「桜の蕾が膨らんだ」と言って飲み 「3分に咲いた。五分に咲いた」と飲み、

「さあ満開だ。桜の下で宴会」と飲み、

「散りぞめ」「葉桜になった」と飲み……。

花見ひとつとってもこれだけ楽しむ感受性は日本人にしかなし。

この感受性の高い日本人が ただ一言「花が咲いた。」の外人と同じ生き方ができようか

『日本人の生きざまは、趣味でなく、仕事をし、

またボランティアとして、自ら飛出し active に生きること。』これしかなし。

みんな難しいが、共感すること多く、感心して聞きました。

今年の梅雨は男性的。柏では、雹が降ったり、突然 「突風と大雨 雷」の集中攻撃。びっくりして逃

げ込んだ丘陵地。天気が回復して、いる位置がわからず、帰るのに苦労したこともありましたが、溶接材料の吸湿も心配しましたが、やっと梅雨明け。けっこう 関東楽しんでます。

7月19日 柏にて ・ 友達へのメールより M.Nakanishi ・

6. 「めりけんのパンパンパン」 2000.7.19. 関東で 思いつくままに 2000

銀座 木村屋のパン 木村屋の「西洋菓子」 「めりけんのパンパンパン」



柏の私の工場の向いに「銀座・木村屋」のパンや菓子の大きな工場があり、近隣の工場としてお付き合いをさせていただいている。関西人で良く知らなかったが、この「銀座 木村屋」というと東京・関東一圓ではおいしいパンの代名詞で、銀座の店には長蛇の列が出来、中でも「アンパン」は木村屋の名物として名高いという。

私の会社のY氏などは東京へ行くと銀座へ寄ってこの絶品の「アンパン」を必ず買うという。パンといえば私なんかは家内の講釈を裏覚えに、

すぐフロイドリーフやドンクや何処何処のパンと神戸のパン屋の名前が口を突いて出てくる。

パンやケーキ クッキーなど結構神戸の出店を関東一圓の百貨店やらでみかけるので、木村屋といってもまあ横浜かどこかの流れの関東地方区のパン屋さんと思っていた。ところが どうも違うらしい。



「銀座 木村屋のパン」は神戸のパン屋がそうであるようなドイツパンとは違う流れのようだ。もっと由緒たらしい日本流。先日、この向いの「銀座 木村屋」さんにY氏と訪問し話を聞いた。この「銀座 木村屋のアンパン」は「今も手作りの限定のパン。パン生地には酒糴を使って発酵させるので、焼き立てよりも1日置いた方が、しっとりしておいしくなる」という。パンは焼き立てを待って買う御仁の多い神戸とはちょっと違う。また パンに酒糴をかたくなに護って作るアンパンに興味深深。

調べてみてビックリこの「木村屋のアンパン」明治の初め日本初のアンパン。

インターネットで調べると当時の広告の絵がありました。それには 文明開化の時代 西洋服を着て太鼓を叩く宣伝マン「木村屋の西洋菓子」 「木村屋のパンパンパン」 とありました。

神戸とは違った全国区のアンパンで、東京ではみんな知っているという。こっちが田舎者でありました。近々、銀座へ行ってこの「アンパン」を買おうと思っている。

最も「銀座 木村屋」さんの柏の工場で作っているアンパンもオートメーションではあるが、パン生地も酒糀もすべて銀座と同じ。やっぱりおいしい「あんぱんぱんぱんぱん」である。

関東一圓何処でも手に入るようになっているという。

一度試してください。

「柏に名物なし」といっていましたが、大げさでなく、ちょっとした名品であります。

後日談

昨日 銀座へ行って「木村屋」のアンパン買いました。

銀座の時計台「服部時計店」のとなりに「木村屋」有りました。小さなアンパンで1個 120円とちょっとパンとしては「たかいかなあ」と思いましたが、やっぱりうまい。

しっかりとした歯ごたえとうまいアンコ。お奨めです。米子にいたる娘の主人が東京なので電話すると娘の方が良く知っていて、酒種のアンパンであることなどどうも知らんのは僕だけでした。

「講釈より 早く送って...」と。

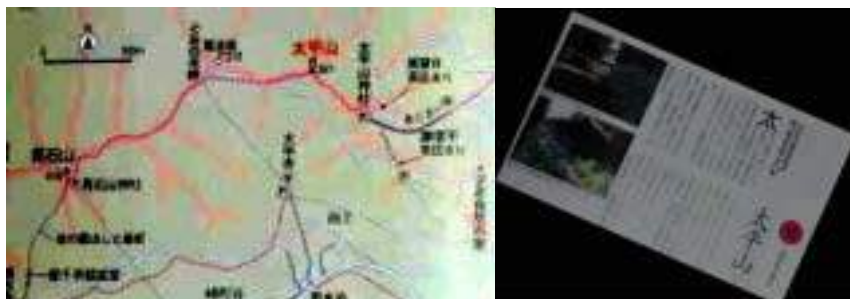
早速 銀座に行って送ってやりました。



関東で 思いつくままに 2001

7. 「陸の松島」 栃木市 太平山 関東平野を望む

tyheisn.htm 2001.3.24. by M. Nakanishi



栃木市 太平山 謙信平から関東平野を望む

3.24. 3月になって 少し暖かくなりだすと共にまた恒例の「花粉症」になやませられている。

もう毎年であるが、今年は特に厳しい。柏の病院の先生が花粉症の談話で雑誌にのるくらいだからヤッパリ柏は凄いようだ。

花粉症に負けてばかりいられないし、そろそろ動き出さないと・・・・・・・・

関東平野を一望できる山として「筑波山」があるが、もう一つ栃木市の西にそびえる「太平山」。

春の足馴しの山としては恰好。東武電車を通るたびに一度ハイクしようと思っていた矢先に「岳人」2001年「春山」特集号に掲載された。

半日で「関東平野」や「栃木市」を眺めながら尾根伝いに縦走できる山。

そして 一番端の太平山 謙信平には栃木市からドライブウェイが通じ、かつて上杉謙信が見下ろす関東平野を「陸の松島」とめでた美しい場所。

朝ゆっくり柏を出て 東武電車で栃木市の一つ手前の「新大平山下」で下りて 葡萄畑の続く野道を大平山の山々の下にある太中禅寺へ。

季節はずれの葡萄畑であるが葡萄の木の根元には紫やピンク青の花をつけた野草の絨毯。もう春まっさかり。この葡萄畑の間を抜け、山にかかるところに太中禅寺があつた。

ばかばか陽気の昼間 誰もいない林の中 本堂の前には 梅とともに桜が満開の花をつけていた。



太平山県立自然公園



葡萄棚の下の野草 花の絨毯



大中禅寺 入口

太平山南麓 大中禅寺



大中禅寺ーぐみの木峠ー太平山ー太平山神社

この大中禅寺から山道。 林の中を一機に尾根道へ登って行く。大きな樹木の露出した根が編み飲めのように道に張り出し美しい。

視界はさほど開けないが、樹木の間からかいま見える下界の平野と樹木の変化が結構面白い。苦もなく大平山と晃石山の鞍部のぐみの木峠に立ち そこから稜線伝いに太平山へ

稜線の右手からは佐野方面の関東平野が木々の間から見え隠れ、左手には栃木市が広がっている。

一帯はかつての山城の跡。浅間神社が祭られている太平山のピークにほどなく辿り着く。視界は全くひらけない。さらに下って行くとまもなく太平山神社の境内にはいる。ここへは栃木市からドライブウェイが通じ、多くの車が行き交い、今までの静かな山歩きとは趣が一変する。

【太平山 尾根道で】



謙信平

ドライブウエ-を約 15 分歩くと関東平野を見晴らす展望台のある「謙信平」沢山の茶店が並んでいる。

名物のよもぎだんごをほうばりながら関東平野を見晴らす。

春かすみがかかって はっきりはしないが、広い関東平野の中にぽつぽつと森や丘が浮いたように見え「陸松島」とよばれるものなるほどと思う。美しい風景である。

まわりは良く整備された公園でたくさんの桜の木がうわっているが、ここはまだつぼみ固し。栃木市民の憩いの場なのだろう。



【大平山 名物 焼き鳥・だんご・玉子焼き 謙信平に並ぶ茶店で】



栃木市



暖かい陽気に昼寝して ドライブウエ-をぶらぶら約 1 時間栃木市街へ下る。街からは西に太平山が山裾を左右に広げ、栃木市からのながめが一番美しい。

栃木市は蔵が多く残る美しい街。久しぶりに街中を歩いて栃木駅へ。山歩き 3 時間 街で 1 時間 春の暖かい午後 郊外ハイクを楽しみました。栃木側からのハイクは栃木市がずっと見えますが、ドライブウエ-との競争であまり勧められません。

太平山 非常に低い山ですが、静かにゆっくり歩ける気楽な楽しい山でした。ここまで来ると昨年と同様 杉等林の真っ只中ですが 花粉症もふっとんでいます。まあ げんきなものです。

8. 幕張界限 2001.2.25.



2月25日 晴天。春の暖かい陽気にさそわれ、家内と二人幕張へ。
私の会社の「東京支店」が幕張のハイテク通りの一番高いビルの中にある。
幕張には毎月通うのですが、幕張界限をゆっくり休日に歩くのも初めて。

幕張へくるといつも気分リフレッシュ。何か若返った気分になるので楽しみです。いつも乗っている JR 幕張本郷駅から JR 浜幕張駅までの全長 18M の 2 両連結バス。

「よく 90 度のカーブ回るものだ」と何時も感心しているバス。
話をしても信じてくれないので乗る事。また、最近 幕張に出来た「アウトレット モール」そして フランスからやって来た大型スーパー「カルフル」など最近のニュースポット幕張界限の散策が今日の目的。



いつもは混み合うバスも日曜日でガラガラ。幕張メッセから見るビル街もほんと新鮮でした。

駅前広場では アンティークの市場を覗き、フランス仕込みの「カルフル」の段のないエスカレータにビックリし、「アウトレットモール」では若い人たちが一杯。

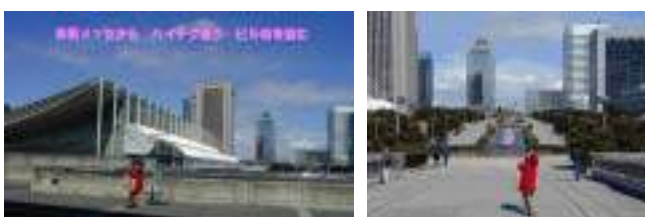
殆ど人のいないオフィス街を結ぶ二階の迷路を歩いてビルの中を歩くとビルの中には洒落た店がある。
今日は幕張メッセでのイベントもなく、本当にどこも静か。

ゆったりとした雰囲気の中かで食事して帰りました。ちょっと都会的最近の流行と洒落た気分を味わって満足。

毎日がこれだけゆったりしてれば いいのですが、月曜日になると幕張も人人人のラッシュ。
また、明日から喧騒の一周間の始まりです。

2001. 2.25. 幕張へでかけて M.Nakanishi

ハイテクのオフィス街幕張メッセから



JR 浜幕張駅前のアンティーク青空市場



フランス仕込みの大型スーパー『カルフルー』



明るくて何処となく違う雰囲気の店内。
まあ朝早い時間のスーパーなのでどちらか言うと家族ずれが多い。でも、街のスーパーとちがって若い夫婦ずれや洒落た中年のカップルも多い。
平坦なエスカレータ ちょうど「動く歩道」



が斜めについているのにはびっくりした。何がと聞かれるとはっきりしないが、人が雰囲気を作るのか「ビブレ」や「サティ」とはやっぱりちょっと違う。



JR 浜幕張駅前『アウトレットモール』

静かな街の中 ここだけは若者で一杯。 海外専門店の雰囲気もちよっぴり



関東で 思いつくままに 2001

9. 「ご飯」「メシ」の言葉と日本人の思い 2001.5.14.

2001.5.14. 「稲作とご飯」について、インターネット on line から配信されてきた。

古代より、日本文化形成の柱である「稲」。

今 この「稲」そして「日本文化・文明」発祥について 従来の考え方を修正すべき事実が次々と出てきている。しかし、日本文化・精神の形成にかかわった「稲作」の役割は少しもゆるがない。

配信された記事から、「稲作」そして「ご飯」「めし」「ご飯をよそう」といった言葉の中にも 日本人の「稲・米」によせる大きな重いがこめられていることを知った。

いま、日本人の米の消費量は減少の一途をたどり、農家は生産調整を強いられている。最も本年は「牛丼」など外食産業の安売り競争の結果 米消費量が少し上向いたと言われているが... 。

その内容を一部抜粋紹介します。

「グローバルゼーション」の名の下に誤って「外見だけ また ある側面のみ」を見て答えを出す事が横行する最近の風潮の中、日本人の根底にある精神的なゆったりとした物の見方にも眼をむけることが大事ではないでしょうか

2001.5.14. 連休が明け 仕事にもどって

By M.Nakanishi

今日の雑学 「メ シ」

日本の稲作は縄文末期から弥生初期にかけて大陸から伝わったのが始まりとされる。温帯型が中心といわれてきたが、このところのDNA分析の結果から熱帯型も確認され、弥生期の稲作は温帯型と熱帯型が混在しながら展開されたことが明らかにされてきている。以来およそ 3000 年。いま、日本人の米の消費量は減少の一途をたどり、農家は生産調整を強いられている。

「召しあがる」という尊敬表現の「メシ」、あるいは敬語として「御」をつけたゴハン。ほかの料理は皿に盛るというのに、ご飯だけは「よそって」いた、つまり「装って」もいた。これらの言葉には、日本人が米を大切にしてきたことがしのばれる。日々口にできることの、そのありがたさ。それだけは忘れないでいたい。

メールマガジン『今日の雑学+(プラス)』 since 7.Jan.1998

編集：小橋昭彦 より

関東で 思いつくままに 2001

10. 柏の日曜日 2001.6.24. 梅雨の合間に 菖蒲・紫陽花・バラの花を見る

6.24. 久しぶりの柏での雨上がりの日曜日 思い立って柏の街中で花見。

今年は「菖蒲」を見に行けず 「紫陽花」も街角でみかけるが・・・また、バラがきれいな時期 前橋のバラ園のニュースを聞いたが・・・どれもまだ中途半端。

『しっとりとした菖蒲・紫陽花もみたいし、また ぱっと輝く明るいバラも見たい』と 6.24.の日曜日 柏のあけぼの山公園・柏の葉公園へ初夏の花見に出かけました。

しっとりした紫の菖蒲一輪・山裾に咲く紫陽花 落ち着きたいいい気分。

梅雨時に咲く同じ紫・青系の落ち着いた清楚な大輪の花なのに

菖蒲が「神秘・やさしさ・忍耐」

紫陽花が「移り気・冷酷」

と紫陽花にシビアー。

紫陽花は日本原産の花で万葉の昔からの日本を代表する花なのに花にたくされるイメージは余りよくなし。菖蒲との差は大きい。でも 梅雨あがりに家の軒下 山裾でさく紫陽花は一種の清涼剤。好きです。

バラはバラで明るくて良し。昔は深い赤の大輪の花がすきでしたが、美祢のKさんに教えてもらった小ぶりの淡い色のバラが今は落ち着いて好き。



柏の葉公園で

柏の街・公園を一日花をみながらゆっくり歩きました。

ゆっくり 落ち着いて歩いてみるといろんなものがこんなところに 知らないことが沢山みえました。

夕方公園の茶席で庭をみながらので抹茶と和菓子。

一日落ち着いたこんな日曜日もたまにはGOODです。

2001.7.1. by M.Nakanishi



あけぼの山菖蒲園・松葉町で

関東で 思いつくままに 2001

11. 夏を告げる 夾竹桃の花

2001.8.6.



2001.8.6. 柏 わが社 柏工場の庭で

今 私の会社の柏工場にある夾竹桃が美しい花をつけている。

今年ほど夾竹桃の花が美しいと思った事はない。家内に話をすると家内も京都高野で咲く白い夾竹桃を見てそう思ったという。

年がたってきて、お互いに今までとは違った見方が出来るようになったからでしょうか

夾竹桃はわが故郷 尼崎の市花。公害に強い花として尼崎市では街路樹・公園の樹木として沢山植えられ、夏になると赤や白の花を咲かせ、夏を告げる花。



しかし、その葉も花も派手さはなくむしろ公害華やかなりし頃はパッパも花もくすんで見えていた。従って、尼崎ではいろんなところに夾竹桃があるが、『夾竹桃が花をつけると夏』の感慨はあっても『きれい』などと思った事は一度もなく、むしろ花粉症の元凶的なイメージすら持った事がある。今思うと 小さい時には一番身近な夏の花だったのに・・・である。

夾竹桃の語らい

その工場の夾竹桃がきれいに刈り込まれ、下の写真のようになりました。

まるで宇宙人が夾竹桃の木になってお互いに語り合っているように見えませんか ??????????



夾竹桃の花は互いに何を語っているのでしょうか・・・・・・・・

柏の工場できれいな花をつけた夾竹桃。

一度写真を撮っておこうと思っている間に木の下半分側がきれいに刈られてしまいました。

うっそうと茂って葉っぱや花に隠れていた夾竹桃の幹がきれいに見えてくると今までと違ってまるで木々がお互いに話し掛けているしぐさのように見え出しました。これも発見です。

花を見るイメージは自分の心の現われとよく言いますが、夾竹桃の木一本一本が宇宙人のように見えてそれザレがお互いにスウィングし、語り合っているように見えてなりません。これも不思議な気分。今までまったく無関心だった夾竹桃の花がきれいに見え、しかもその木々が踊っているなどの想像われながらビックリ。

でもちょっぴり 故郷尼崎を思い出し、夾竹桃の美しさに惹かれ 新発見です。

みなさんにはどう映るでしょうか・・・・・・・・

2001..6. 柏 にて by M.Nakanishi



叱られて



理解



握手



接吻



高らかに二人で



皆さんにはどのように映るでしょうか?????

2001.8.3. by M.Nakanishi

関東で 思いつくままに 2001

12. 『日本人 はるかな旅 日本の源流』展を見て 2001.10.10.

ルーツの旅に現代を重ねて



「日本人 はるかな旅 日本の源流」展

国立科学博物館の正面には
前日起きたニューヨーク 貿易センタービル爆破テロの犠牲者への弔旗がかかげられていた
本当にむなしい出来事 人類の長い歴史の智恵で克服できないものであろうか

NHK で『日本人 はるかな旅』シリーズが始まっている。また、これにあわせ東京・上野の 国立科学博物館で『日本人 はるかな旅』展も始まった。

数百万年前 人類の祖先が誕生し、立ち上がって歩き出したその二足歩行の足跡が350万年前のアフリカの大地に記されている。その足跡化石が公開展示されていました。『ルーツのルーツ』に思いひとしお。アフリカで誕生した人類がその後地球寒冷化の中、凍りつく大地を獲物・温暖の地を求め 遠くアジア大陸を渡り シベリヤを経由して3万年前 樺太・北海道・本州へと日本にやって来た原日本人。

また、凍りつくアジア大陸の中、海面の低下により地続きの温暖の地となったマレーシア・インドネシア地域(スンターランド)から、2万年前黒潮に乗って沖縄・鹿児島を経て日本にやって来た縄文人。落ち着いた気候に変化したこの長い縄文時代から弥生時代じょうにかけ、海や海峡をわたり朝鮮や大陸から日本にやって来た渡来の民。

これら日本列島へやって来た人たちが混じり合って出来上がった日本人。

『日本人のルーツ・日本誕生』について、多くのロマンを込めて色々語られてきたが、そのペールが今ひとつはがされつつある。

最近の遺伝子解析などの成果は数万年前の日本人のルーツの物語のみならず、『人類誕生の35万年前の姿』までもを生き生きと浮かび上がらせている。ビックリするような話であるが、いずれも根拠と立証がなされつつあるのが素晴らしい。

この展示をみていると『日本人は島の単一民族』などという考えは全く根拠を失ない、まさに『人間みな兄弟』の感がふつと浮かんで来る。



アフリカ タンザニア

360万年前の人類の先祖が印した二足歩行足跡の化石
おとなと子供の二人連れか
「日本人はるかな旅」展で



人類進化の歴史

猿人・類人・原人から新人(現代人)へ
茨城県立自然博物館 展示より

また、視点を厳しい環境を生き抜いてきた人類 35万年延々と続く『知恵と技』に変えると「本当にまあ、よくこの激変する環境をのりこえてきたものだ」と感じる。

今を激変の時代と捕らえているが、そんなものちっぽけに見える。

縄文人は決して野山を駆け巡る野蛮人ではない。世界4大文明にも匹敵する『木の文化』を咲かしている。巨大な木を切り倒しそれを加工する技術は延々と今に続く日本の木の文化の支えである。

北の縄文の民三内丸山遺跡では巨大な木を加工する技を持ち、大きな集落の定住生活を栗などの木の実など植物栽培で成し遂げている。おそらく延々と栽培植物を捜し求め、やっと行き着いた結果であろう。

DNA分析が栽培をうらづけている。

鹿児島の上野原縄文遺跡で発見された大量の平底土器は三内丸山縄文人の祖先たちが土器と火を使ってどんぐりなどの木の実を貯蔵・灰汁抜きをする事でその主食を狩猟肉食から植物へ上げていった先駆の知恵であり、世界で一番早い平底土器使用と言われている。

この狭い日本列島での人口増ときびしい環境変化を知恵と技で生抜き、次々と素晴らしい技を生み出してきた祖先たちの姿が人類・日本人のルーツの中に位置付けられている。

1 天才の出現というより、その時々の人達が延々と技術を作り継承・改良してきた「人の技と智恵」。「必要は発明の母」とよく言うが、現代に置き換えても本当に「素晴らしいアイデア」である。でもこれらの技は開発・改良に数百年・数千年という長い時間をかけた伝承・改良によって成し遂げられた技術でもある。原始航海術など現代でも「解明できていない謎」も多いがこれらも同じだろう。現代のあくせくするスピードと付け焼刃的な対応「一夜にして変わる価値観」の連続多様化の時代 飽食の時代 機械文明の時代 といわれるが、何か満たされないこの現代を乗り越えるヒントがあるように思う。

いつも 技術革新に遅れまいとあくせくし、脅迫観念にとらわれている現代。

何か毎日がちっぽけで、「生き方がえなあかんのかあ・・・」との不安感にさいなまれる現代。

天才でもない人それぞれが今もコツコツと歴史を刻みつづけている。

この刻みが何千年・何百万年か先にまで受け継がれ、平成の技として刻み付けられていると思うと元気が出てきます。

こんな事が DNA 分析なんかで判るようになってきたこと全く知りませんでした、ビックリです。

現在の日本人は「縄文人/弥生人いずれに近いか？」を顔分析から分析した結果も DNA 分析もほぼ「3 対 7」の比率だそう。 おそらく 耳の中の湿り具合なんかの分析もそれにちかいはないだろうか・・・『蒙古斑はどうなんだろうか・・・』なんて想像が随分現実味を帯びて考えられる。

「沖縄県人だ」「東北人」「はたまた京都の公家の出。 気質が違う」などと言ってみてもすべてこのルーツ日本人のかごの中で揺れているのにすぎないのか・・・。

そういえば、生き別れた親子の確認の手段に DNA 鑑定が使われるのも納得。

今まさに起こっている戦争も貧困と飢えに苦しむ南北問題も 先を急ぐのではなく ルーツをベースに基へ基へとたどってゆけば、和解の道 協働の道がひらけるのではないか・・・

共同の土俵へのアプローチこそ 350 万年前から延々と続く人類の知恵と技ではないか・・・

これを逸脱すると破滅への道 そんな風に思う。

技術屋では行き詰まった時は『原点に帰れ』とよく言うが、今がこれだろう。

また、この流れを解き明かしてきた分析・計測法の進歩が時間の壁を次々と取り払っている。

木に刻まれた年輪による年代計測法 放射性炭素 C14 による年代計測法など『時間を解き明かす計測法』と『ルーツ・伝承を解き明かす方法』としての DNA 分析等。

これらの急速な進歩によって、今を想像だにしなかったことが、次々と解き明かされている。

発掘で今の世に出てきた冷たい物としての道具や遺構が生き生きと人の姿 生活 生き様など時代時代の姿をふつふつと浮かび上がらせている。

立証の手段を持つ事が物事を次々と深くつき進め、あいまいさを取り去って物事を前向きに前進させてゆく。

人類がたどってきた足跡人類が生き延びてゆくためのアフリカからの壮大な旅 厳しい自然・環境変化との戦いの流れの中で会得した知恵・技の数々。何気なく暮らしてきた我々の中に引き継がれてきたそれらの大きさにビックリする。『本当にお互いに相容れないのでは・・・』と感じてきた肌の色さえも人類が環境対応の中で取得した知恵・技である。

『森の民 縄文人』といわれるが 森に手を入れ住める環境に変えつつ森を住処にしてきたわけで、うっそうとした原始林の中に住んでいたわけでない。決して原始の森は人間がすめたものでない。

縄文の『ストーンサークル』が作られた静寂の森の中に感じだ息遣いがこの人類がたどって来た足跡と知恵であったような気がする。

日本人はるかな旅 日本人の源流展をみて 歴史の流れと今を行き来しつつ
2001.10. 10.夜 暗闇を突っ走る東北新幹線の中で

関東で 思いつくままに 2001

13. 関東・柏で『京都うまいもの市』 2001.11.12.



INODA の珈琲

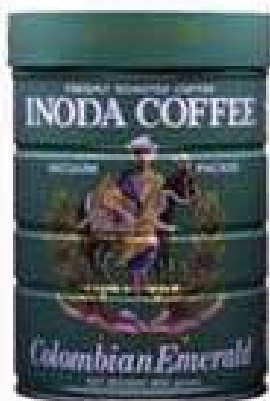


かぎや政秋 ときわぎと黄檗



錦市場 だし巻き

11月12日(日) 柏駅と高島屋をつなぐ2階コンコース広場の特設舞台で「舞妓さん」が踊っている。柏で京都を意識する事など無いのに珍しい事と立ち止まってしまう。柏高島屋の「京都物産市」のPRらしい。また いつもの「うまいもの市か？」と思いつつも京都は特別やっぱり足が向いてしまいました。



INODA コーヒー

河原町の「INODA」コーヒー店。

京都の家内の実家に行くといつも兄が買ってきてくれた赤い缶に入った挽きたてのコーヒー。

京都人にはおなじみのコーヒー豆店で、昭和初期から京都にある珈琲豆の老舗。

神戸人の「UCC 上島コーヒー」みたいな特別の感覚。神戸では1年分豆予約して少しづつ挽いてもらっている御仁もいますが、京都人にとっても同じ感じの店が「INODA」。

うまいもの市で伝統ある和風の老舗にまじってコーヒー豆店があるなどいかにも京都気質。

家内などはコーヒーは「INODA」と・・・。

先日も京都駅の地下に「INODA」の店があるのですが、

満員でほかにも喫茶店あるのに「待って 飲もう」という・・・。柏物産展ではコーヒー豆だけでなくついぞ見た事ない「フリーズド ドライのインスタントコーヒー」を売っていました。

老舗もどんどん換わってゆく現実。でも関東やから・・・？

コーヒーの味わからん私ですが、その香りと味 やっぱりうまかったです。

百万遍の角の和菓子屋「かぎや政秋」の「黄檗」。くずを固めたものをきな粉でまぶして三角形に切った和菓子で確か茶席に使われるかと思っておりますが・・・上品なお菓子。

学生時代には最も縁遠いお菓子ですが、老舗の有名な和菓子と聞き、「手みやげ」によく買って「珍しいもの」と好評だった和菓子。 柏で出会えるとは本当に意外で、やっぱり買いました。

子供の時から好きでいつもお袋が焼いてくれた懐かしい「だし巻き卵(厚焼き)」。今は家内が柏に来ると帰り際につくりだめしてくれるのですが・・・錦市場の「だし巻き」もありました。

東京の甘くて硬い厚焼き玉子とはちょっと違って だしで卵を伸ばして非常にやわらかく焼くので、食べると口の中でほんわかとだしと卵の味が調和する絶品。

だし巻きは関西ではスーパーにでもあるのですが、なぜか東京にはなし。こんなうまいもの・・・と思うのですが。

ついでながら 鹿児島島の古い城下町「飴肥」にも「厚焼き玉子」が名物として売られていましたが、これはまた 甘いプリンかカステラみたいなもの。 関西人しか「だしまきたまご」の味わからんのかも・・・大安の千枚漬や土井の芝漬もありました。



百万遍 かぎや政秋の
「ときわぎ」(奥)と「黄檗」(手前)



錦市場のだし巻き

日本人は「駅弁大会」「美味しい物市」というと大好きで一番のイベントとよく聞きますが、僕もこれにはめられた一人なのか、今日は色々買って ご機嫌。

だんだん 「くいじ」がはってきたというか やっぱり懐かしいものが、一杯あってついつい色々買ってしまいました。

でも、物産展の人ごみの中 あれこれ会話しながら試食も出来るし、当時の事が本当にリアルタイムによみがえって、気分的にはウキウキ、懐かしい限りです。

単身の気ままな夜 此れをさかなに一人酒を飲む。 「息抜き 息抜き」です。

柏高島屋 「京都うまいもの市」の人ごみの中で

2001.101.12. By M.Nakanishi

14. 東京「珈琲の老舗」の「Aging 珈琲」2002.2.18.

東京 虎ノ門 コクテール堂



以前 京都の「INODA 珈琲」神戸の「上島珈琲」など関西の珈琲通のこだわりの珈琲を紹介しましたが、『東京にだって「虎ノ門」に伝統のうまい珈琲屋がある』と友人から聞いた。1月の雑誌「サライ」にそのこだわりの珈琲店 虎ノ門「熟成珈琲の Cocktail-Do」と紹介されていました。

Cocktail-Do 堂の珈琲は豆を積んだ後 約 900 日 aging 熟成した後で焙煎する「熟成珈琲」。aging する事でほかの珈琲にはない「まるやかさと甘味」がでて、その美味しさに病み付きになると・・・。



こ

2月14日の午後 東京へ出た帰りに「虎ノ門 コクテール堂」を探し当てて珈琲を飲んで帰りました。虎ノ門の交差点から少し新橋よりに戻った桜田通りにありました。お店は満員でしたが、神戸の「西村」や百万遍「進々堂」等に似た清楚で落ち着いた雰囲気の中で飲む珈琲。珈琲の味はわからないのですが、「うまい」と思いました。

東京にも「老舗の珈琲あり」です。

早速一缶買って帰り、神戸の妹夫婦と一緒に飲みましたが「ちょっとソフトやけどうまい」といってました。

熟練の技には常識をも覆すすごい力がある事をこの珈琲でも見ました。

先入観もあかん事も含めて・・・

『Cocktail-Do 堂の珈琲』そんなのもう知っているといわれそうですが、東京で興味のある人一度ご賞味あれ。

後日談ですが、ご満悦で「Cocktail-Do 堂のコーヒー」を神戸に買って帰ったのですが、一緒に入っていたパンフには 京都の家内の実家へ行く時に乗り降りする地下鉄「北大路駅のビブレ 1F」に珈琲直営店があると書いてあり。

「知らなんだ 知らなんだ」です。こっちは今度京都に帰ったら行って来なければ・・・。

今まで、珈琲談義も本当にうらやましく聞いていましたが、今度からは一つ話に加われそう。でも私はコーヒーの味は解らず。ただ 珈琲のブーンとおうあの香りそれが好き

15. 縄文の土器が語る「物づくりの技」とプロの眼 2002.9.6.

－ 縄文人と弥生渡来人の交流・コミュニケーションを解き明かした縄文土器の技 －



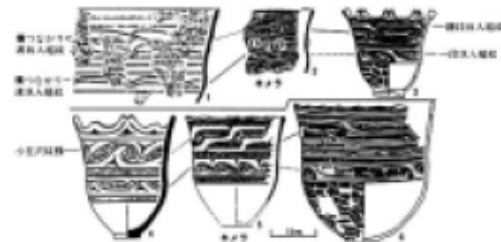
「有形・無形 100 を越える「質」の技術の集積で
 プロ・工人はそれを五感を通して体得している」
 製作された物のにそれが技術として表れ、プロはそれを見抜く。
 それを見抜く者のみが技術伝承者となりうる。

「物づくり技術」の荒廃と理解が叫ばれる昨今
 づくりの技」をそんな風 思っています。

9.6. 東京縄文塾で「縄文人のコミュニケーション」と題して小林青樹氏の話聞いた。
 縄文土器の形状・描かれた文様などをプロの眼を通して正確に見て分類してゆくことにより、文字のない縄文時代の人の交流ネットワーク・経路 さらには 社会の構造が解き明かされたという。



亀ヶ岡遺跡から出土した縄文晩期の土器



縄文土器の複雑な文様

- 縄文晩期には 集落間には強い結びつきをもった集落交流が活発にあり、
- 糸魚川産ヒスイの加工基地には東北・長野の縄文人が直接やってきて加工を行い、その技術が東国の縄文人に広がっていった。
- 弥生の時代への黎明期 縄文人が弥生の渡来人を警戒し、日本東西の交流路が一時途絶えた。
 また、その後 猛烈に 新しい渡来人の文化を取り入れようと渡来の民に東国の縄文人がアタックしていた。
- はたまた、渡来の民も逆に縄文人の文化を取り入れ、融合していった
 等々。

さっと言われると「ほんとかいな・・・見てきたよううそ???'とにわかには信じがたい。

さっと言われると「ほんとかいな・・・見てきたよううそ???'とにわかには信じがたい。

縄文から弥生の時代への移行期 原日本人である縄文人に代わって渡来の民を中心に西から順次東へ弥生の民が勢力を広げていったのが日本人のルーツ。

「その過程では新しい渡来の民である弥生人が縄文人を戦争によって駆逐していったのではないらしい。両者の融合によって時代が進み、日本人が形成された。」

とよく言われ、神話の世界でもやたらに融和の話が多い。

でも、その中身になると全くよく判らず、最近のDNA 調査などの証拠以外に説得力のある話を聞いたことがなかった。ましてや、「縄文人が弥生の民にアタックし、交流してゆく様子がわかる」等 夢見たいな事と思っていましたが、小林氏の話聞いて 「う・・・ん」とうなっていました。

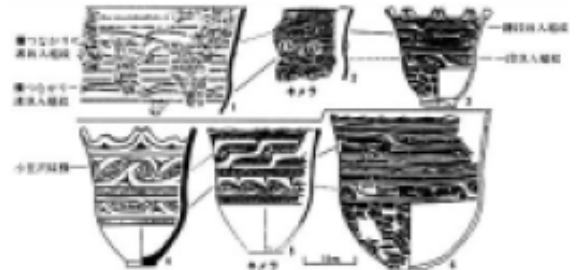
縄文晩期 紀元前1000年～紀元前100年頃 弥生時代到来夜明け前の縄文時代 日本には大きくわけると亀ヶ岡土器を持つ東北・東国の縄文文化圏と日本磨研土器・突帯文土器という無文様・磨きを特徴とする西日本文化圏があり、この両文化圏の交流を含め、日本では活発な交流が行われていた事が出土する縄文土器の破片の精査から判ってきたという。

縄文晩期 東と西に広がる二大文化圏

【1. 北から長野・北陸にかけての東日本亀ヶ岡土器縄文文化圏】



亀ヶ岡遺跡から出土した縄文晩期の土器



縄文土器の複雑な文様

【2. 九州・中国・近畿に広がる西日本無文土器縄文文化圏】



黒色磨研土器の一例 大石遺跡



突帯文土器の破片 岡山大構内遺跡

「良い物をまねる」というのはいつの時代であっても同じであり、縄文時代 亀ヶ岡土器の文化圏内でもそれぞれの集団がよい土器を真似、求めて集落間の交流があったことは容易に推定がつく。

でも文字のない時代 見聞きだけでその技術を忠実に真似ることが、出来ようか?????

人が動き、コミュニケーション・コンタクトしてその製作をみんなに見せつつ 教えなければ 正確には伝わらぬ。

「人が動いて コミュニケーションがなければ もの真似だけでは忠実な土器製作の伝承はなされない。土器に残された土器製作の技 そして その技の稚拙さまでも含めて精査して出土場所・時代をつないで行けば人の動き・コミュニケーション そして 社会の構造が見えてくる。そしてそれらをつないで行くと前述した縄文人集団の中のコミュニケーションや縄文人と渡来人とのコミュニケーションまでもが浮かび上がってくる」と小林青樹氏はいう。

縄文土器を代表する亀ヶ岡土器などには「縄文芸術」と呼ばれるほど複雑で繊細な縄文の文様やつけられており、これらの文様や形などを手がかりに縄文土器製作に使われた技術・実際には土器の特徴的な表情を分けると 100 数十を越える項目になり、到底見聞きによる物まねのみではまねられない。

そこには確実に人の交流があったと考えるのが自然である。

そして その特徴伝播の稚拙さによって 交流の深さがわかる。

出土した場所とその特徴一つ一つをを重ねて行けば、人がやってきて出土した場所での交流を計ることが出来、今では土器の破片からどの遺跡とつながった土器か 繋がり深さまでもが判る。

また 作られた時代も判定がつき、青森津軽半島や八戸など東北で生まれ、縄文中期から晩期にかけて隆盛を極めた亀ヶ岡土器の文化圏がどのように西へ広がっていったか?

等々が手にとるように判ってきたと。

そして この土器の文様を手がかりに分類体系化する中で、無文の磨研土器・突帯文土器の文化圏の集落で特異的に東国の亀ヶ岡土器が混じって出土する例 時には大量に混在する例もが沢山見つかった。

同じ土器分類を有する集落ネットワークを調べ、つなぐ事で交流の歴史が解き明かされ、そして 前述した渡来人と縄文人や異文化圏交流のルートなどまで色々なことも明らかになってきた。

ここまで 謎解きされると段々わかってくる。もう 夢中で話を聞いていた。

本当にあざやかな素晴らしいアプローチだと思う。

「ほんとかいな・・・」と思っていた事が、謎解きされるとビックリするほど新鮮で・・・納得でした。

「縄文土器の破片集めたって・・・」と思っていましたが、さすがその道のプロ。視点が違う。

「現物を集めて その中に秘められた特徴を探し見る。そして そのルーツを探る。」

これ、まさに技術屋 物づくりの世界と全く同じ。 技術開発 技術解析の世界の現実と同じである。

兆候を見抜く眼がなければ 体系化も分類も出来ない。

それが解き明かされると「だれだって できるさ・・・」の聲がでてきそうであるが、先人の眼がなければ 出来ない世界。先人のプロの眼があってこそ出来る技である。

見抜ける眼と表裏一体なのが、その眼にとまった「物づくりの技」
縄文人が何千年かけて 模様や形そして材料に五感を駆使して作りこんだ技 決して物まね・見ただけ
では出来なかった技である。 だからこそ プロの眼でしか解き明かせなかったと思う。
縄文土器の分類にはそういった 100 を越える物づくりの技を対象に分類しているという。

現代の「物づくり」の業だってそうだろう。

簡単なまねは出来ても、実際に人が接しその製作の過程について 人の交流なしでは伝えきれぬ人の技。
物づくりの技術 名人芸と呼ばれなくてもそこに秘められた工人が持つノウハウ技術をどのようにして
伝えるのか・・・。

今 「物づくり技術」を大切に の言葉をよく聞くが、この事が理解されていないのではないか。

形は伝えられてもその質は人が人と交流しない限り伝えられぬ。

これは 縄文の昔から同じであり、その伝承・人と人の交流が新しい発見を産んでゆく。

技術を持ち 現場で物づくりを実践してきた人がどんどん消えている。コンピューター万能・
機械万能が今問い直されている。「質」を伝える技術の習得が今 必要となっている。

現在 無人化工場がもてはやされ、効率的な物作りの中で質へのこだわりがわすれられていない
か・・・・・・・・。

2~3 世代も変わらなくても、機械を動かすマニュアルはあっても もはや質を見る技術はなし 物まね
製品しか作れない そんな時代がもう眼前。質を見る眼は中国・韓国などアジアの若い物づくり大国に
ゆだねばならないのか・・・

昔 同じ立場にあった日本が今物が作れぬ逆転の危機に・・・・・・・・

欧米はその危機を克服したではないか・・・・・・・・の声もある。でも 今の日本はこの事にあまりにも
楽観的過ぎる・・・・・・・・

欧米では 物づくりの中に流れる思想を大事にし、手段・テクニックよりも流れ・思想 いわゆる流儀
を大事にする。 ISO のこだわりを見るとこの点がよく判る。

急速な転換・効率化を急ぐあまりこの点が日本では抜けているのではないか・・・・・・・・。

現場の荒廃・形骸化 物づくり技術の重要性が叫ばれる中 その中身の理解の貧困さにはがっかりして
いる昨今である。

技術の伝承・新しい技術創生には この名人芸・見抜く眼が必須であり、現場でしかこの技術は生まれ
ない。

縄文の技術・プロの物づくり技術を今プロの眼が解き明かす。 2000 年を経て・・・・・・・・。

鮮やか・・・と驚いてばかりはいられない。伝承が途切れた時のこの時間の長さ・・・。

以前聞いた昆虫・蛆虫のさなぎを見るプロの眼が解き明かした三内丸山遺跡集落の人の暮らし。

その時も同じ感激をあげたのですが、そんな事を思いながら小林氏の「縄文のコミュニケーション
の話」を眼を輝かして聞いていました。

日本の物づくり技術 また プロの眼をどのようにして育てるのか?????????

「物」を作る技術から「質」を作り「質」を理解する技術なしに先端技術・物づくりの再生は成し遂げ
られぬ。今一度 じっくり 縄文の土器を眺めてみようと思っている。

2002. 9.6. 縄文塾 東京

小林青樹氏 「縄文のコミュニケーション」 の話をきいて

16. 癒しの由来 2002.10.28.

今日の雑学+(プラス) マーケティング情報誌 小橋昭彦 より (抜粋)

インターネット配信 マガジンに 「癒しの由来」と題して 人を惹きつける「黄金分割」「フィボナッチ数列」の話が配信されてきました

これも マンネリの作り出す心地よさの所以か・・・ 抜粋概要転記します

今日の雑学+(プラス) マーケティング情報誌 小橋昭彦 より (抜粋)

癒しの由来

龍安寺の石庭が人の心をひきつける秘密は「木」にあるという研究発表を興味深く読む。石庭を見るとき、人は脳裏に石の間を縫うようにして伸びる木の枝を思い描いているのだという。

左右対称に伸びた枝は、もっともよい鑑賞位置とされている箇所では一本の幹になる。

研究チームの一員、京都大学の江島義道教授によると、落ち着く空間には5つの法則があるという。

「対称性」「距離感」「動き」「バランス」「子ども時代の慣れ」だ。

こたつに入ると落ち着くのは、まさにこれかなと連想する。

部屋の中央に置かれるから対称性を実感するし、立ったときより天井や壁との距離感が出る。寒い日 常から座ってぬくもるわけだから生活のバランスがとれるし、子ども時代の郷愁もある。動きはないけれど、たいていは別の辺に誰かが入っていて、みかんを食べたり縫い物をしたりして、動いている。

フィボナッチ数列というのがある。1、1、2、3、5、8、13、21、34と続く。

5と8を足して13というように、隣り合う数字を足して次にくる数字を作る。

数学の時間に松ぼっくりのかさを数えたりしただろうか。右回りに8個ずつ、左回りに5個ずつのらせん状に組み合わせさせている。

花の花弁の数、ひまわりの種のつき方、巻貝のまき方など、フィボナッチ数列は自然界にしばしば見られる。

さて、フィボナッチ数列といえば黄金分割。

数列の隣り合う数字を割り算する。13を8で割ると1.625、21を13で割ると1.615。どこをとっても似たような数字になる。

すなわちこれ、黄金比。

比率が1対1.618になっている長方形はもっとも調和がとれているとされ、ミロのヴィーナスをはじめ芸術品にも見られると言われる。黄金分割は、自然の中にフィボナッチ数列として隠れているともいえる。

石庭に木を幻視し、美術品に自然を見る。

それらが癒しを与えてくれるとするならば、きっとぼくたちの根っこがどこにあるのかを教えてくださいたいのだらう。

2002.10.28. 配信

今日の雑学+(プラス) マーケティング情報誌 小橋昭彦 より (抜粋)

17. 映画「阿弥陀堂だより」を観て 2002.10.27.



10.27. 日曜日 午後 柏で時間が空いたので 星野富弘さんの詩画展を観て、それから 映画「阿弥陀堂だより」を見ました。 すごく美しい映画で 気分もゆったり お奨め

映画は日本の映画独特のちょっとネチネチとしたいやし系

ぼくはどちらかというと好きなのですが、「雨あがる」の黒沢組スタッフの製作した映画

日本の原風景 長野県飯山・妙高の山々に囲まれた山郷の四季が千曲川越しに次々と写されて その美しい風景をバックに年老いた老婆役の北林谷枝を通じて、静かに語られる「生きるの言葉」に見入っていました。

星野富弘さんの足尾・渡良瀬の野草を通じて語られる言葉といい、映画の中で、自然に囲まれて生きる人々を通じて語られる言葉といい 現代人が忙しさの中に思考をとめてしまったもの、この原作者の南木佳士氏が言う「マンネリに体をゆだねる 心地よさ」なのかも知れぬ。

星野富弘さんの詩画展を見て 阿弥陀堂だよりの映画

どっちも 力はありませんが 静かな中で ゆったりとした気分 ころろの洗濯です。

阿弥陀堂だより 概要 <http://www.amidado.com/> より

心の病がきっかけで、夫の孝夫（寺尾聡）と共に彼の故郷である信州の山間にある村に診療医としてやってきた美智子（樋口可南子）。

そこで2人は死者がまつられた阿弥陀堂に暮らす96歳のおうめなど、町の人々との触れあいの中で、質素に生きる喜びを知り、人生について再確認するのだった…。

「外見・姿はその人の内面・心を表わす」

「質素なものばかり食べていたのが長寿につながったのなら、
貧乏なことはありがたいことです」

と語る老女。

長野県飯山市を始めとした奥信濃の美しい四季を共に、そこで暮らす老女の生きざまをインタビュー形式で語らせ、阿弥陀堂だよりとして観客に伝える。老女を演ずるのは私の好きな90才を越えた北林谷栄さん

「質素なものばかり食べていたのが長寿につながったのなら、貧乏なことはありがたいことです」と語る老女の生き生きした顔は 今日 教会で説教を聴き・黙想した「貧しいものは幸いである」の言葉と同じではないか・・・・

信州 千曲川越しに観る妙高の美しい四季の自然の美しさに載せて語られる言葉にはおもわず息を呑む。演じているのがくぼくの最も好きな女優さんの一人である北林谷江さんである事をさっぴいても・・・



長野県飯山 頸城アルプス 妙高山 夏 & 冬

実は映画見に行った時は知らなかったのですが、「阿弥陀堂だより」の著者南木 佳士さんは農民地域医療の先駆けとなった長野県臼田町佐久総合病院の内科医長さん。

学生時代に医学部の人から佐久にすごい病院があると聞いた記憶があり、「人のつながりと心を大切にする」佐久総合病院の地域医療についてはNHK「プロジェクト X」にも取り上げられた。

「人を大切に」につながる人の流れ。

「佐久」と「飯山・妙高」自然と人の暖かさが重ねられ 合い通じる「阿弥陀堂だより」の映画

今春 たたらを訪ねて訪れた佐久平 佐久町の「茂来山」。

この佐久町の隣町が佐久総合病院のある臼田町。また、佐久町の千曲川のほとりには縄文の大集落遺跡がある。縄文からつづく「心の暖かさ」と佐久の暖かい四季の移ろいが佐久をつくったのか・・・・ 妙高の景色の中の阿弥陀堂のイメージはこの佐久にあったのか・・・・と自分で勝手に納得している。

阿弥陀堂だよりの著者 南木佳士氏は「阿弥陀堂だより」を書いた時の心境についてかれた文をインターネットでみつけた。

日帰り登山で下山するとき、急な登りであえいでいた余裕なき己の姿を鮮明に思い出すが、笑う気にはなれない。それに似た感情をあこのころの自分に対して抱く。人生の山を登りきる直前の苦しさだったのかもしれない。

だから、いまは肩の力を抜いてゆっくり景色を見ながら下ってゆく心地よさを何よりも大切にしたい。

それを支えるのはマンネリを好むからだの声に逆らわずに暮らすことなのだと五十歳になってようやく気づいた。

ほんとうにそんな心境で「肩肘はらずに 無理せず 自然のままに 頑張らずに生き活きと……」と呪文のように唱えるのだが、中々うまく行かない日常。

時々 こころの洗濯をして あるがままに……でも 少しは行動的でありたい。

2002.10.27. 夜 by M. Nakanishi
星野富弘さんの詩画・映画「阿弥陀堂だより」を観たあとで

18. Merry Christmas !!

関東で 思いつくままに 2002

2002年 柏でのクリスマス 2002.12.24.



日本聖公会 柏聖アンデレ教会 2002.12.24.

師走 今年はずいぶん寒い日が続く、街には華やかなクリスマス イルミネーションが輝いています。でも、なんか うつろろで 全く師走・クリスマス シーズンの感じがしません。年々 感激性が薄れて行くのは歳の性でしょうか

今年のクリスマス テーマ は「愛」の中に 「和解」「平和」そして「希望」を託す
街の華やかさとは裏腹に デフレ不況とリストラの波はもう 産業構造を根底から変えないと収まらぬ
ところまで来て、地球規模での環境問題の深刻化 世界戦争の危機等 知らず知らずのうちに自分の身
にまでそれらが及んできています。

もう 現状維持型の将来の夢など追えない時代 団塊の世代が作り上げた時代は脆くも根底から遷り変
わる運命。

技術・産業の時代から 知識・情報の時代へ 団塊の世代に 何か 智慧はないのか・・・・・・
素材産業である鉄鋼の技術屋として40年。 日の出の勢いで「産業の米」として日本を支えた重厚長大
の素材産業の蓄積はなんだったんだろうと思う事が多いこのごろです。

柏で迎える4度目のクリスマス。

この夜、みんなと一緒に 世界中で求められている「和解・平和・希望」の祈りを捧げ、その後 北柏
の街へキャロリング。



北柏の街で 2002.12.24. 夜
日本聖公会 柏聖アンデレ教会 メンバーで キャロリング





アメリカ ワシントン DC の クリスマス
息子のクリスマス カードより.



私は来年 還暦 新しい未来に自分も・・・と思いながらのクリスマス。
家内は神戸で 娘一家は箕面で・・・。
また、アメリカ アトランタにいる息子が、ワシントン DC で
クリスマス イヴ を迎えたと言ってくれました。
みんな それぞれの場所で 思いはひとつ
「平和」が世界に満ち満ちますように

2002.12.24.夜 by M. Nakanishi

関東で 思いつくままに 2003

19. 暖かい冬の週末 柏 ひだまり Walk 2003.1.26. & 2.1.



筑波 牡丹園



牛久 神谷シャトー



流山 利根運河

今 家内が 柏の整理に神戸から来て来ています
寒い朝 ぎりぎりまで寝ていて 朝飯が出来ていのに感謝しています
暖かい快晴の週末 社宅にいるのがもったいなくて近くを Walk

1. 26. 柏の北の街 牛久にある 筑波 牡丹園の寒牡丹を見て 近代産業遺産の一つと称される明治の洋館 神谷シャトーに出かけました
牛久の西の端 筑波市との境に牡丹園があり、冬の牡丹で有名冬になると JR 柏駅に大きな宣伝の看板がでる。冬牡丹のシーズンオープンとの新聞。
又、牛久駅の近くの林の中にある神谷シャトー。「日本で最初に葡萄酒製造した日本近代産業遺産の建築物の中でゆったりとした雰囲気でお昼を楽しめる」と本に出ている。

最近のワイン城は各地に出来てはいももの産業遺産としてのワイン醸造工場が残っている。
この二つをつないで 1.26. 日曜日の午後 ゆっくりと牛久ですごしました。

2. 1. 利根川と江戸川をつなぐ利根運河の土手を歩きました。

丁度 銚子の河口から 100km〔正確には 96.5km〕のところ柏と野田市の境のところから横へ江戸川まで
明治に掘られた利根運河 利根川流域から東京への物資輸送の大動脈
京都に琵琶湖疎水とインクラインがありますが、この利根運河も日本近代化の 1 ページ
今は 運河沿いに美しい桜並木が並ぶよく整備された自然公園

1. 冬 牡 丹 2003.1.26 筑波 牡丹園で



静かな林の中 ひとつひとつ わら帽子をかぶせてもらって 女王の品格と美しさ
大輪の冬牡丹 豪華で あでやか
「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」

昔から美人を表現するのに使われた花。また そのあでやかさは 背中の刺青 そして 花札に
大輪の花一つで 画面いっぱい パツとはなやかになる。 昔から愛された所以であろう。



筑波牡丹園 冬牡丹 ギャラリー 2003.1.26.



筑波牡丹園 冬牡丹 ギャラリー 2003.1.26.

1輪で全体を主張する寒牡丹 すごいですね

大輪の花が今を盛りと咲き誇っている春の牡丹もいいですが、ひとつひとつ 大事に帽子をかぶせてもらっているのもそれぞれが個性を發揮していて楽しい。

牡丹もその系統もが幾つもあって 一つとして同じものがこの牡丹園には植えられていない。園の人によると種類は五万とあるという。

ふっと頭に浮かぶのは 花菖蒲・朝顔など日本古来種の品種改良の歴史がこの花にもあのだろう。

静かな田園に囲まれた岡の斜面の林の中にひとつひとつ我が家を持って咲く 寒牡丹

久しぶりにゆったりと花を見ながらの陽だまりの散策 デジカメ写真も楽しく 家内とスライドショーにして楽しんでいます。

2. 日本の葡萄酒 発祥の地 牛久 神谷シャトーで 2003.1.26.



僕が小さい頃にはまだ 蜂印の葡萄酒ありました。

その蜂印葡萄酒の醸造場を中心とした洋館立ての工場が柏市の隣牛久市に牛久神谷シャトーという名の美しい洋館として残っていると言う。近代産業遺産としての価値の高い建物である。

最近の地ビールや地ワインの工場など最初から観光目的の建物と違って やっぱり歴史の重みがある美しい建物である。広い庭の木立の間に立つレンガ造りの洋館はやっぱりシャトーの風格



神谷伝伝兵衛 記念館 旧蜂印葡萄酒 貯蔵蔵

「ゆっくり ワインを飲みながら料理を味わって」と思っていたのですが、残念ながら結婚式の貸切今日ではダメ。でも この洋館の中でのティも素晴らしいもまのでした
気取らず 金儲け主義でもない ゆったりとした雰囲気の中で日曜日の午後 家内と二人 お茶して帰りました

蛇足ながら 珈琲カップや ケーキ皿 全て ナルミのボンチャイナ

洋館の高い柱 天上のシャンデリアとマッチして 豊かな気分にしてくれ ご機嫌でした。



天井のシャンデリアには蜂の図案
ナルミ ボンチャイナ の ティーカップ にも出会って
ステキな午後のひとときでした

3. 利根川土手から 流山 利根運河 WAIk 2003.2.1



柏 利根川土手 土手の向こう正面に筑波山 2003.3.1.

柏・野田・流山の境はずれ 東武野田線に「運河」という駅がある。
「運河」というとどんなイメージ 持ちますか・・・
家内はスエズやパナマ運河をイメージがするという。

私は尼崎に住んだせいか港に
近いいかだに組まれた材
木置き場やはしけ溜まりがあ
る濁った川のイメージ



利根川と江戸川を結ぶ利根運河

東武「運河」駅周辺ではあまり広くない川の土手には桜並木が続き、よく整備された河川公園川にそって広がっている。川にそって東京理科大のキャンパスや整然とした住宅街がひろがり、美しい高級住宅街の感。

なんでこんな美しい場所に「運河」なんていう地名つけるのか 僕にとっては 常々不思議なのですが、やっぱり住んでいた尼崎の印象がよすぎるのか……………。

柏から利根川の土手に出て 利根川越しに筑波山を見て万がよければ 振り返った南の遠くに白銀輝く富士山。 利根川の土手をゆったり北へ歩くと上記した利根運河の利根川口に至る。

銚子の利根川河口から丁度 100km の地点である。

ここから 西へ江戸川までをつなぐのが、明治に利根川流域の物資を東京へ最短コースで結ぶ輸送路として民間で掘削開通された利根運河。そういう意味ではこの利根運河も近代産業遺産。



利根川土手 柏周辺と銚子から 95km の標識



この柏・野田の北 関宿から江戸川が分流され、利根川を通過して関宿で江戸川にでて江戸・東京へ出る航路は関東の物資輸送の幹線であり、野田はその物資集散地として栄えたと言う。しかし、暴れ川利根川の中流に属するこのあたりでは 昔から水路がしばしば変わり、又浅瀬の出現が航路を阻む。利根川の下流域の物資はしばしば

柏から陸路で流山の江戸川へパイプカットされることも多く、利根運河の必要性が昔からあったという。明治になって 幾度となく 利根川と江戸川をつなぐ運河の計画の挫折を経て 明治 23 年にこの利根運河が完成し、鉄道網が展開するまで 物資輸送の幹線として 多くの船が出入りしたと言う。

そんな歴史を秘めた利根運河ではあるが 今は遊歩道・サイクリング道路が整備され、周辺の市民の憩いの場。

断片的には知っていたのですが、僕にとっては「運河」の言葉はさほど良いイメージなく、きっちり歩いた事なし。



根運河入口 遠景は建設中の筑波エクスプレス

そんなことで 2.1.土曜日 柏花野井の家から 利根川沿いを歩いて 利根運河の利根川口へ そして運河沿いにぶらぶら 東武「運河」の河川公園まで歩き、そのまま運河を離れ、深井の里を抜け 工業団地の横を花野井へ

ほぼ 昼をはさんで 5 時間 約 16km 野鳥の声を聞きながら 川岸や雑木林の中を気持ちの良い walk 今 柏の利根川周辺は平成 17 年を目指した常磐エクスプレスの新線工事が真っ最中。瞬く間に橋脚が建

ち並びました。

この利根川岸には柏北部駅が出来ると言う。

「どこまでも続く原っぱと利根川の土手 そして その向こうに頭をのぞかせる筑波山」の景観ももうまもなく 駅と住宅街の中に埋もれてしまうでしょう。



運河の川底はポカポカ陽気 ひゅんひゅん風が舞う利根川土手とは大きく様変わり。 だれもない土手下 芦原と川の流れと鳥の声
時折 土手をサイクリングする人の声 自然浴 自然浴
利根運河 河原で



根運河 東武「運河」駅 近傍

「運河」等と呼ばず、もっと良い名前ないのでしょうか・・・・・・

もう 僕の頭にある「運河」のイメージとこの「利根運河」は全くべつ。

よく整備されているはいえ 自然一杯の Walking Road

これで 富士山見えたら最高なのですが、今日はダメでした。

2003. 2. 5. by M. Nakanishi

四季折々 1999-2002

■ 四季折々 *Mutsu* 1999-2002

■ 四季折々 関東・神戸で 思いっくまに 2001.3-2003.2 3.2

■ 四季折々 関東・神戸で 思いっくまに 2001.3-2003.2 3.2

四季折々 神戸で 思いっくまに 2001.3-2003.2

神戸で 思いっくまに 2000.1-2003.2

1. 尼崎城 2000.1.15.
2. 兵庫県加西市 兵庫県フラワーセンター 1999.1.23.
3. 英国映画『プラス』鑑賞 【威風堂々】 1997.12.29.
4. 「威風堂々」テレビコメディ「合い言葉は勇氣」 2000.11.1
5. 阪神・淡路大震災復興記念聖堂
日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会 献堂式 1999.6.1.
6. 映画『スペースカーボーイ』をみました 2000.12.2.
7. 2001年神戸 春の花 2001.4.2.
8. 『ひまわりの夏』 2001.8.3.
9. この夏 異変 2001.8.3.
10. 『光のプログラム』クロモリット Kobe 2001 2001.8.16
11. 2002年 冬 点景 2002.2.9.
12. 『春到来 2002 -神戸 自宅庭に咲いた春の草花-』 2002.3.17.
13. 6月から7月 梅雨の合間に 神戸にて 2002.7.20.
14. 梅雨の晴れ間 久しぶりに花菖蒲 須磨離宮へ 2002.6.16.
15. 中島潔 童画展「金子みすず -まなざし-」を見る 2003.1.4.

1. 尼崎城 2000.1.15.

尼崎のお城って どんな姿だったか 知っていますか？

1. 六甲の山々を背にした「尼崎城」
2. 歴史に見る尼崎市域の地名

1.1. 六甲の山々を背にした「尼崎城」



江戸時代 西国絵図 千葉県佐倉市歴史民俗博物館で

私の故郷 尼崎には、江戸時代 大阪の西の要として 4層の天守閣とそれに連なる3櫓を持つ美しいお城があった。

もう随分古い話になるが、司馬遼太郎氏の歴史文化講演で、「江戸時代の尼崎の位置付けと尼崎城」の話聞いたことがある。

それまで、大阪近郊の小藩でそれほど気にもとめていなかったが、おもしろい戦国の話と共に尼崎の位置・尼崎城の重要性を聞き、尼崎城に非常に興味をもったのを覚えている。

大垣城と同じくめずらしい4層構造の天守閣をもち 天守閣に連立して3櫓を持つ美しい構造の城。

明治の廃藩置県でこの美しい城も取り壊されてしまった。

小さい時から 尼崎の歴史として習い、何度か尼崎城の模型が展示されているのは見たことがありましたが、お城の天守閣の模型だけでは、熱っぽく司馬遼太郎氏の語る『4層連立3櫓の美しい城』のイメージからは程遠いもの。

阪神尼崎駅の南 庄下川の東岸 城内小学校のある位置が尼崎城の跡地ですが、殆どおもかげは無く、むしろ城下町の面影は数々の文化財がある本興寺・壬生狂言の大覚寺そして名前は忘れたが「秀吉が味噌すり鉢を被って 難を逃れた」寺など尼崎城築城と同時に作られた寺町界隈にその面影が色濃く残っています。

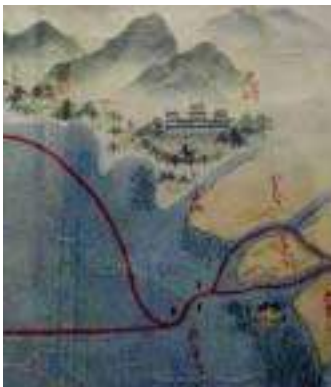
一度見たいものだと思いつつ、もう忘れかけていましたが、思いがけない所で「尼崎城」の姿をみることが出来ました。

1月8日 千葉県佐倉市にある『国立歴史民俗博物館』を久しぶりに訪問。

近世江戸時代の大坂から西国を示した展示絵図にはっきりと尼崎城が描かれているのを見つけました。大坂から西国への道程を描いた絵図の中に、前面に大阪湾 後ろに六甲の山々を配して、堂々と4層3櫓の尼崎城が描かれていました。



江戸時代 西国絵図 千葉県佐倉市歴史民俗博物館で




尼崎城の姿



大阪城と大阪湾 海路



大阪城

庄下川岸 中央図書館(尼崎城石垣模擬)	尼崎藩主を祭る桜井神社	尼崎城跡
 <p>旧の尼崎城の近傍に立つ中央図書館と庄下川岸の石垣 最近、庄下川の整備に合わせ、尼崎城を模した石垣を配して立てられた。</p>	 <p>尼崎の中心が北に移り、今はほんとに静かな地になった城内地区に建つ、桜井神社</p>	 <p>尼崎城跡に建つ石碑</p>

【尼崎の歴史に見る尼崎市域の地名】 インターネット web site 資料より

尼崎市域に人間が住みついたのは紀元前後、弥生時代である。猪名川流域の田能遺跡や庄下川に近い上ノ島遺跡は、当時の遺跡です。

4世紀末、古墳時代になると、市域にも豪族があらわれ、幾つもの古墳が築かれたが、開発によりいまでは水堂・南 清水・御園にそのなごりをとどめている。

また、猪名・坂部・久々知などの地名は、古代の豪族の名を今に伝えています。

7世紀の白鳳時代 古代豪族によって猪名寺の地に法隆寺様式の堂々たる寺院が建てられた。(猪名寺廃寺)

奈良時代には、東大寺領の猪名荘、平安時代以降には、摂関家領の橘御園や春日社領の武庫荘など多くの荘園があった。

平安初期から神崎川河口の河尻には、京と西国の交通の中継地として重要な港があり、土佐日記などにも登場しています。

また、川尻の港のひとつである神崎は、淀川の江口と並ぶ歓楽の地としても有名で、神崎遊女の物語も生まれた。

猪名荘の地先にできた長洲荘の地（現在の長洲・金楽寺地区）には奈良時代から漁業を主とする住民が生活していたが、平安中期ごろには運輸・交易にも携わるようになり、瀬戸内海沿岸各地に進出した。

尼崎 地名の由来

鎌倉時代には京の外港として、漁民だけでなく、尼崎問丸（といまる）とよばれる海運業者・倉庫業者をはじめ、尼崎番匠（ばんしょう）や材木商などの商工業者が活躍するようになり、全国で指折りの都市となった。長洲荘は、全国的にも例の少ない港町をもつ荘園で、都市尼崎の出発点となった歴史的にも重要な地域です。

尼崎という地名も、長洲荘のなかの西南部に多くの漁民が住んでいたところから鎌倉時代に「海人崎（あまがさき）」と呼ばれるようになったのが始まり。

戦国時代の天文年間のはじめ（1533～36年）尼崎地域では一向一揆が盛んでした。

その一揆の中心となったのが大物御坊と塚口御坊です。

堺とならぶ商業都市・自治都市であった尼崎も、室町時代の中ごろから港がしたいに浅くなり、堺に繁栄を譲ります。

また、戦国時代にはいくたびも戦禍をこうむり、信長の支配下に置かれたこともあった。江戸時代に入って大阪が全国の流通の中心となると、尼崎は大阪の経済圏に含まれてしまった。

江戸時代の尼崎と尼崎城 築城の由来

1617年（元和3）幕府は尼崎に5万石の譜代大名戸田氏鉄（うじがね）を配置し、大阪の西の固めとして尼崎城を築かせました。

尼崎城は、四層の天守閣をもち、海と川を巧みに利用して設計された美しい城でした。築城と同時に城下町・寺町が建設され、町の中を中国街道が通っていました。

藩主は、戸田氏の後青山氏・松平氏と譜代大名が続きます。

尼崎藩は、東は神崎川から西は須磨まで、摂津国の川辺・武庫・菟原・八部の4郡を治めましたが現市域では6割の村々を領有したにすぎません。

大阪と接する重要な地域であるため、尼崎は、大阪城を中心に配置された幕府直轄領・旗本領・尼崎藩領などが複雑に入り組む地となった。

海岸地帯に次々と開発された新田をはじめ、農村では綿や菜種などの商品作物が盛んに作られました。米も酒米として商品化されています。綿作が盛んになり肥料の干鰯（ほしか）の需要が増えると、古代からの伝統をもつ漁業はいつそう盛んになり、尼崎漁民はイワシを求めて房総半島にまで出漁しています。

また、中在家町には魚市場ができ、遠く四国・九州からも魚が入荷し、生魚取引は活況をみせました。大勢の魚商人たちが大阪市内へ荷ない売りなどに出かけ、また、京都へも舟でたくさん出荷されました。

2. 兵庫県加西市 兵庫県フラワーセンタ・ 1999.1.23.



娘の結婚も無事すみ、ぽかぽかと暖かい午後ほっとして家内と二人久しぶりにフラワーセンターへ花を見に出かけた。

らんやブーゲンビリアが鮮やかな花をつけていました。花壇には春の準備。三色すみれが整然と植えられている。春には花壇一杯に色鮮やかな花をつけるでしょうが今はまだ隙間だらけ。きっと種から育てて植え替えられたものだ。以前にはここで多くの苗を買って帰り家に植えたものだ。

美祿で黒田さんに種からの育て方を教えてもらったので、今年は種から美祿で育てた苗が庭で育っている。バラや草花もまもなく咲き出すだろう。楽しみにしている。

下関のセンターもすばらしい温室があり、らんばかりでなく見事なサボテンが育てられている。

バラの時に一度行こうと行って行けなかったが、こちらもきれいなバラ園が整備中。

春にはまた、バラを見に行こうと思う。

1999.1.22. by M. Nakanishi

フラワーセンタ温室 1999.1.22.



January 1, 1999 by Mutsuo Nakanishi

3. 英国映画『ブラス』鑑賞 【威風堂々】1997.12.29

英国映画『ブラス』を家内と二人見る



昨年12月29日 美和ちゃんが大阪で『BURASS』という映画にいたく感激。是非見に行く事を進めてくれたので、二人で出かけた。

時間があったので、大阪梅田近傍の新しい街を歩いた。JR 東西線の開通と大阪北新地駅の開設と大きな地下街ができ、阪急・曽根崎の地下街から、大阪駅前・阪神の地下街 堂島地下街 西阪神地下街とその面積は大幅にひろがり、特にここ一年阪神から西阪神梅新への広がりは梅田の街の顔を

一変した。

一番爺臭かった阪神～梅新の街も大阪戸津改造ビルホテルシェラトン当新しい顔に更に JR 北新地駅へと続く地下街・

西阪神へと若者の新しい街に一変。歩いていて楽しい街に変貌した。



新しい大阪地下街 JR 東西線が開通し北新地駅が出来西梅田周辺は大きく変貌した

映画『BRUSS』はイギリス炭坑閉山にゆれる町のブラスバンドがイギリスを競うコンクールに勝ち残って行く物語で、職場の仲間もそして家族も失おうとしている中で ブラスの仲間までなくなろうとしている。そんな中でブラス演奏にかけ、仲間が家族が帰ってきた。

会社の閉山が決まる中でコンクールに勝ち堂々と演奏される『威風堂々』は本当に印象的であった。リストラで大きく揺れまさになくなるうといっている中で、堂々と炭坑マンとしての誇りを貫き通して行く姿は身につまされる。

『威風堂々』の演奏を背景に『イルカ・クジラや動物の保護に走り回る政府は、国を支えて来た何百万の炭坑マンにどんな手を差し伸べてくれたか』と訴える指揮者の姿はまさに今の日本の重厚長大素材産業を支えてきた人々のリストラへの不安と本当に重なる。

誇りを胸に 『威風堂々』 と新たな道へ踏み出そう.....

新しい街の出現と古いものの流れと何とか調和/融合できる発展はないものか.....

映画「ブラス」グライム・コリアリー・バンド 大阪公演を聴く

映画「ブラス」の感動をもう一度
グライムソープ・コリアリー・バンド 大阪公演 1999.2.28.製作



ちょうど一年ほど前に大阪で映画『ブラス』を見て感激。

CD を聴いて 映画のイメージとブラスバンド 演奏をダブらせて楽しんでいましたがこの『ブラス』のバンドが来日し、2月17日夜 フェスティバル ホールでの演奏会に家内と二人で出かけました。久しぶりに ゆったりとした Good な夕べでした。



山の中で星空をみながら仲間と歌った<ダニーボーイ>
アメリカの仕事仲間がくると決まって 堂々と歌った Fさんの<ダニーボーイ>
テストの朝 決まって<ウイリアムテル>を聞いて試験にいった大学時代
ヨーロツパのとこだったか忘れたが 出張の中で聞いた<アランフェス>
映画「ブラス」の炭鉱マンに鉄鋼マンをダブらせ、気持ちがしゃんとする<威風堂々

英国人らしいきびきびとした指揮演奏に、コルネットやトロンボーンなどのナイーブでやわらかな音をのせてまたパーカッションも楽しかった。

映画のシーン、学生時代・仕事の数々の場面にダブらせながらの本当にゆったりとした時間でした。

フェスティバル ホールも前に行ったのはいつだったか...20年以上も前?

神戸に帰って 新しい第一歩です。

1999.2.17. 大阪 フェスティバル ホールにて

映画『プラス!』あらすじ

「グライムソープ・コリアリー・バンド」

日本公演プログラムから 抜粋

グライムソープ・コリアリー・バンド 大阪公演

いつの世も、音楽には私たちの心を高揚させ、精神を活性化させる魔法の力がある。

そんな音楽のマジックを通して人間が生きることの素晴らしさを表現してくれたのが、映画「プラス!」だった。

イギリス北部ヨークシャー地方の小さな町グリムリーに坑山閉鎖の波が押し寄せ中、炭坑で働く男たちがプラス・バンドに生きる喜びを見い出してゆく「プラス!」。

「プラス!」の男たちの夢は、はるか昔から受け継がれ、しかも現実にあったお話である。

映画の中には、いくつかの忘れられない演奏シーンがあった。

炭坑閉鎖の問題が悪化してゆく中で、彼らはバンドの全英選手権に出場し、準決勝を勝ち抜き決勝へと駒を進めてゆく。肺を痛んで倒れてしまったダニーを見舞って、バンドのメンバーが病院のダニーの病室の窓辺で演奏する〈ダニー・ボーイ〉。

イギリスの音楽の殿堂 ロイヤル・アルバート・ホールでの決勝の日、病院を抜け出しダニーが指揮棒をとって演奏される〈ウィリアム・テル序曲〉と〈威風堂々〉。

ロイヤル・アルバート・ホールの圧面玄関に勢揃いしたバンドの男たちの晴れやかな笑顔!

メンバーの一員として出演し、陰で演奏をしていたのがこの映画の実話のモデルになったグライムソープ・コリアリー・バンドである

映画の中のダニーやアンディもチャージングだったけれど、現実のバンドのメンバーたちには小さくてももっとも素敵なエピソードがいくつもあったのではないだろうか。

映画ほどロマンティックではな位かもしれないが...。

映画「プラス!」の世界的大ヒットによって、グライムソープ・コリアリー・バンドはワールド・ツアーを実現させ、日本にも上陸することになった。

演奏される曲目の中には、幾つかの曲が加えられているが

イギリス人の崇高な誇りをなによりも象徴する作品、

威 風 堂 々 >

の演奏が グライムソープ・コリアリー・バンドにはなによりもふさわしい。

1999.2.18 大阪フェスティバルホールにて

By Mutsuo Nakanish

4. 「威風堂々」テレビコメディ「合い言葉は勇氣」2000.11.1



【夏の千葉県我孫子市 手賀沼】



【手賀沼湖畔にある野鳥博物館で】

市民・街の努力できれいになった手賀沼 2000.9.9.

今は美しい湖畔公園と遊歩道に整備されている

イギリスの不況の中の炭坑町のブラスバンドを描いた映画「ブラス」でクライマックスで演奏された「威風堂々」。

エルガー作曲「威風堂々」のこのメロディはイギリスでは第二国歌として親しまれ、国王の戴冠式で歌われるばかりでなく、コンサートの最後、聴衆が全員大合唱の中でコンサートが終ると聞きました。

この「威風堂々」の曲が何度も流れるテレビドラマ「合い言葉は勇氣」が先週終わりました。

ひょんな事から見出して、この曲が流れるのとコメディなんですが、何とはなしに元気づけられ、毎週見ていました。

ドラマの内容は英国映画「ブラス」の焼きなおしてみたいなものですが、役所広司 鈴木京香 香取信吾 津川雅彦らが出て行って「威風堂々」が流れると乗っちゃってついに毎週最後回まで見てしまいました。最終回が終って インターネットをチェックするとあらずじとテレビ評サイトがあり、僕みたいに喜んで見ている人も多くいるのだなあ とまたビックリ。

ミーチャンかとおもっていたらそれも中年で・・・

実はこのドラマの最終回 どんでん返して 裁判が勝利に終わったあとのラストシーン。

村民側についたもうよぼよぼの頼りない本物の弁護士が 相手側の敏腕弁護士に言った言葉に強烈なパンチを受けました。

「その明晰な頭脳と腕を持ちながら、

昔とか変わらず実に冷たい・・・実においしい。顧問弁護士で終るのだね・・・」

正確では有りませんが、そんな意味でした。

「合い言葉は勇氣」 あらすじ

「舞台となるのは、名産といえば「ピーチとダルマ」ぐらいの豊かな美しい自然に囲まれた小さな田舎の村。ところが、村に出来たゴミ処理場によって村の自然が破壊される危機に陥っていた。なんとかしなくては...。

村民は立ち上がる。だが、相手側には敏腕弁護士がついていて歯が立たない。村のために、村民のために、村長は、東京に土地勘のある青年を連れて弁護士探しに上京する。

村長は慣れない東京で思い通りに行かない現実に倒れてしまい、やっとのことでみつけた弁護士にも逃げられ、途方にくれる青年の目に一人の男の姿が飛び込んできた。

男はかつて一度だけヒットしたシリーズドラマがあるだけの今は売れない役者だった。
そして、その男はひょんなことからその小さな村で弁護士のふりをすることになってしまう。
やがては勇気にめざめ、村で村民とともに本当に戦っていき奇跡を起こす大人のコメディー。」

オフィシャルサイト - フジテレビ PR コピーより
http://a5.fnn-news.com/jp/b_hp/aikotoba/

今「物作りの危機」「現場の荒廃」が叫ばれていますが、「実はこの危機・荒廃の原因はこれでは
か??.....」と。「IT革命が現場を荒廃させる。グローバルスタンダード
が日本の物作りの伝統を荒廃させる」と言われて久しい。

何がそうさせるのか...どのように対処すればいいのか...技術の伝承もままならなくなってきた日
本の製造現場。

いろんな事情の中で「技術のぬくもり」つまり「技術の質・ノウハウ」を伝える認識が無くなっている
のではないのでしょうか 現場にプロがいない。技術屋が現場で孤立しています。

先端技術のほころび 雪印 三菱自工の例など、全く歯止めが無くなっているのも根本はここにありそ
う。学校の荒廃・いじめが叫ばれて久しいが同根ではないでしょうか

一方 ITの先端を走るアメリカの現場 そんなに冷たくないよ。

論理的に合理的に働いてはいるが..... 実に生き生き働く人達を見てきました。

なんとか プロを育てないと今技術の質の解るエンジニアを育てないと思っている。

その基本は 『クリエイティブ と コンダクト』その出来る技術屋を。

それには勉強しないと.....

今現場主義がさげばれているが、薄っぺらな現場主義はさらに現場を荒廃させる。解っているけど
抜け出せないジレンマ あせりを感じる年になったのだとつくづく感じています。

山内丸山月見の会であるトップ エンジニアに出会いましたが、『今ロボットは、人と同じように「質」
を「暖かさ」を見分けるハードを持つことが出来るようになった。今大事なのはそのソフト。いわばロ
ボットの精神構造の研究。

縄文の何気ない遺物から心を読み取る作業は、いまロボット エンジニアも同じ 』と熱っぽく語って
いました。

ロボットが暖かさを見分け学習している今、現場にいる我々もそれを『勉強せねば...』と思っている。

これは ITのグローバルであっても日本の伝統であっても同じ。

今 曖昧もこととして行動が起こらない日本。 今クリアさが本当はもっとも大事かも知れぬ。

上記テレビ楽しんでる自分も奥底でそれをだぶらせているのでは????と思った次第。

『威風堂々』 2000.9.19. 柏にて M.Nakanishi

5. 阪神・淡路大震災復興記念聖堂

神戸で 思いつくままに 1999

日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会 献堂式 1999.6.1.



阪神・淡路大震災復興記念聖堂 神戸聖ヨハネ教会 献堂式



【教会命名の由来概要】

1995年1月17日、神戸地方を直撃した大地震では神戸聖ヨハネ教会は倒壊を免れ、震災救援活動の一翼を担うことが出来ました。活動が一段落した時、教会再建の幻を教会員は抱きました。これに共鳴した多くの人達、諸教会、聖公会管区はじめ、神戸教区の献金・資金援助により、礼拝堂再建の夢が現実のものとなりました。

震災復興の一環として建てられた時、ここで未永く震災犠牲者のための祈りがささげられるよう阪神・淡路大震災復興記念礼拝堂と命名し、併せて神戸の復興のため教会も参与する決意を新たにしました。

礼拝堂正面の頭上高かくに使徒聖ヨハネのシンボル「鷲」のステンドグラスが光を放っています。このステンドグラスの下部には「Verum Caro Factum」の文字が刻まれ、ヨハネの福音書第1章14節の「言葉は肉となった」のラテン語を記しています。「神の声・言」は多くの人の心を癒し絶望している人に希望を与えたのです。

聖卓の背後に砂岩を積み上げ、その上に十字架がたちあがっています。

十字架より下は地下をイメージ。2000年前、迫害の嵐が教会を襲ったときキリスト者は地下洞窟に入り、秘密の集まりを持ちました。インド砂岩を積み上げた壁面はその洞窟をイメージしています。

大震災で亡くなられた人達の魂の平安を祈り西側のステンドグラスを「平安」と命名しました。

阪神・淡路大震災という地上の惨状を東と西側にイメージし、その中心に十字架を据えています。十字架こそ人類最大の悲劇であり、恵みなのであります。

(神戸聖ヨハネ教会 資料より)



正面 頭上のステンドグラス「鷲」 西壁面ステンドグラス「平安」・平穩・混沌・復活

震災十字架と聖卓 (大貫金吾作) と 旧の礼拝堂

礼拝堂正面のどっしりと立つ十字架は旧礼拝堂の梁を用いて修理作られました。

また聖卓は立教高校の卒業生が材木を寄贈し、大貫先生の手によって作られました。

大貫先生は震災直後より、救援のため、大工箱を車に積んで東京からかけつけ、崩れた旧礼拝堂の祭壇や内部整備等「棟梁」と呼ばれ、腕を振るわれました。

旧礼拝堂は大きな内部損傷を受けたものの倒壊を免れ、震災の直後から、中村司祭を 中心に救援活動・避難所の役割を果たしました。

震災のその日にもご遺体が収容され、1階のホ・ル・和室には震災直後から約40名の人達が入れ替わり礼拝堂り立ち代り生活され、私的な避難所の役目を担いました。

震災救援活動が一段落した昨年、大正15年建立の旧礼拝堂は役目を終え取り壊された。



旧の神戸聖ヨハネ教会

円形のステンドグラス「鷲」 立花江津子作(寄贈)



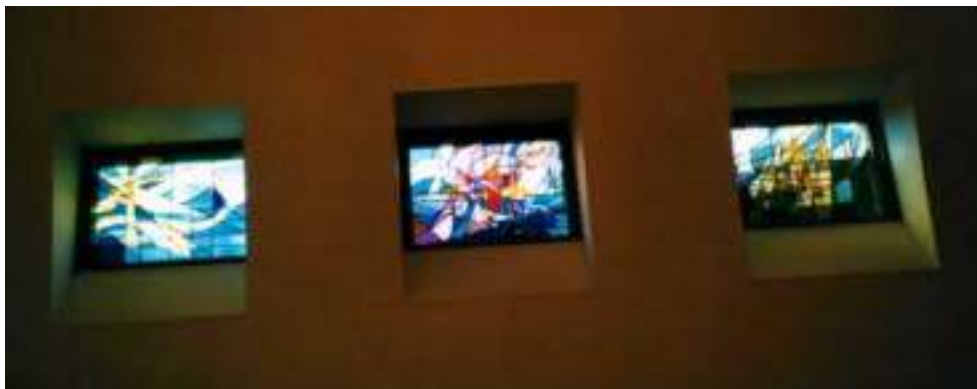
礼拝堂正面中央頭上には、円形のステンドグラス「鷲」が光を放っています。

「鷲」は使徒聖ヨハネのシンボル。イエスがこの世に生まれ、神の声が直接人々に響いたのです。聖ヨハネはその言葉がどのように人々に語られ、肉となったかをさのひとの送られた人生を記しました。その言葉が2000年間天上から人の口を通して教会で語りつづられています。

「神の声・言」は多くの人の心を癒し絶望している人に希望を与えたのです。

西壁面のステンドグラス「平安」 立花江津子作(寄贈)

大震災で亡くなられた人達の魂の平安を祈り、西側のステンドグラスを「平安」と命名されました。



左 「平穏」・ブル・の海 周りを照らす港の灯台があり、夜の安らぎから夜明けへ
中央「混沌」・朝を迎え、突然襲った崩壊により神戸の街は混沌と化した。

右 「復活」・再び夜明け 新しい緑の風が吹き人々が手を差し伸べ希望に向かって復活の時



平穏



混沌



復活

震災画「神戸」尾崎和子作(寄贈)

太平洋美術本展入選

ならびに読売新聞本社賞受賞作品

(1995.5.)

作者は大震災直後明石のマンションでダンスの下敷きとなり、教会で保護されていたお母さんを大震災の混乱の中、無事保護奈良の自宅に引き取られました。

この時の思いをこの絵にたくし、聖ヨハネ教会に寄贈されました。

震災画「神戸」



阪神・淡路大震災復興記念聖堂 内部



礼拝堂正面壁にどっしりと構える十字架と震災復興/教会の役割を説教される中村司祭

< 正面 >



< 礼拝堂 後側 >

聖堂入口を飾るステンドグラス



「最後の晩餐」と「5つのパンと2匹の魚を差し出す少年」

聖ヨハネ修道会寄贈

聖堂入口に燦然と輝くステンドグラスはドイツで製作され、須磨区にある聖ヨハネ修道会が所有していたもの。大震災で同修道会礼拝堂は全壊。礼拝堂に据えられていた2枚が聖ヨハネ教会に寄贈され、礼拝堂入口に据えられました。

阪神・淡路大震災の祈り 【復興記念聖堂 西側壁】



1999年1月17日聖ヨハネ教会が再建された記念として神戸地域の信徒が集い大震災復興のために祈りました。その記念としてタブレットが礼拝堂西壁にかかげられました。

神戸で 思いつくままに 2000

6. 映画『スペースカーボーイ』をみました 2000.12.2.

参考 「スペース カーボーイ」の簡単なあらすじ

監督 & 主演：クリント・イーストウッド

1958年。はやる気持ちを抑えきれないまま、宇宙へ飛び立つ日待つ4人の男がいた。彼らの名は“チーム・ダイダロス”。空軍きっての優秀かつ向こう見ずなテストパイロット・チームだ。アメリカ初の宇宙飛行士として大気圏外のテスト飛行に挑むためな出動要請を待っていたダイダロスのメンバーだったが、土壇場になってプロジェクトの権限が空軍からNASAに移動。名誉ある任務を遂行したのは、過酷な訓練に耐えてきた彼らではなく、一匹のチンパンジーだった。宇宙への夢を断ち切られた日から40年。ダイダロスのメンバーですでに空軍を引退しているフランク・コービンのもとに、NASAのスタッフが訪ねてきた。彼らの話はこうだ。ロシアの通信衛星アイコンのシステムが故障し、このままでは地球に落下してくる可能性が大きい。アイコンを修理できるのは、かつて同じシステムを持つアメリカの人工衛星スカイラブを設計したコービンしかいない。



「スペース カーボーイ」パンフレットより

大学時代の友人達から「映画『スペース カボーイ』に男のロマンを感じ、元気出た。お奨め」のメール。神戸に帰ったついでに、家内と二人で見に行きました

ほんとうに 面白かったです。

技術屋の原点と言うか 技術屋魂と言うか・・・「物作り」のエネルギー貰って帰りました。

基本技術では成功ゼロにかける技能の技「物作り」の作りこみ技術の粋みたいなものです。

つつい 年取ると言うてしまうか 黙りこくるか一番 難しいところです。

ぼくは どちらか言うとSF あんまり好きでないのですが、宇宙の映像・ロケットの打ち上げ NASAの発射装置 宇宙服 すべてCG でしょうが 実にリアル。恐らく本物に近いでしょう。

僕なんかロケットの発射の様子 宇宙遊泳 宇宙基地 宇宙の画像そして 宇宙からの帰還の様子 すべて本物と 今も信じています。完全に擬似体験。

その中で繰り広げられるドラマ。

ほんまに男のロマン 自分の時代に重ねて見ました。

1.月を見る目が変わった事

家内が行ってましたが・・・

「月を見上げると ついつい あの人が月にいつている」と見てしまうと。

2.SF 好きではないのですが、宇宙の映像 宇宙衛星などまさに

現実空間 CG で現わされていること 全くの宇宙擬似体験

丁度 エンデバーが17トンの太陽電池を打ち上げ 宇宙飛行士が船外でコネクタすることが、報じられています。

全く同じような作業だろうと想像しています。

3.アリゾナ砂漠・NASAの映像

懐かしく見ました

まあ、見方は色々ありますが、元気貰ってかえりました。 中年の元気が出る映画でした

もう 一つ 映画「天国への100マイル」12.9.の休みに上野で見ました。

破産した息子が誰の助けも借りず、1分の望みをかけて 非常に重い心臓病の母親を千葉県鴨川の病院へ連れて行く話で、「ぼっぼ屋」の浅田次郎の原作で 本読んで感激しました。

また、10年ほど前 鹿嶋 波崎の研究所に勤務している時に一緒に勤務していた若い女性が似たような事で「非常に良い医者が千葉県鴨川にいる」と望みを託して鴨川の病院に移り、急に亡くなった思いがあって一層印象深いのです。

こっちは ヤッパリ、文章の行間にある思いがもう一つ映像では伝わってきませんでした。

この短編もお奨めです。

この頃 こんな感じばかりで ヤッパリ 歳ですかねえ・・・

先週神戸の家の団地の小学校では 開校時に「20年後の夢」をこめて埋めたタイムカプセルを20年ぶりに掘り出す行事がありました。

当時小学生だった娘や息子 そして各地から 沢山の当時の小学生があつまりました。

息子達 あまり興味がないのかと思っていきましたが、飛んで行って 当時埋めた習字や絵を持って帰って また 多くの昔の仲間と会えて 非常にハイになっていました。

映画もそうでしたが、幾つになっても 「夢」に託すこと また 仲間に出会うのは 歳を越えてうれしい物とつくづく感じました。

昨日から また 現実の世界 師走の中 働いています。

色々 みんなにはご心配かけましたが、耳の方も全快しました。

7. 2001年神戸 春の花 2001.4.2.



久しぶりに神戸に帰ると石垣や庭に春の花が一杯 楽しくなりました
美祿の黒田さんに教えてもらった種からの育成 ぱっとまわりが明るくなりました

2001.4.2. 神戸自宅に帰って

『 石垣のネモフィラ ブルー ブルーの花にまじって 白い花が一株さいています
メンデルの法則通りなのでしょう 種から育てるとこんな楽しみもあります
また、道行く人たちが 立ち止まり 花を仲立ちに会話がはずみます 』

by K.Nakanishi

2001年の春 神戸 2001.4.2.

種から育った草花が今年も花をつけました。
美祿黒田さんからのネモフィラ ブルーの3代
目はメンデルの法則通り青い花といっしょに
白い花を初めてつけました。 神戸 喜久子





入口のスイトピー



入口の石垣に沿って咲いたアネモネブルー



多くのブルーの花の中に白い花も一株だけつけました

4.21. 自宅に立寄ると3週間たらずでもう 庭一杯が花で埋まっていました。
僕の好きなスイトピー背丈が小さかったのですが、立派な花をつけていました。
もう春の楽しみになりました。

2001.4.21. by M.Nakanishi



玄関横のスイトピー



ガレージの上の庭

2001.4.27. by M.Nakanishi

8. 『ひまわりの夏』 2001.8.3.



暑中お見舞い申し上げます

毎日暑い暑い夏です。お元気でお過ごしのことと思います。

「ひまわり」と「朝顔」が庭先に花をつけ 夏本番。

今年の夏は孫が日に日に成長するのを楽しんでいます。

厳しい暑さ どうか健康にご留意ください。

2001.8.3. 神戸にて M.Nakanishi



大門恵奈です 1歳5ヶ月です



朝顔 日の丸(左) と 平安の泉(右)

暑い暑い夏 おかわりありませんでしょうか・・・暑中お見舞いもうしあげます。

『ひまわりの夏』太陽の季節です。今年は暑くて暑くて大変。熱中症にかからぬようご注意ください。昨年は非常に大きなひまわりが咲きましたが、今年は小ぶり。

ひまわりは小さいと時は太陽に向かって首を廻しますが、大きくなると首をまわせなくなる。それでも何種類かは大きくなって 太陽の方に首を廻すそうです。

もう柔軟性はおろか、まったく首がまわらぬこの頃です。首は廻さんでもいいから あの太輪のあかるさがほしいですね

孫がちょうど一つ半になり、日に日に成長するのが楽しみな夏です。こっちは 太陽。

梅雨の湿度は大変でしたが何とか乗り切れましたが・・・毎日暑くて暑くて 今夏の電力調整で木金曜日休みの変則勤務です。

お盆休みまでもう少し ガンバラネバ・・・。

柏だけが取り残されていた常磐新線の工事もやっと始まったようです。

2001.8.3. 柏にて M.Nakanishi

神戸で 思いつくままに 2001

9. この夏 異 変 2001.8.3.

ショックアブソーバ付の杖と大阪のエスカレーター

1. ショックアブソーバ付の杖

何とか梅雨の湿気を持ち切ったと思ったら、暑い暑い夏。人ばかりでなく会社の機械もバテ気味。中々落ち着きません。何時になるか判らなかつた柏の街の常磐新幹線の工事がはじまったようで、ルートを示す標識が会社へかようあぜ道やゴルフ場横の田圃にも建てられました。また、ゴルフ場の横の遺跡の調査が終わったようでブルドーザーが入り、本格的な工事の開始です。

神戸須磨の自宅の横の布施畑では今中国道と海岸の国道を結ぶトンネル工事が真っ最中。大きな機械が入っています。

どっぷり町の中につかると何にも変化がみえませんが、街もちょっとづつ変わっています。

梅雨明けを待ちかねて 那須岳の縦走をしてきました。久しぶりに岩尾根を歩き、温泉に浸って気分爽快。リフレッシュできました。

もっとも 日頃の不摂生たたって バテました。特に下りは足にピンピン響いて、もう歩くのがいやと言うとこまで行きました。

もう やっぱり 今はやりのショックアブソーバ付の杖の世話になろうと思っています。

はやりではあっても「世話にはならんぞ・・・」と思っていたのですが・・・
やっぱり山は出掛けたいし・・・といったところです。

2. 大阪のエスカレータ

本当に暑い暑い夏が続いています。

大阪の方が朝晩の暑さは東京より格別と感じています。東京と大阪を比較するのは悪い癖。でも 今年
はもう暑くて・・・

大阪にテーマパーク「ユニバーサル スタジオ」が開設されて約5ヶ月。沢山の人が大阪を訪れてい
ます。

大阪や難波、新大阪駅などのターミナルのエスカレータが最近非常にばらばらで通りにくくなっている
のは関東の人が沢山大阪を訪れているのが原因と言う。

そういわれると確かに 新大阪駅での乗換えエスカレータでは最近片側明けの整列が乱れているよう
に思いませんか？。

新神戸駅ではそんなことないのに・・・

大阪では万国博覧会の時に「右側によって立ち左側を空ける」スタイルができ、並ぶのが苦手な大阪人
ではあるが、エスカレータではこのルールが良く守られてきた。

一方、東京では 大阪と逆に「左側に寄って右側を空ける」事が定着している。

まあ、どちらでもいいのであるが、ルールとしてあいまいになって居ることは困ったものだ。

自分流というのでもいいが、その場その場お互いに人の流れにあわす鷹揚さも必要なのではないだろう
か・・・

明石の花火の事故も人の流れに逆らって歩道橋の上で立ち止まる動きが事故誘発の一因とも言われて
いる。

最近 無手勝流の個人主義というか 無理押しが効く社会になっているのでは・・・?と考えるのは
飛躍のしすぎでしょうか

そういえば 子供の頃「右側通行」「人は右 車は左」の交通標語がいつも教えられたが、最近聞いた
ことないなあ・・・

道路が整備され、歩道付の道が増え 人と車が分離され、対面交通の場が少なくなったためだろうか・・・
でも、「車と人」「人と人」の対面する場は増えている。

その時にどうするのか・・・これも危機管理。

書かれたマニュアルがあるだけではどうにもならぬと思うのですが・・・

日本人が捨ててきたものも見直さねば 一部の人にも good な社会へ突き進んでゆくのでは
大阪駅のエスカレータの手すりに寄りかかりながら ふっとそんな気持ちがよぎりました。

暑い暑いと言っているともうろくな事考えん。でも 何か いい話題ないでしょうか
まあ、最近は 孫の片言の言葉になっていない言葉を効くのが楽しみになっています。

10. 『光のプログラム』クロモリット Kobe 2001 2001.8.16



夏の夜空に神戸旧居留地の象徴的洋式建造物が鮮やかに彩色されて浮かび上がる
『クロモリット kobe2001 光のプログラム』

8月15日の夜 見物に元町へでかけました。

フランスで生まれたアートで石造建築物を写真に撮り、コンピュータで彩色したスライドを大型プロジェクターでその建物に投影。

まるでディズニー映画をみているか絵本から抜き出てきたようにファンタスティックに変身。
昼間も見る建物からは想像もつかない美しさ。

神戸では街の通りを光の電球で彩る『ルミナリエ』がもう冬の行事として定着しているが市、それとはまた異なった御伽話の世界へ童心に帰った様な気分になりました。

初めてなので まだ人出もそれほどでなく楽しめました。来年はもう満員ですごい人出になるでしょう。

東京に帰って TV を見ているとフランスの中世の教会正面を同じように彩色ライトアップして最後の晚餐の彫像を浮かび上がらせていました。こちらも まだ実験といっていましたから始まったばかりのようです。

『ルミナリエ』といい、この『クロモリット』といい、本当に先駆的なアート取組の移入。

神戸のセンスの良さがひかりますし、また 神戸でないとあわぬのかもしれない。

このセンス ビジネスにも本当にほしいのですが、ぼくにはどうにもなりません。 神戸を歩いていれば備わるかも・・・。

神戸の街を歩いてもそんなひらめきのかけらも浮かびませんが、本当に歩いて楽しい街です。

『ライトアップ』で素晴らしかったのは地震前の『阪神高速 湾岸線』。

海からの阪神間の夜景を背景に次々と現れる橋のライトアップの美しさ。人が来たら案内するのを楽しみにしていたのですが、震災後 時を経て平凡なものに変わってしまいました。

今も元通りのライトアップされれば すばらしい神戸・大阪の観光スポットなんですが・・・
元のようにライトアップされないでしょうね・・・

2001.8.16. 神戸にて M.Nakanishi

● 旧居留地の洋式建造物

2001.8.15.



旧居留地 15 番地 ノザワ



大阪商船三井ビル



海岸ビル



神戸市立博物館

ライトアップ神戸 街角で



神戸で 思いつくままに 2002

11. 2002年 冬 点 景 2002.2.9.

1月12日 Eさんが民族博物館 特別展「北太平洋の先住民交易」の切符を送ってくれ、娘の家族と一緒に吹田の民族博物館へ。

寒い寒い凍りつく北海道・樺太・アリューシャン・北米大陸の先住の民の文化交流・交易展。凍りついた極寒の地でも広い交易がなされているのにはビックリ。

こんな極寒のシベリヤ大陸で行なわれている「製鉄・鍛冶」の図を見つけてビックリしました。

この北方の文化圏では中国製の鉄より、日本の鉄の方が品質が良く広く交易されたという。

海によって閉ざされた狭い日本で 長い時代をかけた和鉄の技が伝来の地中国・朝鮮半島の鉄を凌駕していた事にもビックリしました。ここにも日本の智恵の素晴らしさを知りました。

残念ながら写真撮影禁止で写真とれず。国会図書館所蔵とあったのでいつか行こうと思います。

そんな事もあってふっと思いついて余り知られていない技能の世界「和鉄の技」について整理してみました。

日本刀の技も僕らの知っているのは直ぐ備前長船などというが歴史の中では北方系の蝦夷が持っていた「蕨手刀」を源流として中世奥州の刀鍛冶が日本刀の原型をつくりだし、それが国内に広く伝播したという。

ほかに、東大寺の釘や奈良の大仏の鑄かけの技術 そして 出雲大社の太い3本組の御柱を結束した鉄輪の技術など見過ごしてしまいそうな中にとんでもない技術が隠されています。

知ってびっくりするが、そこは技術屋 見抜く眼を持たねば・・・と思うのですが、中々ダメ 難しい。

今の時代 そんな職人の技に目を向ける暇も無し。機械ロボット万能・情報万能と人は言う。
でも最近ちょっとそんなものにも眼をむけようとの風潮がでてきたかなあ・・・と思っています。
技術・情報万能への反省からのゆり戻し はやりで終わってしまわなければいいのですが・・・

二才の孫 博物館の展示など嫌がるかと思っていましたが、どうしてどうして 案内係のお嬢さんに愛
嬌振りまき

展示物のドラを鳴らしたり、展示品のフィリピンの車に乗ったり マーレシアの影絵芝居に見入ったり
結構楽しんでいました。

発見です。どこへでも連れて行けるようになりました。



大阪吹田 国立民族博物館で 2002.1.12.

2月3日 2月3日は節分 「節分と鬼」 「鬼は悪者か・・・」産鉄の民と鬼伝承が密接に
つながっている事 知るにつけ、昔よくいっていた「鬼にもいいやつおんねや・・・」と。
鬼の仮面に隠され 名指しで決め付けられたものの裏にある真実を少し書き出してみようと集めた日
本の鬼伝説の資料眺めています。

今アフガンで国際社会でアメリカの強
烈な勝者の論理がグローバル スタン
ダードの名のもとに吹き荒れています。
何処かで歯止めをかけねば・・・・・・。
何か 鬼伝承で仕掛けた強者の論理。今
と似ていないか・・・・・・

アフリカの昔話を集め研究している言
語学者の E さんに教えてもらった昔
話・語り部の面白さ。

「アフガンの出来事の影響が貧困に喘
ぎ ひたひたとイスラム化が進む
アフリカでどんな形で現れてくるかを
見てくる」と来年3月に計画されている
アフリカの昔話特別展の準備にアフリカへ旅立ったEさん。

日本各地の鬼の伝承を聞かたびに産鉄の民としての労働の厳しさと迫害の歴史を思い 伝承の裏にあ
る弱者の真実を見抜かねば・・・そこに今の現実を解き明かすかぎありや・・・・

日本各地の鬼伝説と鬼 「鬼は悪者か・・・」



1月27日 神戸に帰ったついでに 久しぶりに 家内と二人播州の屋根雪彦山の麓にある夢前町日帰り温泉「雪彦温泉」へ行ってきました。山口・美祢にいる時には 疲れると 俵山温泉や長門湯本温泉でポケーと浸かるのがリフレッシュでしたが、柏では中々まならず。久しぶりに山中の温泉でリフレッシュ。雪彦山は日本三彦山の一つ 修験の山。関西では岩登りのメッカ。冬の曇り空に岩峰を突き上げ素晴らしい景色。今度は登るつもりです。



日本三彦山 九州の英彦山 新潟(越)の弥彦山 そして播州の雪彦山
いずれも急峻な峰を持つ修験の場でありながら、その麓は古代から開けた土地。 山々を駆巡る修験の人々とたたら衆とは深く結びついているとの説もあり。
鬼と同様「和鉄」や鉱山と関係する土地といわれる。
英彦山の北は筑豊の炭鉱地帯 古代から開けた多くの古代遺跡がありすぐ麓の詫間町からはたたら遺跡も見つかっている。
弥彦山と「たたら」との関係はまだ訪ねた事がなく良く知らないが、彼の地は大陸との交易が盛んな古代鉄の集散地「越の国」。
播州雪彦山の直ぐ西は古代製鉄発祥の地「干種」。 そう考えるとまんざら信憑性のない事でもなさそうである。

今 NHK の「日本人 遙かな旅」1-5 巻を読んで 古代に夢はせている時でもあり、山中雪彦山の岩峰を見ていると何か 渡来の民になったような気がしました。
久しぶりの山の中の温泉 静かな山中 ポケーと山をみつけながらの湯 リフレッシュ リフレッシュです。

ついでながら 先日 TV 見ていたら 「添乗員が奨める温泉宿」の第1位に「山口県長門湯本温泉 大谷山荘」が選ばれていました。
「そらそうやる」と思いつつ、一つ山口美祢の自慢話が加わった気分でした。

神戸で 思いつくままに 2002

12. 『春到来 2002 -神戸 自宅庭に咲いた春の草花-』 2002.3.17.



神戸 春の風物詩『いかなごのくぎ煮』
いかなご漁にわく神戸垂水漁港



神戸市北区呑吐ダム
サイクリングロードで

2002.3.14. kikuko

3月半ば 神戸では『いかなごのくぎ煮』のにおいが街のあちこちでしている。

ある家では 100kg もくぎ煮を作って毎年各地へ送るといふ。我が家でも家内が『いかなごのくぎ煮』に目を輝かせると春。

今年は息子がアメリカへ行って また 一つ仕事が増えたと家内はうれしそうにぼやいています。

暖かい春の日差し。早くも桜開花の便りがあちこちから聞かれます。

暖かさに誘われ、自宅の北にある呑吐ダムのサイクリング ロードへ出かけました。



冬の間 まったく何もなかった自宅の庭にも、色々な草花が色鮮やかに春を競うようになりました。

今年も美祢の岡田氏にもらった椿が庭の片隅で真っ赤な花をつけ、水仙や黒田さんに相談しながら種から育てた家内自慢の色々な草花や水仙が花をつけました。

門口で毎年淡い花をつる一杯につけるスイトピーが一ヶ月植えるのが遅くまだ今つるを上へ伸ばしています。

桜満開もまじか 『パツと華やかで それでいて ふっと息をつく』そんな時期

ぼかぼか陽気に誘われて まさに春到来です

2002.3.17. 神戸自宅にて



春の草花 2002 2002.3.17.神戸自宅にて



神戸で 思いつくままに 2002

13. 6月から7月 梅雨の合間に 神戸にて 2002.7.20.

『ひまわりの夏』到来

暑中お見舞い申し上げます

2002.7.20.

by M. Nakanishi



アメンボウ 飴棒 のこと

『アメンボウ』って なんでそういうか 知っていますか・・・・・・・・・・
「アメンボウ」を口にいれて噛むと「ほんのりあまいアメのあじがするから・・・・・・・・」

そんなのうそや・・・・・・・・大先生がうそ言うたらあかん・・・・・・・・と一瞬思いましたが、本当のよう
です。アメンボウは臭いを発する『カメムシ』の仲間、そのグループの中では異端者、臭いではなく
匂い 「飴の甘い匂い」を発するのが本当に語源
そのアメンボウも、近くに池がなくなってきて、ついぞ見かけることもなく、遠くの記憶の中に忘れ去
られ もう名前すら忘れられようとしている。
でも、 そのアメンボウが忘れ去られようとしても 幾世代も生きていた痕跡を土の中にずっと残して
いるとしたら・・・・・・・・

7月5日 「関西に縄文の火を」を合言葉に 三内丸山縄文発信の会と川西市縄文の会主催の「縄

文塾」が川西市で開催。青森三内丸山縄文遺跡を発掘されてきた岡田氏らがこられ、こんなに数多くの
古代史に興味を持つ人がいるのかとビックリ。私の会社の先輩にも会って また ビックリ。
岡田氏といっしょに講師に立たれた昆虫学の権威 林勇一氏の冒頭の話が上のアメンボウの話。
岡田氏の話は色々TV や本に紹介されているので今日はヤメて 林勇一氏の昆虫から古代を解き明かす
学問創造の話が非常に面白かったのでそれを紹介します。

林氏は三内丸山遺跡を含め、古代の遺跡に残された昆虫の残骸から古代を解き明かす日本の権威。
昆虫の羽根や外骨格は非常に酸やアルカリに強く、湿り気があれば必ずその痕跡が残ると・・・・・・・・。
そして 世代交代が非常に短く しかも 環境順応性の高いのが昆虫だ。と。 古代の土の中に潜む
昆虫の痕跡を見つけ出し、それを解析すれば精度の良い古代の解析ができると・・・・・・・・
昆虫が解き明かす古代史。

林氏はコツコツと古代の土の中に残された昆虫の羽根や骨格の断片を見つけ出し、それらからその昆虫
を特定し、その昆虫の特性からその昆虫の生きた時代・社会・生活を明らかにした。 また 発見され
た断片の DNA 測定・年代測定が その時代の精度をさらにあげると・・・・・・・・

まだ この学問が生まれて 30 年にもならず。でも 断片から正確に生物を特定 大系づけるなど す
ごいと思いました。ぼくなんかだとすぐあきらめるでしょう。 極微小の顕微鏡世界と目に見える全体
とをつなげて理解することの難しさ知っているだけに余計にビックリ。

青森三内丸山遺跡の北の谷のゴミ捨て場の土の中にある得体の知れないものが ハエのさなぎと特定。
エゾニワトコの実と一緒に沢山発見される事とこのハエが酒好きである事から 縄文時代には酒があ
ったのでは・・・・・・・・と推定する。

これは 酒好きの果実酒のこじつけより 本当に説得力あり。
昆虫が精度の良い古代の解き明かしにこれほど重要だとは露知らず。先駆者としてコツコツと本当に日
のあたる事のない解き明かしが次の時代を開く典型。まさにリサーチや物づくりの話と全く同じ。
時代や流行に流されぬしっかりした視点をもつことがあらためて大事と思い知った次第です。

講演会のあと 川西に縄文の会の人たちや三内丸山で顔なじみとなった人たちと毎度ながら酒をのみ
ながらの交流会。

本当に三内丸山の遺跡の集まりがオープンであるのがうれしい。

急逝した友のこと

また 友の急逝から書き出さねばならなくなりました。

6月23日 大学で同じ金属学を学び 卒業後共に溶接・接合技術を仕事として選択した友が急逝。
大学入学40年 還暦を迎える友も多く 29日 久しぶりに京都で旧交を温めようとの同窓会目前の急

逝ででした。

卒業して会う機会も少なかつたのですが、新幹線軽量車両の開発などアルミの溶接のトップ技術屋として日本を引っ張った一人であった彼。

ちょうど 60 才に節目を迎え、仕事から解放されるというか 仕事と縁を切って第二の人生をスタートさせねばならぬ年代の我々にとって本当につらい。

「残念でならないが、これは「健康に留意しろ」との彼のメッセージとうけとらねば・・・」と同窓の仲間が言って

いたが本当にそれしか言いようのない悔しさと寂しさを覚えています。本当に残念です。

京都での同窓会 急逝した彼も入れて・・・。

みんな白髪頭でしたが、何年振りか ですが、そこは もう タイムスリップ 昔に帰ってはしゃぎました。

箕面の滝に猿がない 2002.7.5. 朝



もう 何年ぶりになるか 箕面の滝へ娘一家と行ってきました。

大阪や阪神間に住んでいた私たちにとっては 一度や二度は遠足やハイキングで言った事のある場所 特に 秋の紅葉は素晴らしく「紅葉のてんぷら」なんて 箕面で知りました。そして お猿。そ

れも暴力ザルの群れ。

それが、滝の周りにも ドライブウェイにも 全く猿が出ていない。「猿の出ない箕面なんて」といいたいぐらいの変わりようにビックリ。

緑の溪流に沿った静かな自然探勝路 ゆったりと新緑との流れと箕面の滝を楽しみました。

昔は 観光客の弁当やハンドバックを奪い ポケットに手を突っ込んだ 箕面名物の猿。随分新聞にも書かれ えさをやらぬ運動が展開されていましたが・・・今は お猿も 少し上流の山中にいるようですが 滝の周辺は良く整備され、新緑が美しい公園に。

変われば 変わるもの。随分 苦労があったものと想像しますが、人が生態系に入って壊した環境良く取り戻せたものだと感心。

今 信州では 市街地へ出てきて ゴミ箱をあさる熊が跡を絶たないとか しっかり人の方が 考えないと・・・最近 孫の話多いのですが、かわいいよ

久しぶりに江口氏の「語り部のかたる昔話」の会に参加 2002.7.20.

7月20日 吹田国立民族博物館で久しぶりに 江口一久先生の「語り部の語る昔話」の会に家内と二人で出掛けました。

来年3月に国立民族博物館の2003年特別展「西アフリカおはなし村」の開催が江口先生を中心に着々と準備されています。その一環として1年前前夜祭として企画された江口先生が語る「西アフリカのむかしばなし」の会。毎月行われている民博ゼミナールとして開催された事もあり、「江口さんのむかしばなし」のファンも多く、民博の講堂ホールはもう一杯。



江口先生の「西アフリカ カメルーン フルベ族のむかしばなし」を聞けるのは 1年ぶり。
また、あの江口先生を中心としたユニークな仲間
に会うのも1年ぶり 胸わくわくで出掛けました。

入口でアフリカ フルベの帽子をかぶらせてもらって、ホール前のアフリカのジンベ太鼓と木琴 マリンバに興じて もう いっぱしのアフリカの仲間入りしてホールへ。 いつもながらの江口氏やスタッフの心遣い 雰囲気作り。



国立民族博物館 ホール



「語り部のかたる昔話」の会の始まる前に帽子をかぶりマリンバとジンベ太鼓に興じすっかりアフリカの人。この帽子 服装 舞台の演出 もうアフリカのど真ん中で聞いている気分。
これも学者江口語り部の意外性。
今日のテーマは「アフリカにある意外性のむかしばなし」と語り部の江口さんが話し出されたが、もうすっかり 引き込まれてしまいました。



川辺さんとアフリカからこられたスタッフと二人がたたくジンベの太鼓にのせて江口ブシのアフリカフルベのむかしばなしが始まるともう夢中。
何時もながら話を聞きに来た人を裏切らないおもしろさ。
その雰囲気をみんなに伝えられないのが 残念。



江口語り部と「語り部のかたる昔話」の会 2002.7.21, 吹田 国立民族博物館 講堂ホールにて

江口語り部の語る西アフリカ フルベの昔話。

「話の筋書きは同じでも 子供向けと大人向けではちがう。また 何百年も伝えられる中で違うし、語り部によってもまた同じ語り部でも時期によっても・・・」

これは アフリカでも日本でも おなじ。どこが違うかという 話の前立てと一番最後 語り部がそこを変えて作りこんでゆくと・・・」「『語り部のかたる昔話』とはそういうもの。したがって そこを踏まえ 比較研究する・・・」と言語学者に戻った江口氏。

「また、アフリカの昔話には沢山の意外性が盛り込まれている。 いつも ハイエナはえさをとれずにはらを空かしていると描かれるのにある話ではまんまと手に入れるとか それをさらに語り部がどんでん返しにするとか・・・」

そういえば グリムの童話もこども向けにまた時代に合わせ作り変えているとか 聞いて 「えええ・・・」と思いましたが、昔話はそういうもの そうゆう歴史の中で磨かれると考えると日本の昔話の幾通りもの筋 各地の伝承も それが当然で本家あらいも陳腐にみえてくる。

江口語り部としては 「みんなでそのストーリーの初めと終わりを作って 江口語り部の話に仕上げたい。」と・・・

「是非 来年の 民博特別展「西アフリカ おはなし村」をみんなで作ってゆきたい」と 来年 9月 吹田国立民族博物館で開催される「西アフリカ おはなし村」のイベントに参加してみたいは いかがでしょうか・・・。

実はもう この特別展に向けてのイベントが次々と始まっていて 民博中心に楽器をつくったり とうもろこしやひょうたんの畑の種まきやアフリカの楽器の演奏法など大人や子供が参加できるワークショップが次々と開催されています。

其の自由な雰囲気とイベントのおもしろさに引き込まれてしまう事うけあいです。

興味のある方は 下記インターネットへアクセスを

URL : <http://ohanashimura.minpaku.ac.jp/>

Mail : ohanashi@idc.minpaku.ac.jp

また 江口語り部の語る「西アフリカのむかしばなし」など 雰囲気伝えた私のホームページ 下記です。 民博 江口サロン URL : <http://www.ne.jp/asahi/kikuko/nakanishi/listegchiprint.htm>

14. 梅雨の晴れ間 久しぶりに花菖蒲 須磨離宮へ 2002.6.16.



6.17. うっとおいしい梅雨が続く中 予想に反して 今日には曇り空ながら青空ものぞいている。
離宮道の角 離宮の入口に花菖蒲のかんばんが立てられていたのを思い出し、みんなで久しぶりに出掛けました。

「花菖蒲園って 離宮の中にあつたやろか？」

ゆっくり須磨離宮の中 歩いた記憶はこの30年ないなあ……………」

昨年秋 黒田さん一家が来神された時にちびちゃん達と行って以来です。

土曜日の午後 暑い日差しの中 もくもくと雲がわき 須磨の海がキラキラかがやき、もうすっかり初夏の気候です。

入口には白い紫陽花が今を盛りと咲き暑さとは別に今が梅雨時である事を思い出させてくれる。

大噴水と西洋庭園

須磨離宮といえば 山の裾野の高低を利用して造られたヨーロッパの宮殿の庭に見られる

大噴水が並ぶ西洋庭園が魅力。

西洋庭園の一番上から見下ろす庭園は緑の森の中に大小 10 を越える噴水が勢い良くみずしぶきをあげている。その間を真っ赤や黄色の花がうめ、鮮やかな幾何学的模様を呈している。



そして その向こうにはもくもくと湧き上がる雲をバックに須磨の海。こんなにきれいに噴水が全部あがっているのは記憶になし。公園のあちこちに座って噴水を眺めている人 語り合っている人 そして 散策している人。

外の喧騒からは隔離されたのどかなひとときである。



公園の中に降りて、花菖蒲を見て 恵奈ちゃんをあそばせてあとはこの庭園を見ながら「お茶」をすることに。恵奈ちゃんは勢い良くあがる噴水と池にそれこそ格好の水遊び場。水に手をつけてご機嫌。

須磨離宮 花菖蒲園



花菖蒲園はこの西洋庭園の東下の一番低いところに整備されて花を咲かしている。他の菖蒲園ほど多くはないが、白や紫の花を池一杯にさかせている。まわりを山と森の緑につつまれ、ここは順日本的。今まで来たことがないので最近整備されたのだろう。

離宮の児童公園で



恵奈ちゃんはさんざ水遊びした後 児童公園の長い滑り台に眼を輝かせて何度も挑戦。

ほんと あきることなく お父さん おかあさんと一緒に滑りました。昔 まだハイハイの頃に家内と二人子守に行って 米子の湊山公園で何度も何度も滑り台で遊んだのを思い出しました。



久しぶりにみんな揃っての公園散策。

梅雨の晴れ間 山の緑が美しく 多くはありませんが、花菖蒲・紫陽花も楽しみました。

去年は柏あけぼの山 その前は江戸川新小岩の河川敷の菖蒲園 やっぱり菖蒲と紫陽花を見ていると夏が来ると言う気分になる。

一方 溶接材料屋にとっては 湿気の季節到来。

「今年は何とかトラブルなしで行ってくれよ」と祈らずにはいられない。

まるで海外の庭にまぎれこんで afternoon tea 楽しんでいる心地よい気分の午後でした。

最近 俳句に誘われていて 密かに挑戦・・・・・・・・

簡単と思っていましたが むつかしい。

「紫陽花と花菖蒲 湧き上がる入道雲に夏たくす」

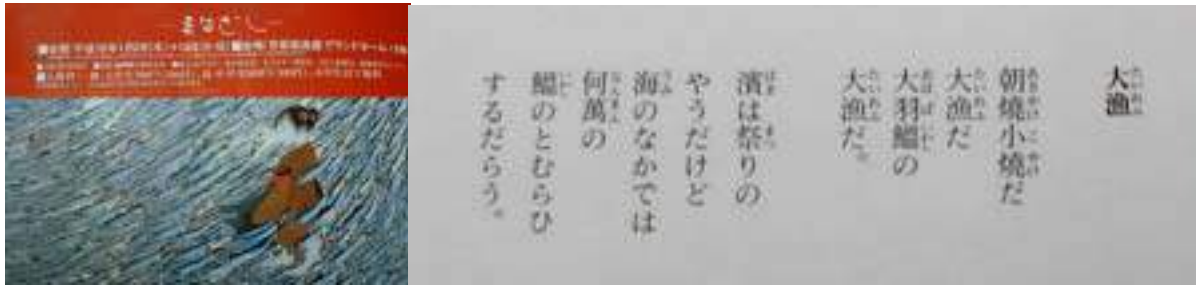


- 須磨離宮 大噴水の庭でお茶を楽しみながら -

2002.6.16. by M. Nakanishi

15. 中島潔 童画展「金子みすず -まなざし-」を見る

山口県長門市 仙崎 不遇の詩人 金子みすず 2003.1.4. 京都にて



山口県長門市仙崎の不遇の詩人 金子みすず 知っていますか・・・・・・・・

1.4. 京都の高島屋で 中島潔の童画展 「金子みすず -まなざし -」をやっているのを知って 行ってきました。

仙崎は長門市から青海島に渡る本州側の漁港。昔は随分にぎわったのですが、今はひっそり。

でも 山陰地方有数の漁港で 美祢にいる時には「ふぐ」や「いか」「メジナ」「はまち」そして「うに」や「さざえ」など 仙崎に水揚げされた魚を楽しみにしていました。

そんな 明治の漁師街で生まれ育った 金子みすずの詩。どことなく物悲しく やさしさがしみじみとでている詩。最近 は 金子みすず ブーム とかで 随分有名になりましたが、好きで 金子みすずの詩集を持っています。

また、中島潔氏の童画も NHK BS のカバーに使われ、 そのゆったりした暖かさで好き。

今回の童画展 「金子みすず -まなざし -」は金子みすず の詩に中島潔氏が童画を配した展覧会 本当によまくマッチしてステキでした。

数多くの童画・詩の中で 金子みすず が詩集を出し終えた時の気持ちを歌った詩が僕には何か非常に新鮮に映りました。

今 毎月 インターネットのホームページ更新で書きつらねてきた 4年間のページ 更新 30 数回分を本に整理まとめているのですが、読み返すと好きな事ばかり書いているのですが、いろんな事がリアルに眼に浮かんできます。

できました できました かはいい詩集ができました
 我とわがみに訓ふれど 心おどらずさみしさよ
 真暮れ 秋もはや更けぬ
 針もつひまのわが手わが ただにけなしき心地す
 誰に見せうぞ 我さへも 心足らはず さみしさよ
 ああ つひに 登り得ずして帰り来し 山のすがたは垂に消ゆ
 とにかくに むなしきわざと知りながら 秋の灯の更くるまを
 ただひたむきに書いて来し
 明日よりは 何を書かうぞ さみしさよ
 - 金子みすず -

大漁
 朝焼小焼だ
 大漁だ
 大羽鰯の
 大漁だ
 濱は祭りの
 やうだけど
 海のなかでは
 何萬の
 鰯のとむらひ
 するだらう。



中島潔 画

山口県長門市仙崎の詩人
 「金子みすず」の詩より
 中島潔「金子みすず」-まなざし-
 童画展 より



やっと正月休みに整理して形を整えた時でもあり、老兵の気持ちとがいっしょになって 余計に 金子みすずの心境が胸にグッときました。